

平成18(2006)年度

# 福岡市埋蔵文化財センター一年報

第26号



2007

福岡市教育委員会

# 序

アジアの玄関口である福岡市は、古来から対外交渉の門戸として栄えてきました。このことを物語るように、市内には数多くの遺跡が残されています。

埋蔵文化財センターでは、これら発掘調査で出土した遺物や記録類を体系的に収蔵管理し、多くの市民に活用して頂くために、昭和57年2月に開館しました。以来、二度にわたって増改築を行い、収蔵庫・展示室・研修室・保存処理室などの充実に努めてまいりました。

展示におきましては常設展示のほかに講座に合わせた企画展示や速報コーナーを設けています。また、エントランスのプチ展示と称したコーナーでは遊び心をもった「おもしろ展示」を心がけ、新しい企画を試みていこうと考えています。

また、17年度から小・中学校を中心に、ふるさとを誇りに思う心を育てる一環として、その校区の遺跡・出土遺物を説明し、古代の人々の生活を学習する出前授業を開始し、17年度では31校、18年度では48校の生徒が歴史体験をしました。今後、積極的に外へ出かけ、多くの市民の皆様が、歴史体験を実感できるように努めていきたいと思えます。

末尾になりましたが、今後なお一層、当センターをご利用されることをお願い申し上げますとともに、関係各位のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年11月30日

福岡市教育委員会 教育長 山田 裕嗣

## 目次

I 平成18(2006)年度の活動	1
1. 資料の収蔵・整理	1
2. 保存処理	5
3. 教育普及活動	29
4. 入館者数	40
5. 平成18年度当初予算	40
II 埋蔵文化財センターの概要	41
1. 組織と職員	41
2. 施設	41
付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等	43
付2 平成18年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書一覧	裏表紙見返し

## 例言

1. 本書は平成18年度（2006年4月1日～2007年3月31日）の福岡市埋蔵文化財センターの業務年報である。
2. 本書の作成は、二宮忠司、内田寿生、瀧本正志、比佐陽一郎、田上勇一郎、矢野昌治、柳田純孝、片多雅樹、荒牧宏行が担当した。

※表紙写真は、比恵遺跡群第91次調査出土の把手付壺形土器（3～4世紀）

# I 平成18(2006)年度の活動

## 1. 資料の収蔵・整理

### (1) 収蔵方針

昭和44(1969)年、教育委員会に文化課が発足して以来、市内における緊急調査や史跡整備に伴う確認調査などで得られた出土品および写真・図面等の記録類は膨大な数量に及んでいる。これら考古資料の保存と活用をはかり、市民文化の向上に資するために、昭和57(1982)年、福岡市埋蔵文化財センター(以下、センターと呼ぶ)が設立された。

現在、福岡市の文化財行政は教育委員会文化財部(組織はⅡ-1章参照)で行っている。センターは報告書が刊行された考古資料を発掘事業担当課から受入れて収蔵し、管理することを事業の柱の一つとしている。(発掘事業は行っていない)。

発掘調査で得られた考古資料は、速やかに一般公開され、広く市民や研究者に活用される事が望ましい。このため文化財部では発掘調査、整理、収蔵の一連の作業が統一性をもって円滑に遂行され、考古資料の多用で迅速な活用をはかるため、昭和60(1985)年に「埋蔵文化財資料の収蔵整理要項」(『福岡市埋蔵文化財センター年報』第5号1985所収)を策定した。この要項はその後実状にあわせ細部を改変したものの、策定後から要項に沿った発掘調査、整理作業が実施され、センターへの考古資料の収蔵も円滑なものとなっており、また収蔵された考古資料の活用も年々増加している(Ⅰ-3章参照)。

### (2) 平成18年度の本収蔵

センターに本収蔵されている考古資料は、発掘事業担当課が報告書刊行後要項に沿った整理作業を行い搬入・収蔵したもの(埋文課と表記)と、要項策定以前に発掘調査が行われ仮収蔵されていた資料をセンターで要項に沿って整理したうえ収蔵したもの(センターと表記)とに区

分される。

平成18年度までにセンターに本収蔵されたのは1,332遺跡(追加収蔵まで含めた収蔵数は1,373件)で、その内訳は登録遺物823,347点、甕棺1,379個、コンテナ86,667箱、ネガフィルム305,311点、スライドフィルム381,708点、図面類138,185枚、写真カード167,725枚となっている(表1)。平成18年度までの市内での発掘調査は2,053件であり、全体の約67%が本収蔵され、検索が可能となった。

平成18年度の本収蔵は、埋文課から搬入・収蔵されたもの66遺跡、センターで収蔵したもの29遺跡のあわせて95遺跡(新規収蔵93遺跡、追加収蔵2遺跡)である。主な収蔵品は遺物がコンテナ5,250箱と甕棺51個(コンテナ換算する場合は甕棺1個を12箱とする)、写真類が34,562点、図面類が7,835点、写真カードが7,711枚である(表2)。

出土品のうち土器・石器は一般収蔵庫に、金属器・木製品・玉類は特別収蔵庫に収納している。また写真類は第一記録類収蔵庫、図面類は第二記録類収蔵庫、写真カードは第一資料整理室へ納めた。

### (3) 写真デジタルデータ色調補正

収蔵されているポジカラーフィルムには年月の推移とともに退色、劣化が著しいものがある。このため平成12年度より平成17年度まで主に35mmのポジカラーフィルムのデジタル化を進めてきた。その数は1969年度から1995年度までの823件の調査に及ぶ。このデジタル化した写真データはJPEGとTIFF形式でCD-RとDVDに保存した。

平成18年度は昨年度までのデジタル化した写真データの中で特に退色が著しい14遺跡調査の

651カットを選別し、元に近い色調補正を行なった。(表1)

色調補正したデータの保存形式と解像度は以下のとおり。

データファイル形式及び解像度

マスターデータおよび閲覧用データは下記の仕様に基づいたデータファイル形式及び解像度を確保する。

○マスターデータのデータファイル形式及び解像度は次の通りとする。

[データファイル形式]

TIFF 非圧縮形式

[解像度]

・フォトデータ

2,280dpi (16ベース)

○閲覧用のデータファイル形式及び解像度は次の通りとする。

[データファイル形式]

JPEG (ISO/IEC 10918-1, JIS

X4301) 圧縮形式

[解像度及び画素数]

圧縮率平均1/16～1/20になる値に固定し圧縮する。

○色数及び階調

RGB24ビット (フルカラー) とする。

平成18年度 デジタル写真の色調補正一覧					
調査番号	遺跡調査名	報告書 (集)	補正カット数	DVD	CD
7001	金隈遺跡1次	7	170	1	1
7001	金隈遺跡2次	17			
6904	宝台遺跡1次	35	67		
6907	板付遺跡3次	8	43	1	
6908	宮の前遺跡2次	37	36		
7102	板付遺跡6次	35	145	1	
7203	小笹遺跡1次	25	45		
7304	野方中原遺跡1次	30	29	1	
7314	諸岡B遺跡2次	29	11		
7410	諸岡B遺跡3～5次	31	11		
7614	四箇遺跡5次	42	20	1	
7818	金武古墳群3次	51	15		
7820	干隈古墳群1次	1029	30	1	
8024	博多遺跡群8次	543	29		
計			651	7	1

表1 本収蔵数一覧(1986~2006年度)

年度	収蔵区分	新規 遺跡数	追加 遺跡数	登録遺物 点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			図面		写真 カード
					壺棺数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	35mm(コマ)	6×7(コマ)	4×5(枚)	遺構	遺物	
1986	埋文課	4	0	3,639	0	749	57	1,397	7	1,358	163	0	352	239	781
	センター	14	0	4,475	0	309	343	1,844	169	3,736	386	96	617	512	1,564
	年度合計	18	0	8,114	0	1,058	400	3,241	176	5,094	549	96	969	751	2,345
1987	埋文課	12	0	8,860	3	779	284	4,051	8	2,931	373	0	994	1,223	2,744
	センター	9	0	2,631	1	217	229	2,327	80	3,121	254	2	427	290	1,630
	年度合計	21	0	11,491	4	996	513	6,378	88	6,052	627	2	1,421	1,513	4,374
1988	埋文課	38	1	15,193	61	1,152	560	8,566	10	6,694	647	0	1,784	1,789	5,074
	センター	5	0	11,301	72	740	331	4,342	137	4,848	13	0	888	1,141	2,994
	年度合計	43	1	26,494	133	1,892	891	12,908	147	11,542	660	0	2,672	2,930	8,068
1989	埋文課	11	0	16,380	6	1,121	231	7,507	99	4,634	966	63	1,612	1,619	2,343
	センター	3	0	6,701	0	868	155	3,559	92	2,906	0	0	105	418	2,090
	年度合計	14	0	23,081	6	1,989	386	11,066	191	7,540	966	63	1,717	2,037	4,433
1990	埋文課	60	0	43,807	29	2,214	1,460	17,561	712	19,235	2,405	76	3,173	3,277	9,563
	センター	30	0	11,096	3	766	311	3,073	0	4,714	496	8	723	955	1,924
	年度合計	90	0	54,903	32	2,980	1,771	20,634	712	23,949	2,901	84	3,896	4,232	11,487
1991	埋文課	57	0	32,480	32	3,028	599	10,974	45	9,051	1,095	67	2,435	2,552	6,075
	センター	6	0	4,586	65	724	395	3,303	86	3,541	811	45	666	865	1,856
	年度合計	63	0	37,066	97	3,752	994	14,277	131	12,592	1,906	112	3,101	3,417	7,931
1992	埋文課	74	4	33,934	78	3,449	760	12,820	12	12,490	1,618	25	3,505	3,092	6,972
	センター	13	2	8,046	30	1,287	284	3,006	19	3,141	176	8	558	985	1,950
	年度合計	87	6	41,980	108	4,736	1,044	15,826	31	15,631	1,794	33	4,063	4,077	8,922
1993	埋文課	52	0	28,850	26	4,355	711	21,093	38	12,410	2,949	17	2,858	2,811	11,587
	センター	6	0	6,034	7	1,118	237	22	463	2,123	0	26	308	156	654
	年度合計	58	0	34,884	33	5,473	948	21,115	501	14,533	2,949	43	3,166	2,967	12,241
1994	埋文課	40	1	17,817	118	1,570	472	8,556	0	7,680	1,751	4	1,936	2,068	4,797
	センター	9	0	7,285	3	984	151	1,026	125	2,619	68	11	560	427	985
	年度合計	49	1	25,102	121	2,554	623	9,582	125	10,299	1,819	15	2,496	2,495	5,782
1995	埋文課	57	1	40,565	37	4,229	675	12,851	257	10,564	3,035	238	2,519	3,354	7,581
	センター	13	0	5,854	9	1,128	182	2,973	6	3,099	270	0	448	450	1,526
	年度合計	70	1	46,419	46	5,357	857	15,824	263	13,663	3,305	238	2,967	3,804	9,107
1996	埋文課	66	0	32,101	148	3,454	764	12,136	0	14,364	4,429	10	3,239	3,256	7,629
	センター	12	0	5,015	82	565	245	2,529	618	3,331	284	0	520	1,035	1,725
	年度合計	78	0	37,116	230	4,019	1,009	14,665	618	17,695	4,713	10	3,759	4,291	9,354
1997	埋文課	84	1	58,346	56	7,942	1,063	18,594	23	17,119	7,240	44	4,424	3,848	10,889
	センター	8	0	5,088	0	740	134	2,293	355	2,217	391	0	291	616	1,112
	年度合計	92	1	63,434	56	8,682	1,197	20,887	378	19,336	7,631	44	4,715	4,464	12,001
1999	埋文課	109	2	54,107	79	5,509	1,193	18,783	1,008	22,461	7,209	84	5,207	4,779	11,675
	センター	3	0	1,279	1	366	44	704	0	991	82	0	87	88	455
	年度合計	112	2	55,386	80	5,875	1,237	19,487	1,008	23,452	7,291	84	5,294	4,867	12,130
2000	埋文課	75	5	47,069	71	5,798	1,361	20,717	75	26,016	8,431	84	6,069	5,896	12,968
	センター	11	0	3,851	0	535	51	419	69	790	157	0	897	299	337
	年度合計	86	5	50,920	71	6,333	1,412	21,136	144	26,806	8,588	84	6,966	6,195	13,305
2001	埋文課	44	1	30,512	34	4,785	669	8,157	121	10,229	3,011	7	2,263	2,930	5,061
	センター	9	8	6,502	9	841	356	3,277	65	4,281	11	0	1,065	1,039	2,192
	年度合計	53	9	37,014	43	5,626	1,025	11,434	186	14,510	3,022	7	3,328	3,969	7,253
2002	埋文課	50	6	47,781	112	5,229	689	10,503	0	13,496	4,956	13	2,356	3,195	6,274
	センター	10	0	2,595	2	268	130	489	215	2,107	0	0	203	261	690
	年度合計	60	6	50,376	114	5,497	819	10,992	215	15,603	4,956	13	2,559	3,456	6,964
2003	埋文課	82	3	61,651	66	7,356	755	15,498	665	14,786	6,002	483	3,644	4,436	8,124
	センター	8	0	2,170	16	163	96	2,598	0	1,980	52	0	247	289	1,522
	年度合計	90	3	63,821	82	7,519	851	18,096	665	16,766	6,054	483	3,891	4,725	9,646
2004	埋文課	48	2	41,675	37	2,702	711	8,607	181	13,700	3,106	247	2,709	2,642	5,469
	センター	13	0	2,068	14	178	420	2,383	354	2,733	11	0	439	183	1,251
	年度合計	61	2	43,743	51	2,880	1,131	10,990	535	16,433	3,117	247	3,148	2,825	6,720
2005	埋文課	70	2	59,235	16	4,276	620	10,065	277	13,796	4,589	133	2,924	3,422	7,092
	センター	24	0	4,191	5	535	385	458	11	4,410	48	6	380	481	859
	年度合計	94	2	63,426	21	4,811	1,005	10,523	288	18,206	4,637	139	3,304	3,903	7,951
2006	埋文課	64	2	44,692	45	4,006	743	10,171	8	15,269	4,936	63	2,965	3,419	6,906
	センター	29	0	3,885	6	632	212	242	359	2,456	0	0	908	545	8,5
	総計	93	2	48,577	51	4,638	955	10,413	367	17,725	4,936	63	3,871	3,964	7,711
計	埋文課	1,097	31	718,694	1,054	73,703	14,377	238,607	3,546	248,283	68,911	1,658	56,968	59,847	139,604
	センター	235	10	104,653	325	12,964	4,691	40,867	3,223	59,144	3,510	202	10,335	11,035	28,121
	総計	1,332	41	823,347	1,379	86,667	19,068	279,474	6,769	307,427	72,421	1,860	67,303	70,882	167,725

註) 1998年度はセンターの増築・改造のため本収蔵は行われなかった。  
 数の単位は遺物壺棺(個)、コンテナ(箱)、ネガフィルム35mm(本)、その他の写真(コマ、4×5は枚)、図面・写真カード(枚)

表2 平成18(2006)年度本収蔵一覧

収蔵番号	収蔵区分	調査番号	遺跡名	回数	報告書(集)	登録遺物点数	遺物				ネガフィルム			ポジフィルム			図面		写真カード	収蔵日	通解数	調査担当者
							甕箱数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	35mm(コマ)	6×7(コマ)	4×5(枚)	遺構	遺物	写真					
200601	埋文課	0256	有田遺跡群	205	869	33	1	39	9	239		178	46		33	17	120	4月7日	1	瀧本正志		
200602	埋文課	0243	雄略限遺跡	14	868	930		55	23	130		637			74	111	197	4月7日	1	岡三リビツ		
200603	埋文課	0349	雄略限遺跡	15	868	180		14	16	82		316	84		35	30	121	4月7日	1	岡三リビツ		
200604	センター	8110	有田遺跡群	48	110	147	1	4	16			119			35	9	26	4月18日	1	埋蔵文化財センター		
200605	センター	8111	有田遺跡群	49	110	11		1	5						3	4	6	4月18日	1	埋蔵文化財センター		
200606	センター	8117	有田遺跡群	55	110	125		4	23			321			31	9	40	4月18日	1	埋蔵文化財センター		
200607	センター	8204	有田遺跡群	63	110	35		1	3							5	4	4月18日	1	埋蔵文化財センター		
200608	センター	8216	有田遺跡群	75	110	71		1	5						16	1	7	4月18日	1	埋蔵文化財センター		
200609	埋文課	0401	比恵遺跡群	91	898	1,652	2	410	13	245		262	16		43	129	134	4月25日	1	山崎龍雄		
200610	埋文課	0443	鞆固丸山古墳	1	129	129		4	7	104		154	104		9	11	65	4月25日	1	山崎龍雄		
200611	埋文課	0476	那珂遺跡群第	106	889	241		29	7	165		111	54		26	59	98	4月25日	1	山崎龍雄		
200612	センター	8223	板付遺跡群	40	98	116		8	2	8		20			11	16	7	4月27日	1	埋蔵文化財センター		
200613	センター	7901	多々良込田遺跡	3	53	193		4										5月6日	1	埋蔵文化財センター		
200614	埋文課	0450	比恵遺跡群	94	19	39		2	1	21		22			4	5	12	5月30日	1	荒牧宏行		
200615	埋文課	0480	比恵遺跡群	97	900	261		15	4	91		77			18	25	44	5月30日	1	荒牧宏行		
200616	埋文課	0405	名子遺跡群	1	19	15		2	1	30		26			8	1	17	5月30日	1	荒牧宏行		
200617	埋文課	0459	山王遺跡群	2	878	143		7	6	103		107			33	21	55	5月30日	1	荒牧宏行		
200618	埋文課	0033	元岡・桑原遺跡群	22	909	312		14	7	135		170	95		82	21	93	6月14日	1	松村道博		
200619	埋文課	8335	吉武遺跡群	4	911	1,257	1	333							168			6月14日	1	横山邦雄		
200620	埋文課	8416	吉武遺跡群	6	911	951		137							52			6月14日	1	横山邦雄		
200621	埋文課	0153	元岡・桑原遺跡群	27	909	682		73	17	0		121	79					6月14日	1	二宮忠司		
200622	埋文課	0411	乙石遺跡	2	874	862		17	29	207		760	160		407	28	170	6月28日	1	池田祐司		
200623	埋文課	0423	金武古墳群	7	908	82		5	15	86		352	71		39	11	69	6月28日	1	池田祐司		
200624	センター	8010	有田遺跡群	38	96	6		1	2						5	1	3	6月30日	1	埋蔵文化財センター		
200625	センター	8012	有田遺跡群	40	96	105		9	27			72			16	11	44	6月30日	1	埋蔵文化財センター		
200626	センター	8013	有田遺跡群	41	96	90		5	10			31			13	13	17	6月30日	1	埋蔵文化財センター		
200627	埋文課	0326	広瀬遺跡	1	865-901	918		20	21	662		455	108		194	59	378	7月5日	1	加藤良彦		
200628	埋文課	0418	広瀬遺跡	1	901	258		5	13	284		258	64		134	10	167	7月5日	1	加藤良彦		
200629	埋文課	0419	広瀬遺跡	3	902	11		2	30			30			7	1	19	7月5日	1	加藤良彦		
200630	埋文課	0470	臨山A遺跡	8	19	16		1	2			24			10	1	3	7月5日	1	加藤良彦		
200631	埋文課	0144	浦江遺跡	5	874	349		13							53	4		7月5日	1	阿部泰之		
200632	埋文課	0329	城田遺跡	2	874	140	1	36							39	13		7月5日	1	阿部泰之		
200633	埋文課	0424	香椎B遺跡	7	年報19	136		2	2	35		27	36		15	6	19	7月5日	1	阿部泰之		
200634	埋文課	0424	長尾遺跡	2	年報19	70		2	4	58		39	40		1	10		7月5日	1	阿部泰之		
200635	埋文課	0431	周船寺遺跡群	16	882	148	8	5	4	68		64	50		7	26	37	7月5日	1	阿部泰之		
200636	埋文課	0442	周船寺遺跡群	17	883	27		1	3	20		20	10		12	1	12	7月5日	1	阿部泰之		
200637	埋文課	0461	藤崎遺跡群	34	903	133		3	3	55		50	46		15	5	30	7月5日	1	阿部泰之		
200638	埋文課	0471	千原古墳群(D-1号墳)	D-1	904	306	2	4	3	57		36	40		16	17	28	7月5日	1	阿部泰之		
200639	埋文課	0325	飯氏古墳群A-1号墳	A-2	833	38		2	4	28		43	10		8	6	20	7月6日	1	蔵富士寛		
200640	埋文課	0427	唐原稲葉遺跡	1	886	154		11	2	20		24	22		10	23	13	7月6日	1	蔵富士寛		
200641	埋文課	0436	博多遺跡群	148	893	1,121		112	4	70		87			11	54	43	7月6日	1	蔵富士寛		
200642	埋文課	0479	博多遺跡群	150	894	763		38	4	60		90			12	24	37	7月6日	1	蔵富士寛		
200643	埋文課	0115	下川隈C遺跡	7	881	3,027	1	239	64	1,659	8	1,340	498	8	271	382	1,006	7月12日	1	山崎龍雄		
200644	センター	6601	弥生原遺跡群	3	10066	18		1										7月19日	1	埋蔵文化財センター		
200645	埋文課	0412	有田遺跡群	208	年報19	22		1	3	38		40	38		5	3	24	7月27日	1	田上勇一郎		
200646	埋文課	0456	重留村下遺跡群	4	880	271		6	8	90		148	90		16	13	61	7月27日	1	田上勇一郎		
200647	埋文課	0463	コノリ遺跡群	4	876	1,277	1	44	13	181		256	182		75	42	272	7月27日	1	田上勇一郎		
200648	埋文課	9951	今山遺跡群	8	835	1,419	1	348	18	565		363	6	9	42	337	334	7月27-28日	1	米倉秀紀		
200649	埋文課	0020	有田遺跡群	198	870	25		1	2			33	4		4	1	3	7月27-28日	1	池田祐司		
200650	埋文課	0036	有田遺跡群	199	870	34		5	3	14		26			4	4	13	7月27-28日	1	米倉秀紀		
200651	埋文課	0038	有田遺跡群	200	870	18		3	3	14		18			6	4	12	7月27-28日	1	米倉秀紀		
200652	埋文課	0301	有田遺跡群	206	870	0		1				16			2			7月27-28日	1	池田祐司		
200653	センター	7314	諸岡B遺跡	2	29	33		51										7月	1	埋蔵文化財センター		
200654	センター	7501	下山門敷町遺跡	2	紀要10	57		25	1	30		106			42	4	35	8月4日	1	埋蔵文化財センター		
200655	センター	7207	草場古墳群	1	紀要10022	0						5					7		8月8日	1	埋蔵文化財センター	
200656	センター	7208	斜ヶ浦瓦葺址	1	紀要10022	33		13							1	4			8月8日	1	埋蔵文化財センター	
200657	センター	8136	板付遺跡群	36	83	172	3	31											8月16日	1	埋蔵文化財センター	
200658	センター	8028	諸岡B遺跡	11	65	130		7				60			13	25			8月22日	1	埋蔵文化財センター	
200659	センター	8029	諸岡B遺跡	12	65	56		2				30			15				8月22日	1	埋蔵文化財センター	
200660	センター	8104	有田遺跡群	42	96	191		5	13			66			14	20	22			1	埋蔵文化財センター	
200661	センター	8107	有田遺跡群	45	96	30		2	5			27			4	4	8				1	埋蔵文化財センター
200662	埋文課	0317	比恵遺跡群	84	年報18	35		2	3			25			10	2	4		9月26日	1	中村啓太郎	
200663	埋文課	0432	那珂遺跡群第	101	年報19	13		1	1			10			3	1	1		9月26日	1	中村啓太郎	
200664	埋文課	0224	箱崎遺跡群	32	896	1,622		30	10	89		174	70		80	41	68		9月26日	1	中村啓太郎	
200665	埋文課	0027	井尻B遺跡	17	834	2,291		192	28	343		2,211	192		120	162	231		10月13日	1	屋山洋	
200666	埋文課	0144	浦江遺跡	5-1区東	874	959		27	3	22		35	1		79	33	19		10月31日	1	常松幹雄	
200667	埋文課	0144	浦江遺跡	5	863	247	1	120	8	219		285	100		43	107	121		10月31日	1	常松幹雄	
200668	埋文課	0154	元岡・桑原遺跡群	28	909	403		28	11	90		174	83		25	11	66		11月9日	1	屋山洋	
200669	埋文課	0310	元岡・桑原遺跡群	34	909	134		2	13	198		299	134		40	6	122		11月9日	1	屋山洋	
200670	埋文課	0426	博多遺跡群	147	892	4,054	4	365	22	280		464			112	126	181		11月16日	1	大塚紀宜	
200671	埋文課	0482	博多遺跡群	151	895	850		83	4	50		84			82	73	31		11月16日	1	大塚紀宜	
200672	センター	7801	三筑遺跡	1	69	143		12				144			265	32			11月28日	1	埋蔵文化財センター	
200673	センター	8019	三筑遺跡	2	488	17		1							3	2			11月30日	1	埋蔵文化財センター	
200674	センター	7403	和田部木原遺跡	1	市歴2	488		21	37		267	655			148	71	226		12月2日	1	埋蔵文化財センター	
200675	センター	8011	有田遺跡群	39	113	138		6	12			104			92	12	17		12月27日	1	埋蔵文化財センター	
200676	センター	8113	有田遺跡群	51	113	109		5	11			80			29	12	16		1月19日	1	埋蔵文化財センター	
200677	センター	8115	有田遺跡群	53	113	64		3	9						18	4	15		1月19日	1	埋蔵文化財センター	
200678	センター	7603	今宿大塚古墳	1	銅器の埋	1,029	2	369	19	224		62	368		106							

## 2. 保 存 処 理

### (1) はじめに

当センターでは昭和57年の開館以来、市内出土埋蔵文化財のうち腐蝕や劣化により資料としての取り扱いや、通常の保管が困難なもの（主に対象となるのは木製品と金属製品）について、保存のための科学的処置を講じている。当初は直接的な処置のための限られた機器で作業を行ってきたが、平成11年度の増築により事前調査機器や大型の処理装置などが導入され、幅広い資料に対応が可能となっている。増築前後の施設の内容については、年報の第15号（増築前）、18号（増築後）をそれぞれ参照されたい。

### (2) 出土木製品(有機物)

#### 1) 処理の概要

今年度処理を行ったのは42遺跡1092点で、詳細は一覧表の通りである。この内、博多遺跡群89・96・100・102・124次出土の120点は国庫補助事業によるものである。処理法は資料の形態、材質、劣化度などを考慮し、PEG含浸法を中心に主に3つの処理法を用いている。PEG含浸法は一般的な小型・中型の木製品、糖アルコール含浸法は、PEG含浸法では処理が困難な漆器や墨書の施された木簡類、或いは展示など活用スケジュールに合わせて短期間での処理が必要な資料、真空凍結乾燥法はPEGを100%含浸すると、重くて取り扱いが困難な大型材や変形を来す恐れのある広葉樹芯持ち材というように、資料の種類に応じて使い分けをしている。

#### 2) 処理工程

各処理法による作業は、資料の洗浄、処理前の写真撮影、処理カードの作成といった共通作業以降、次のような工程で行った。

なお処理後の資料は温湿度管理された特別収蔵庫において保管している。

#### ◆PEG含浸法

①資料の梱包…不織布で梱包し、メッシュのコ

ンテナなどに納める。

②PEG含浸…専用の含浸装置に梱包した資料を入れ、注水、加熱（60℃）。温度が安定したら初期濃度20%より置換開始。PEGは処理槽の容量から算出した計画表に基づき、日々適量を投入し（写真W-1）、同時に水分蒸発により濃度上昇を図った。濃度は一週間に一度溶液を採取し、溶液の重量と水分蒸発後の重量比較により算出。工程1（3m槽：515点）は6月初旬に置換を開始し、約8ヶ月後の2月初めに100%に至り、その後更に数週間含浸。工程2（2m槽：196点）は5月中旬に置換を開始し、約9ヶ月後の1月末に100%に至り、その後更に数週間含浸。

③取り上げ…溶液から資料を取り出した後、温水で表面を洗浄し、自然乾燥（PEGの固化）。

④処理後観察…変形、破損の有無を点検し、処理前と比較した上で処理カードに記入。

⑤脱色及び表面処理…湯煎したアルコールによる表面洗浄。

⑥修復（破損資料のみ）…エポシキ系接着剤による折損部の接合、エポシキ系接着剤にマイクロバルーンを混入した材料による、欠損の復元。



写真W-1 PEG投入作業

#### ◆真空凍結乾燥法

①予備凍結…資料を大型凍結乾燥機に入れ、装置を作動。約-60℃下で凍結させる。

②乾燥…資料内の水分が十分に凝結したら、チャンバーを真空にし昇華による乾燥を図る。

◆糖アルコール（ラクチトール）含浸法（74点）

①溶液の準備…容器に初期濃度約30%のラクチトール水溶液を作製。恒温乾燥機を80℃に設定し、加熱。

②ラクチトール含浸…資料を溶液に浸し、資料が溶液の底に沈むことでその濃度が含浸されたと判断する。蓋をずらして水分蒸発により溶液濃度の上昇を図り、資料が浮いてきたら再度蓋を閉める。80℃での限界濃度（約80%）まで含浸させる。期間は小型資料で10日～2週間。

③結晶化…資料を溶液から取り出し、表面を温水で洗浄後、余分な水分をきれいに拭き取る。表面にラクチトールの粉末をまぶし、ラクチトール結晶を核として結晶化を資料内部まで進め固化させる。資料は50℃に設定した恒温乾燥機に入れるが、この際、温風が資料に直接あたらないように注意する（過乾燥の防止）。結晶化の時間は他施設での実績や経験的なもので判断している（小型資料で1週間～10日）。

④洗浄…表面に固着しているラクチトールの結晶を筆や竹串で軽く除去した後、水で洗浄。

⑤乾燥…再び50℃の乾燥機で乾燥させる。

◆その他の処理法

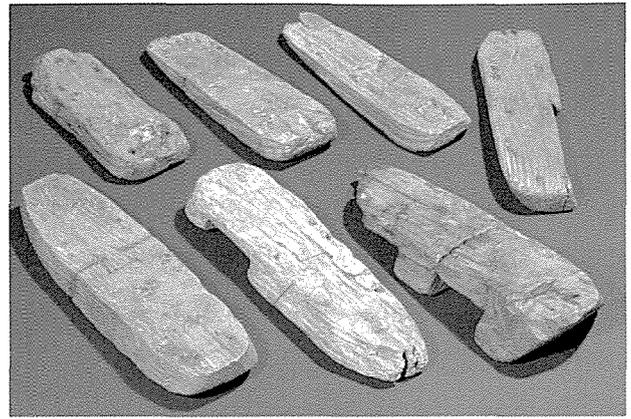
木質が完全に腐朽し塗膜のみ残存した状態で取り上げてきた漆器に対して、塗膜のみの資料はアクリル樹脂（パラロイドB-72/5～10%アセトン溶液）を塗布、強化した（5点）。土ごと取り上げてきたものに関しては水溶性のアクリル樹脂（バインダー17）を塗布、含浸することにより土壌ごと強化を行った（7点）。対して木質の残存状態の良い資料に関しては、ペーパータオルなどで梱包後、冷暗所にて徐々に水分の蒸発を図った（乾燥処理：294点）。

3) 処理木製品紹介

今年度は博多遺跡群出土木製品を多数保存処理した。中世～近世の博多の人々の暮らしを伝

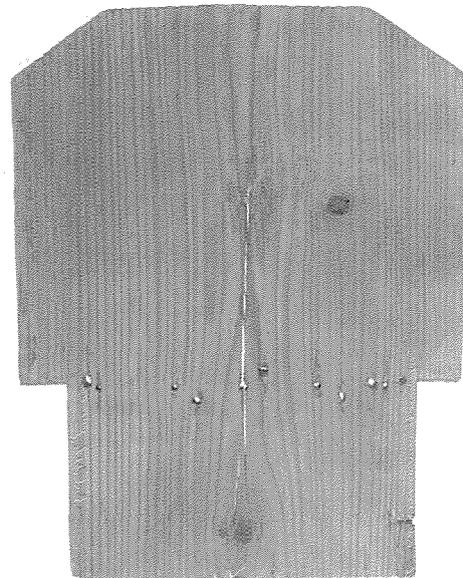
える木製品の一部を紹介する。

◇草履下駄…下駄状の台座に草履もしくは草鞋を取り付けた履物。鼻緒を通す壺孔はなく、台頭に草履の鼻緒を収める凹みがあり、縁部には規則的に配された木釘が残る。表面には草履を取り付けた藁の痕跡も残る。



写真W-2 草履下駄

◇金隠し…長さ35.4cm、幅29.3cm、厚さ7mmの板で、上部は角を取り、下部は枠受けを削り込む。和式便所の前面に取り付けられた金隠しである。取り付け際の釘穴が斜め30度方向にあれば、枠受けの角度とあわせ、取り付け状況を物語る。



写真W-3 金隠し

表3 平成18(2006)年度保存処理木製品一覧

処理番号	区分	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
博多呉服町工区(調査番号:7835 市報193集)								
22319	市	80003	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22320	市	80004	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
有田71次(調査番号:8212 市報173集)								
21357	市	750	櫛	木	古代末	-	45	PEG(2m槽)
有田74次(調査番号:8215 市報471集)								
21358	市	9001	木札	木	中世(16C代)	15-7	-	PEG(2m槽)
21359	市	9002	木札	木	中世(16C代)	15-8	-	PEG(2m槽)
21360	市	9003	木札	木	中世(16C代)	15-9	-	PEG(2m槽)
21361	市	9004	丸板	木	中世(16C代)	15-10	P. 34-10	PEG(2m槽)
21362	市	9006	杭	木	弥生後期	18-34	P. 38-34	PEG(2m槽)
21363	市	9008	紡錘車	木	弥生後期	18-30	P. 38-30	PEG(2m槽)
21364	市	9009	板材	木	弥生後期	18-32	P. 38-32	PEG(2m槽)
21365	市	9010	板材	木	弥生後期	18-31	P. 38-31	PEG(2m槽)
21366	市	9011	木槌状	木	弥生後期	18-29	P. 38-29	PEG(2m槽)
21367	市	9014	不明	木	弥生後期	18-35	-	PEG(2m槽)
21368	市	9015	板材	木	弥生後期	18-33	P. 38-33	PEG(2m槽)
21369	市	9017	板材	木	不明	22-61	P. 43-61	PEG(2m槽)
21370	市	9018	板材	木	不明	22-60	P. 43-60	PEG(2m槽)
21371	市	9019	桶の底板	木	不明	22-62	P. 43-62	PEG(2m槽)
21372	市	9031	木札	木	中世(16C代)	23-70	P. 45-70	PEG(2m槽)
21373	市	9032	木札	木	中世(16C代)	23-71	P. 45-71	PEG(2m槽)
21374	市	9033	木札	木	中世(16C代)	23-72	P. 45-72	PEG(2m槽)
21375	市	9034	木札	木	中世(16C代)	23-73	P. 45-73	PEG(2m槽)
21376	市	9035	木札	木	中世(16C代)	23-74	P. 45-74	PEG(2m槽)
21377	市	9036	木札	木	中世(16C代)	23-75	P. 45-75	PEG(2m槽)
21378	市	9037	木札	木	中世(16C代)	23-76	P. 45-76	PEG(2m槽)
21379	市	9038	木札	木	中世(16C代)	23-77	P. 45-77	PEG(2m槽)
21380	市	9039	桶板	木	中世(16C代)	23-63	P. 45-63	PEG(2m槽)
21381	市	9040	桶板	木	中世(16C代)	23-64	P. 45-64	PEG(2m槽)
21382	市	9041	桶板	木	中世(16C代)	23-65	P. 45-65	PEG(2m槽)
21383	市	9042	桶板	木	中世(16C代)	23-66	P. 45-66	PEG(2m槽)
21384	市	9043	桶板	木	中世(16C代)	23-67	P. 45-67	PEG(2m槽)
21385	市	9044	桶板	木	中世(16C代)	23-68	P. 45-68	PEG(2m槽)
21386	市	9045	桶板	木	中世(16C代)	23-69	P. 45-69	PEG(2m槽)
21387	市	9047	杭	木	中世(16C代)	22-58	-	PEG(2m槽)
21388	市	9050	木槌	木	中世(16C代)	22-59	-	PEG(2m槽)
松原1次(調査番号:8442 未報告)								
21389	市	仮001	建築材・加工材	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21390	市	仮002	広楸未製品	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21391	市	仮004	広楸	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21392	市	仮005	不明板状加工材	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21393	市	仮007	広楸	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21394	市	仮008	広楸	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21395	市	仮009	広楸	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21396	市	仮010	堅杵?	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21397	市	仮011	広楸	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21398	市	仮012	堅杵?	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21399	市	仮013	楸破片	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21400	市	仮014	楸破片	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21401	市	仮015	斧柄	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21402	市	仮016	斧柄	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21403	市	仮017	楸?矢板?	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21404	市	仮019	柱	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21405	市	仮020	杭?	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21406	市	仮021	杭?	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21407	市	仮046	柱根?	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21408	市	仮047	矢板?	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21409	市	仮053	広楸	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21410	市	仮120	イトマキ	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21411	市	仮121	イトマキ	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21412	市	仮122	イトマキ?	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21413	市	仮123	イトマキ?	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21414	市	仮124	杭先?	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21415	市	仮125	槽状	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21416	市	仮401	イトマキ	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21417	市	仮402	イトマキ	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21418	市	仮403	建築材(ホソ穴有り)	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21419	市	仮613	槽状	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21420	市	仮614	槽破片?	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21421	市	仮616	板状(ふた?)	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21422	市	仮617	コロッケ状	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21423	市	仮805	又楸の刃	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21424	市	仮806	又楸の刃	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21425	市	仮G01	板材	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
21426	市	仮H06	槽破片?	木	古墳中～後期	-	-	PEG(2m槽)
博多29次(調査番号:8509 市報148集)								
22321	市	120	不明	木	中世末～近世初	-	-	PEG(3m槽)
22025	市	258	箸	木	15～17C前半	-	-	乾燥処理
22026	市	388	箸	木	中世末	-	-	乾燥処理
22322	市	645	毬杖の球	木	古代末～中世末	-	-	PEG(3m槽)
22323	市	646	毬杖	木	古代末～中世末	-	-	PEG(3m槽)
22027	市	647	箸	木	古代末～中世末	-	-	乾燥処理
22028	市	649	箸	木	古代末～中世末	-	-	乾燥処理
22029	市	652	箸	木	古代末～中世末	-	-	乾燥処理
博多35次(調査番号:8648 市報396集)								
22324	市	4021	矢板	木	中世	-	-	PEG(3m槽)
22325	市	4022	下駄	木	中世	28-783	-	PEG(3m槽)
22326	市	4027	高下駄	木	中世	28-786	-	PEG(3m槽)
22327	市	4028	板草履	木	中世	28-787	-	PEG(3m槽)
22328	市	4033	下駄	木	中世	28-784	-	PEG(3m槽)
22329	市	4034	板片(櫛?)	木	中世	27-779	-	PEG(3m槽)
22330	市	4035	下駄	木	中世	28-785	-	PEG(3m槽)
22331	市	4036	櫛	木	中世	-	-	PEG(3m槽)
22332	市	4039	仏像彫刻のある木型	木	中世	27-765	22-765	PEG(3m槽)
22333	市	4040	舟形木片	木	中世	27-766	-	PEG(3m槽)
22334	市	4041	板草履	木	中世	-	-	PEG(3m槽)
22335	市	4042	下駄	木	中世	28-788	-	PEG(3m槽)
22336	市	4044	下駄	木	中世	28-789	-	PEG(3m槽)
22337	市	4045	不明	木	中世	-	-	PEG(3m槽)
22338	市	4046	高下駄の歯	木	中世	-	-	PEG(3m槽)
22339	市	4047	高下駄の歯	木	中世	28-792	-	PEG(3m槽)
22340	市	4048	高下駄の歯	木	中世	-	-	PEG(3m槽)
22341	市	4049	不明	木	中世	27-770	-	PEG(3m槽)
22342	市	4050	不明	木	中世	27-769	-	PEG(3m槽)
22343	市	4051	不明	木	中世	27-782	-	PEG(3m槽)
22344	市	4052	不明	木	中世	27-767	-	PEG(3m槽)
22345	市	4054	矢板	木	中世	-	-	PEG(3m槽)
22346	市	4055	矢板	木	中世	-	-	PEG(3m槽)
22347	市	4060	部材?	木	中世	-	-	PEG(3m槽)
22348	市	4063	棒、杭の先?	木	中世	27-778	-	PEG(3m槽)
22349	市	4064	部材	木	中世	27-776	-	PEG(3m槽)
22350	市	4065	部材	木	中世	27-775	-	PEG(3m槽)
22351	市	4067	下駄	木	中世	28-790	-	PEG(3m槽)
22911	市	4068	下駄(漆塗り)	木・漆	中世	28-791	-	髹アールコー
七反田1次(調査番号:8659 市報223集)								
21427	市	516	不明木製品	木	古代(8C)	35-16	-	PEG(2m槽)
21428	市	523	腸物形の基部?	木	古代(8C)	35-23	-	PEG(2m槽)
吉武11次(調査番号:8714 市報303集)								
21429	市	40018	紡錘車	木	古墳後期	-	-	PEG(2m槽)
那珂29次(調査番号:9026 市報361集)								
21430	市	306	杭	木	近世	33-45	34-45	PEG(2m槽)
21431	市	310	桶	木	中世	41-1～7	42-1～7	PEG(2m槽)
21432	市	311	桶の底板	木	古代(8C)	43-5	44-5	PEG(2m槽)
21433	市	312	不明	木	古代(8C)	43-9	44-9	PEG(2m槽)
博多68次(調査番号:9042 市報287集)								
22353	市	4002	名札?	木・漆	近世(江戸時代)	59-45	P. 75-45	PEG(3m槽)
21354	市	4003	漆器椀	木	近世(江戸時代)	-	-	髹アールコー
22354	市	4004	木栓	木	近世(江戸時代)	66-148	-	PEG(3m槽)
22355	市	4005	木栓	木	近世(江戸時代)	66-153	P. 92-153	PEG(3m槽)
22356	市	4006	木栓	木	近世(江戸時代)	66-151	-	PEG(3m槽)
22357	市	4007	木栓	木	近世(江戸時代)	66-149	-	PEG(3m槽)
22358	市	4008	木栓	木	近世(江戸時代)	66-154	-	PEG(3m槽)
22359	市	4009	木栓	木	近世(江戸時代)	66-152	-	PEG(3m槽)
22360	市	4010	木栓	木	近世(江戸時代)	66-157	-	PEG(3m槽)
22361	市	4011	木栓	木	近世(江戸時代)	66-147	P. 89-147	PEG(3m槽)
22363	市	4013	不明	木	近世(江戸時代)	66-156	-	PEG(3m槽)
22364	市	4014	木栓	木	近世(江戸時代)	66-155	-	PEG(3m槽)
22365	市	4015	木栓	木	近世(江戸時代)	66-150	-	PEG(3m槽)
21355	市	4016	漆器椀	木・漆	近世(江戸時代)	-	-	髹アールコー
22352	市	4044	笥	木	近世(江戸時代)	-	-	PEG(3m槽)
22362	市	4048	笥	木	近世(江戸時代)	-	-	PEG(3m槽)
板付61次(調査番号:9051 市報410集)								
22912	市	5100	石筍柄	木	弥生中期前半	31-1	6	髹アールコー
今宿五郎江4次(調査								

処理番号	区分	運物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
22395	市	31038	下駄の歯	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22396	市	31039	下駄の歯	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22397	市	31040	下駄の歯	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22398	市	31041	下駄の歯	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22399	市	31042	下駄の歯	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22400	市	31043	下駄の歯	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22401	市	31044	下駄の歯	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22402	市	31045	下駄の歯	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22403	市	31046	下駄の歯	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22404	市	31047	下駄の歯	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22405	市	31048	下駄の歯	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22406	市	31049	下駄の歯	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22407	市	31050	下駄の歯	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22408	市	31051	木製品	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22409	市	31052	木製品	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22410	市	31055	板材	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22411	市	31056	曲物側板	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22412	市	31058	木製品	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22413	市	31059	木製品	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22414	市	31060	木製品	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22415	市	31061	木製品	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22416	市	31062	木製品	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22417	市	31063	木製品	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22418	市	31064	竹製品	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22419	市	31071	加工板材	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22420	市	31074	脚部	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22421	市	31075	加工板材	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22422	市	31078	加工板材	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22423	市	31084	木製品	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22424	市	31086	木製品	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22425	市	31087	木製品	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22426	市	31089	下駄	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22427	市	31092	板材	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22428	市	31093	板材	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22429	市	31095	不明	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22430	市	31097	柄	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22431	市	31098	栓	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22432	市	31099	栓	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22433	市	31100	栓	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22434	市	31101	栓	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22435	市	31102	栓	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22436	市	31103	栓	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22437	市	31104	栓	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22438	市	31105	栓	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22439	市	31106	栓	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22440	市	31108	曲物底板	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22441	市	31110	井戸枠	木	近世(17C中～18C前)	-	-	PEG(3m槽)
22442	市	31116	下駄	木	近世(17C前～中)	-	-	PEG(3m槽)
22443	市	31118	建築材	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22444	市	31119	建築材	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22445	市	31120	栓	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22030	市	31121	箸	木	中世～近世	-	-	乾燥処理
22446	市	31122	栓	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22447	市	31123	底板	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22448	市	31126	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22449	市	31129	棒状製品	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22450	市	31130	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22451	市	31131	栓	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22452	市	31132	板材	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22453	市	31133	桶の側板	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22454	市	31134	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22455	市	31135	へら状板製品	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22456	市	31136	栓	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22457	市	31137	板材	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22458	市	31138	鉾か	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22031	市	31139	箸	木	中世～近世	-	-	乾燥処理
22459	市	31140	椀皮	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22460	市	31141	板材	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22461	市	31142	下駄の歯	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22462	市	31143	下駄の歯	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22463	市	31144	板材	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22464	市	31145	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22465	市	31146	下駄の歯	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22466	市	31147	樽の底板	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22467	市	31148	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22468	市	31149	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22469	市	31150	下駄の歯	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22470	市	31151	下駄片	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22471	市	31152	桶材	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22472	市	31153	板材	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22473	市	31160	不明	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22474	市	31162	曲物枠	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22475	市	31163	木球	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)

井相田C4次(調査番号:9539 市報519集)

21462	市	2323	銀末製品	木	古代～中世	61-4	44-4	PEG(2m槽)
21463	市	2324	板塔婆片	木	古代～中世	62-7	44-7	PEG(2m槽)
21464	市	2325	樽	木	古代～中世	62-6	-	PEG(2m槽)
21465	市	2326	弭(ゆはず)	木	古代～中世	61-2	-	PEG(2m槽)
21466	市	2327	舟形	木	古代～中世	62-8	-	PEG(2m槽)

博多94次(調査番号:9551 市報593集)

22476	市	40001	樽	木	中世	-	-	PEG(3m槽)
-------	---	-------	---	---	----	---	---	----------

博多96次(調査番号:9559 市報605集)

22477	補	30001	蓋?	木	近世	31-78	32-78	PEG(3m槽)
22478	補	30002	栓	木	近世	31-75	32-75	PEG(3m槽)
22479	補	30003	栓	木	近世	31-76	32-76	PEG(3m槽)
22480	補	30004	栓	木	近世	31-73	32-73	PEG(3m槽)
22481	補	30005	杓文字状	木	近世	63-115	64-115	PEG(3m槽)
22482	市	30006	曲物底板	木	近世	52-102	53-102	PEG(3m槽)
22483	市	30007	曲物枠	木	近世	52-106	-	PEG(3m槽)
22484	補	30014	蓋?	木	中世(15～16C)	72-140	73-140	PEG(3m槽)
22485	補	30017	草履下駄	木	近世(18C前半代)	18-24	19-24	PEG(3m槽)
22486	補	30018	下駄	木	近世(18C前半代)	18-23	19-23	PEG(3m槽)
22487	補	30021	曲物底板or蓋	木	近世	31-77	32-77	PEG(3m槽)

処理番号	区分	運物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
22488	補	30022	草履下駄	木	近世	31-82	32-82	PEG(3m槽)
22489	市	30023	曲物	木	近世	31-81	32-81	PEG(3m槽)
22490	補	30024	栓	木	近世	31-74	32-74	PEG(3m槽)
22491	補	30025	柄	木	近世	31-80	32-80	PEG(3m槽)
22492	市	30026	へら?	木	近世	31-79	32-79	PEG(3m槽)
22493	補	30027	下駄	木	近世	120-231	-	PEG(3m槽)
22494	市	30029	蓋	木	近世	-	-	PEG(3m槽)
22495	補	30030	下駄	木	近世	82-145	83-145	PEG(3m槽)
22496	補	30033	蓋or底板	木	近世	95-175	96-175	PEG(3m槽)
22497	市	30034	曲物	木	近世	95-179	-	PEG(3m槽)
22498	市	30035	構成品の一部	木	近世	95-181	96-181	PEG(3m槽)
22499	市	30036	構成品の一部	木	近世	95-182	-	PEG(3m槽)
22500	補	30044	樽の栓	木	近世	95-178	-	PEG(3m槽)
22501	市	30047	曲物底板?	木	近世	52-104	53-104	PEG(3m槽)
22502	補	30048	曲物底板?	木	近世	52-103	53-103	PEG(3m槽)
22503	補	30049	砧	木	近世	52-109	53-109	PEG(3m槽)
22504	市	30050	何かの構成品	木	近世	52-108	53-108	PEG(3m槽)
22505	市	30051	蓋?	木	近世	52-107	53-107	PEG(3m槽)
22506	市	30055	曲物	木	近世	95-180	-	PEG(3m槽)
22507	補	30057	下駄	木	近世	140-316	-	PEG(3m槽)
22508	補	30058	下駄	木	近世	140-317	-	PEG(3m槽)
22509	補	30059	蓋	木	近世	140-312	-	PEG(3m槽)
22510	補	30062	草履下駄	木	近世	140-315	-	PEG(3m槽)
22511	補	30063	曲物底板	木	近世	140-311	-	PEG(3m槽)
22512	市	30064	曲物底板か蓋?	木	近世	140-310	-	PEG(3m槽)
22513	市	30065	孔付環状木製品	木	近世	140-314	-	PEG(3m槽)
22514	市	30066	蓋?	木	近世	140-313	-	PEG(3m槽)
22515	補	30069	金隠し	木	近世	52-110	53-110	PEG(3m槽)
22516	市	31054	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22517	市	31055	曲物底板	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22518	市	31056	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22519	市	31058	板材	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22520	市	31069	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22521	市	31070	建築材	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22522	市	31071	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22523	市	31072	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22524	市	31073	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22525	市	31074	刷毛	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22526	市	31076	栓	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22527	市	31077	栓	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22528	市	31078	紡錘車	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22529	市	31100	矢板	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22530	市	31101	桶材	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22531	市	31102	矢板	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22532	市	31103	矢板	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22533	市	31104	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22534	市	31105	底板	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22032	市	31106	箸(4本)	木	中世～近世	-	-	乾燥処理
22535	市	31108	板材	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22536	市	31109	底板	木	中世～近世	-	-	PEG(3m槽)
22537	市	31110	板材	木	中世～近世	-	-	

処理番号	区分	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
22589	市	31181	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22590	市	31182	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22591	市	31183	板材	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22592	市	31184	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22593	市	31185	建築材	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22594	市	31186	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22595	市	31188	板材	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22596	市	31241	板材	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22597	市	31242	板草履	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22598	市	31243	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22599	市	31244	板材	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22600	市	31246	杓文字	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22601	市	31247	杓文字	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22602	市	31248	下駄の歯	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22603	市	31249	建築材	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22604	市	31250	樽の底板	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22605	市	31252	樽の底板	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22606	市	31253	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22607	市	31254	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22608	市	31255	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22609	市	31256	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22610	市	31257	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22611	市	31258	板材	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22612	市	31259	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22613	市	31260	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22614	市	31261	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22615	市	31262	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22616	市	31263	桶板	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22617	市	31264	桶板	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22618	市	31265	桶底板	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22619	市	31266	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22620	市	31267	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22621	市	31268	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22622	市	31269	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22623	市	31270	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22624	市	31271	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22625	市	31272	下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22626	市	31273	草履下駄	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22627	市	31274	下駄の歯	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22628	市	31275	底板?	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22629	市	31276	黒漆の不明品	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22630	市	31277	樽の底板	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22631	市	31278	樽の上板か	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22632	市	31279	樽の上板	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)
22633	市	31280	樽の上板	木	中世～近世	-	-	PEG (3m槽)

博多100次(調査番号:9647 市報707集)

22634	補	3003	板状木製品	木	中世	11-82	-	PEG (3m槽)
22635	補	3004	板草履	木	中世	11-85	-	PEG (3m槽)
22636	補	3005	折敷底板?	木	中世	11-83	-	PEG (3m槽)
22637	補	3007	下駄	木	中世	11-86	-	PEG (3m槽)
22638	市	3012	下駄	木	中世	-	-	PEG (3m槽)
22639	市	3013	下駄の歯	木	中世	-	-	PEG (3m槽)

博多102次(調査番号:9752 市報706集)

22034	市	3001	箸	木	中世(13C後半)	39-19	-	乾燥処理
22035	市	3002	箸	木	中世(13C後半)	39-18	-	乾燥処理
22036	市	3003	箸	木	中世(13C後半)	39-13	-	乾燥処理
22037	市	3004	箸	木	中世(13C後半)	39-14	-	乾燥処理
22038	市	3005	箸	木	中世(13C後半)	39-20	-	乾燥処理
22039	市	3006	箸	木	中世(13C後半)	39-16	-	乾燥処理
22040	市	3007	箸	木	中世(13C後半)	39-17	-	乾燥処理
22041	市	3008	箸	木	中世(13C後半)	39-15	-	乾燥処理
22042	市	3009	不明	木	中世(13C後半)	39-11	-	PEG (3m槽)
22043	市	3010	不明	木	中世(13C後半)	39-12	-	PEG (3m槽)
22044	補	3011	扇の骨(下部)	木	中世(12～13C)	71-309	-	PEG (3m槽)
22045	補	3012	箸	木	中世(12～13C)	71-308	-	乾燥処理
22046	市	3013	箸	木	中世(12～13C)	71-307	-	乾燥処理
22047	市	3014	箸	木	中世(12～13C)	71-300	-	乾燥処理
22048	市	3015	箸	木	中世(12～13C)	71-301	-	乾燥処理
22049	市	3016	箸	木	中世(12～13C)	71-299	-	乾燥処理
22050	市	3017	箸	木	中世(12～13C)	71-305	-	乾燥処理
22051	市	3018	箸	木	中世(12～13C)	71-302	-	乾燥処理
22052	市	3019	箸	木	中世(12～13C)	71-304	-	乾燥処理
22053	市	3020	箸	木	中世(12～13C)	71-303	-	乾燥処理
22054	市	3021	箸	木	中世(12～13C)	71-306	-	乾燥処理
22055	市	3022	箸	木	中世(12～13C)	71-298	-	乾燥処理
22643	補	3023	扇の骨	木	中世(12～13C)	71-310	-	PEG (3m槽)
22644	補	3026	しゃもじ	木	中世(12C)	70-296	-	PEG (3m槽)
22645	補	3027	曲物	木	中世(12C)	70-297	-	PEG (3m槽)
22646	補	3052	下駄	木	中世(12C)	-	-	PEG (3m槽)
22647	市	3072	櫛	木	中世	-	-	PEG (3m槽)

博多105次(調査番号:9767 市報628集)

22648	市	2002	下駄	木	中世(12C)	-	-	PEG (3m槽)
-------	---	------	----	---	---------	---	---	-----------

比恵薨棺1次(調査番号:9815 市報625集)

21347	市	40001	手代木	木	中世(14C後～15C前)	10-5	6-5	糖アルコール
21348	市	40002	切り出し形木製品	木	中世(14C後～15C前)	10-6	6-6	糖アルコール
21349	市	40004	木片	木	中世(14C後～15C前)	-	-	糖アルコール
21350	市	40005	木片	木	中世(14C後～15C前)	-	-	糖アルコール
21351	市	40006	木片	木	中世(14C後～15C前)	-	-	糖アルコール
21352	市	40007	木片	木	中世(14C後～15C前)	-	-	糖アルコール

下関C4次(調査番号:9828 市報750集)

21353	市	30204	(板状)人形	木	古代	-	116	糖アルコール
-------	---	-------	--------	---	----	---	-----	--------

下関C5次(調査番号:9922 市報795集)

21467	市	30169	板状建築部材	木	弥生～古墳	109	145	PEG (2m槽)
21468	市	30195	建築部材	木	弥生～古墳	-	145	PEG (2m槽)
21469	市	30197	建築部材	木	弥生～古墳	-	-	PEG (2m槽)
21470	市	30198	柱	木	弥生	-	150	PEG (2m槽)

元岡15次(調査番号:9923 市報860集)

21471	市	602	二又鎌	木	古墳前期後半	28-3	-	PEG (2m槽)
21472	市	603	鎌頭部	木	古墳前期後半	28-2	-	PEG (2m槽)
21473	市	604	反柄鎌(ナスビ型)	木	古墳前期後半	27-1	-	PEG (2m槽)
21474	市	605	底板	木	古代～中世	29-9	-	PEG (2m槽)
21475	市	606	梨(すき)の骨材か	木	古代～中世	28-4	-	PEG (2m槽)
21476	市	607	板材	木	古代～中世	30-19	-	PEG (2m槽)

21477	市	608	有孔板材	木	古代～中世	29-8	-	PEG (2m槽)
21478	市	609	短刀の束	木	古代～中世	29-6	-	PEG (2m槽)
21479	市	610	蓋か	木	古代～中世	29-10	-	PEG (2m槽)
21480	市	611	蓋か	木	古代～中世	29-11	-	PEG (2m槽)
21481	市	612	板材	木	古代～中世	30-16	-	PEG (2m槽)
21482	市	613	カセカケか	木	古代～中世	29-7	-	PEG (2m槽)
21483	市	614	板材	木	古代～中世	30-18	-	PEG (2m槽)
21484	市	615	板材	木	古代～中世	30-17	-	PEG (2m槽)
21485	市	616	指物箱の蓋か	木	古代～中世	30-15	-	PEG (2m槽)
21486	市	617	板材	木	古代～中世	30-21	-	PEG (2m槽)
21487	市	618	鼻輪止めか	木	古代～中世	28-5	-	PEG (2m槽)
21488	市	619	折敷側板	木	古代～中世	29-12	-	PEG (2m槽)
21489	市	620	折敷側板	木	古代～中世	29-14	-	PEG (2m槽)
21490	市	621	折敷側板	木	古代～中世	29-13	-	PEG (2m槽)
21491	市	622	板材	木	古代～中世	30-22	-	PEG (2m槽)
21492	市	623	削り屑	木	古代～中世	30-23	-	PEG (2m槽)
21493	市	624	板材	木	古代～中世	30-20	-	PEG (2m槽)
21494	市	625	板材	木	古代～中世	-	-	PEG (2m槽)
21495	市	627	板材	木	古代～中世	-	-	PEG (2m槽)
21496	市	633	木片	木	古代～中世	-	-	PEG (2m槽)
21497	市	640	木片	木	古代～中世	-	-	PEG (2m槽)
21498	市	643	木片	木	古代～中世	-	-	PEG (2m槽)
21499	市	645	木片	木	古代～中世	-	-	PEG (2m槽)
21500	市	648	木片	木	古代～中世	-	-	PEG (2m槽)
21501	市	651	木片	木	古代～中世	-	-	PEG (2m槽)
21502	市	652	木片	木	古代～中世	-	-	PEG (2m槽)
21503	市	654	木片	木	古代～中世	-	-	PEG (2m槽)

高畑18次(調査番号:9936 市報699集)

21504	市	521	枕形木製品	木	古墳	74-271	-	PEG (2m槽)
21505	市	523	鋤未製品	木	古墳後期前半	74-282	-	PEG (2m槽)
21506	市	532	ねずみ返し	木	古墳初期	-	(写真49)	PEG (2m槽)
21507	市	537	竝か	木	古墳中期	-	-	PEG (2m槽)

博多124次(調査番号:0006 市報758集)

22649	市	30001	加工部材	木	近世(18～19C)	101-1055	-	PEG (3m槽)
22650	補	30002	蓋or底板	木	近世(18～19C)	103-1073	-	PEG (3m槽)
22651	補	30003	蓋or底板	木	近世(18～19C)	103-1084	-	PEG (3m槽)
22652	補	30004	蓋or底板	木	近世(18～19C)	103-1085	-	PEG (3m槽)
22904	市	30005	漆碗	木・漆	近世(18～19C)	98-961	119-961	糖アルコール
22896	市	30006	漆碗	木・漆	近世(18～19C)	98-968	-	糖アルコール
22653	補	30007	曲物(留金具有)	木	近世(18～19C)	99-1004	120-1104	PEG (3m槽)
22654	補	30008	下駄	木	近世(18～19C)	104-1097	-	PEG (3m槽)
22655	補	30009	草履下駄	木	近世(18～19C)	104-1094	-	PEG (3m槽)
22656	補	30012	蓋or底板	木	近世(18～19C)	103-1077	-	PEG (3m槽)
22657	補	30013	蓋or底板	木	近世(18～19C)	103-1075	-	PEG (3m槽)
22658	補	30014	蓋or底板	木	近世(18～19C)	103-1074	-	PEG (3m槽)
22659	補	30015	蓋or底板	木	近世(18～19C)	103-1072	-	PEG (3m槽)
22660	補	30016	脚部(燭台or燈台)	木	近世(18～19C)	100-1029	-	PEG (3m槽)
22661	補	30017	加工部材	木	近世(18～19C)	101-1054	-	PEG (3m槽)
22662	補	30018	加工部材	木	近世(18～19C)	101-1049	-	PEG (3m槽)
22663	補	30019	加工部材	木	近世(18～19C)	101-1042	-	PEG (3m槽)
22664	補	30020	加工部材	木	近世(18～19C)	101-1056	-	PEG (3m槽)
22665	補							

処理番号	区分	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
22878	市	30079	漆碗	木-漆	中世(16C)	98-977	-	糖アルコール
22699	市	30080	木札	木	中世(16C)	100-1024	-	PEG(3m槽)
22700	補	30081	蓋or底板	木	中世(16C)	103-1078	-	PEG(3m槽)
22701	市	30082	加工部材	木	近世(18~19C)	102-1067	-	PEG(3m槽)
22702	市	30083	加工部材	木	中世(16C)	101-1044	-	PEG(3m槽)
22703	市	30085	ヘラ状	木	中世(16C)	100-1005	-	PEG(3m槽)
22704	補	30086	蓋or底板	木	中世(16C)	103-1070	-	PEG(3m槽)
22705	補	30087	下駄	木	中世(16C)	104-1095	-	PEG(3m槽)
22706	補	30088	下駄	木	中世(16C)	104-1098	-	PEG(3m槽)
22707	補	30089	加工部材	木	中世(16C)	102-1066	-	PEG(3m槽)
22708	補	30090	加工部材	木	中世(16C)	102-1059	-	PEG(3m槽)
22709	補	30091	加工部材	木	中世(16C)	101-1052	-	PEG(3m槽)
22710	補	30092	加工部材	木	中世(16C)	102-1062	-	PEG(3m槽)
22711	補	30094	草履下駄	木	中世(16C)	104-1099	-	PEG(3m槽)
22712	補	30095	下駄	木	中世(16C)	104-1096	-	PEG(3m槽)
22713	補	30096	下駄	木	中世(16C)	104-1090	-	PEG(3m槽)
22714	補	30097	下駄	木	中世(16C)	104-1087	120-1087	PEG(3m槽)
22715	補	30098	折敷	木	中世(16C)	99-988	-	PEG(3m槽)
22716	補	30099	折敷	木	中世(16C)	99-989	-	PEG(3m槽)
22717	補	30100	折敷	木	中世(16C)	99-990	-	PEG(3m槽)
22879	市	30101	漆碗	木-漆	中世(16C)	98-984	-	糖アルコール
22718	補	30102	蓋or底板	木	中世(16C)	103-1069	-	PEG(3m槽)
22719	補	30103	編繩	木	中世(16C)	100-1031	-	PEG(3m槽)
22720	補	30104	蓋or底板(木釘有)	木	中世(16C)	103-1079	-	PEG(3m槽)
22721	補	30105	板草履	木	中世(16C)	105-1107	-	PEG(3m槽)
22722	補	30106	板草履	木	中世(16C)	105-1108	-	PEG(3m槽)
22723	補	30107	板草履	木	中世(16C)	105-1109	-	PEG(3m槽)
22724	補	30108	加工部材	木	中世(16C)	102-1065	-	PEG(3m槽)
22725	補	30109	加工部材	木	中世(16C)	102-1061	-	PEG(3m槽)
22726	補	30110	加工部材	木	中世(16C)	101-1043	-	PEG(3m槽)
22727	補	30111	加工部材	木	中世(16C)	101-1033	-	PEG(3m槽)
22728	市	30112	加工部材	木	中世(16C)	101-1032	-	PEG(3m槽)
22729	市	30113	漆ベラ	木	中世(16C)	100-1011	-	PEG(3m槽)
22730	市	30114	ヘラ状	木	中世(16C)	100-1008	-	PEG(3m槽)
22731	市	30115	ヘラ状	木	中世(16C)	100-1009	-	PEG(3m槽)
22732	市	30116	ヘラ状	木	中世(16C)	100-1007	-	PEG(3m槽)
22733	市	30117	ヘラ状	木	中世(16C)	100-1013	-	PEG(3m槽)
22734	補	30118	杓文字	木	中世(16C)	99-992	-	PEG(3m槽)
22909	市	30119	漆碗	木-漆	中世(16C)	98-982	119-982	糖アルコール
22735	補	30120	板草履	木	中世(16C)	105-1105	-	PEG(3m槽)
22736	市	30121	ヘラ状	木	中世(16C)	100-1006	-	PEG(3m槽)
22737	市	30122	ヘラ状	木	中世(16C)	100-1012	-	PEG(3m槽)
22738	補	30123	杓文字	木	中世(16C)	99-991	-	PEG(3m槽)
22739	補	30124	下駄	木	中世(16C)	104-1089	-	PEG(3m槽)
22740	補	30125	加工部材	木	中世(16C)	102-1064	-	PEG(3m槽)
22741	補	30126	蓋or底板	木	中世(16C)	103-1071	-	PEG(3m槽)
22742	補	30127	加工部材	木	中世(16C)	101-1057	-	PEG(3m槽)
22743	補	30128	加工部材	木	中世(16C)	101-1046	-	PEG(3m槽)
22744	補	30129	折敷	木	中世(16C)	99-987	-	PEG(3m槽)
22745	補	30130	折敷	木	中世(16C)	99-986	-	PEG(3m槽)
22880	市	30131	漆碗	木-漆	中世(16C)	98-980	119-980	糖アルコール
22901	市	30132	漆碗	木-漆	中世(16C)	98-979	-	糖アルコール
22902	市	30133	漆碗	木-漆	中世(16C)	98-975	119-975	糖アルコール
22746	補	30136	加工部材	木	中世~近世	101-1041	-	PEG(3m槽)
22747	補	30137	蓋or底板(木釘有)	木	中世~近世	103-1081	-	PEG(3m槽)
22748	補	30138	蓋or底板	木	中世~近世	103-1068	-	PEG(3m槽)
22749	補	30139	蓋or底板	木	中世~近世	103-1082	-	PEG(3m槽)
22881	市	30140	漆碗	木-漆	中世~近世	98-971	119-971	糖アルコール
22914	市	30142	漆碗	木-漆	中世~近世	98-972	-	糖アルコール
22053	市	30143	箸	木	中世(16C)	99-1003	-	乾燥処理
22054	市	30144	箸	木	中世(16C)	99-1002	-	乾燥処理
22055	市	30145	箸	木	中世(16C)	99-1001	-	乾燥処理
22056	市	30146	箸	木	中世(16C)	99-1000	-	乾燥処理
22057	市	30147	箸	木	中世(16C)	99-999	-	乾燥処理
22058	市	30148	箸	木	中世(16C)	99-998	-	乾燥処理
22059	市	30149	箸	木	中世(16C)	99-997	-	乾燥処理
22060	市	30150	箸	木	中世(16C)	99-996	-	乾燥処理
22061	市	30151	箸	木	中世(16C)	99-995	-	乾燥処理
22062	市	30152	箸	木	中世(16C)	99-994	-	乾燥処理
22063	市	30153	箸	木	中世(16C)	99-993	-	乾燥処理
22846	市	31002	漆碗	木-漆	近世(18~19C)	-	-	糖アルコール
22750	市	31004	下駄	木	近世(18~19C)	-	-	PEG(3m槽)
22751	市	31006	曲物側板	木	近世(18~19C)	-	-	PEG(3m槽)
22752	市	31007	底板(漆塗り)	木	近世(18~19C)	-	-	PEG(3m槽)
22847	市	31008	漆塗り木片	木-漆	近世(18~19C)	-	-	糖アルコール
22753	市	31009	下駄未製品か	木	近世(18~19C)	-	-	PEG(3m槽)
22754	市	31010	箱の底板	木	近世(18~19C)	-	-	PEG(3m槽)
22848	市	31011	漆碗	木-漆	近世(18~19C)	-	-	糖アルコール
22849	市	31012	漆碗	木-漆	近世(18~19C)	-	-	糖アルコール
22850	市	31013	漆碗	木-漆	近世(18~19C)	-	-	糖アルコール
22851	市	31014	漆碗	木-漆	近世(18~19C)	-	-	糖アルコール
22852	市	31015	漆碗	木-漆	近世(18~19C)	-	-	糖アルコール
22853	市	31016	漆碗	木-漆	近世(18~19C)	-	-	糖アルコール
22854	市	31017	漆碗	木-漆	近世(18~19C)	-	-	糖アルコール
22855	市	31018	漆碗	木-漆	近世(18~19C)	-	-	糖アルコール
22856	市	31019	金塗箸	木-漆	近世(18~19C)	-	-	糖アルコール
22755	市	31021	曲物底板	木	近世(18~19C)	-	-	PEG(3m槽)
22064	市	31022	箸	木	近世(18~19C)	-	-	乾燥処理
22756	市	31023	曲物	木	近世(19C)	-	-	PEG(3m槽)
22757	市	31024	曲物	木	近世(19C)	-	-	PEG(3m槽)
22758	市	31025	椗	木	近世(19C)	-	-	PEG(3m槽)
22857	市	31026	漆塗碗	木-漆	近世(19C)	-	-	糖アルコール
22858	市	31029	漆塗碗	木-漆	近世(18~19C)	-	-	糖アルコール
22859	市	31030	漆塗碗	木-漆	近世(18~19C)	-	-	糖アルコール
22890	市	31036	加工痕のある木片	木	近世(17C前半)	-	-	糖アルコール
22915	市	31037	漆塗碗	木-漆	中世~近世	-	-	糖アルコール
22759	市	31042	下駄	木	近世	-	-	PEG(3m槽)
22891	市	31043	円盤形	木	近世	-	-	糖アルコール
22065	市	31051	箸	木	中世(16C後半)	-	-	乾燥処理
22066	市	31052	箸	木	中世(15C)	-	-	乾燥処理
22760	市	31062	草履下駄	木	近世(19C)	-	-	PEG(3m槽)
22761	市	31063	下駄	木	近世	-	-	PEG(3m槽)
22892	市	31066	下駄	木	近世	-	-	糖アルコール

処理番号	区分	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
22882	市	31069	漆塗碗	木-漆	中世	-	-	糖アルコール
22067	市	31070	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22068	市	31086	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22762	市	31087	櫛	木	中世(16C)	-	-	PEG(3m槽)
22069	市	31095	箸	木	中世(15C前半)	-	-	乾燥処理
22070	市	31097	箸	木	中世(15C前半)	-	-	乾燥処理
22763	市	31098	草履下駄	木	中世(15C前半)	-	-	PEG(3m槽)
22071	市	31100	箸	木	中世(15C前半)	-	-	乾燥処理
22764	市	31102	草履下駄	木	中世(15C前半)	-	-	PEG(3m槽)
22765	市	31103	円盤形	木	中世(15C前半)	-	-	PEG(3m槽)
22766	市	31104	下駄	木	中世(15C前半)	-	-	PEG(3m槽)
22767	市	31109	草履下駄	木	中世(15C前半)	-	-	PEG(3m槽)
22768	市	31110	曲物	木	中世(15C前半)	-	-	PEG(3m槽)
22769	市	31118	下駄	木	中世(15C前半)	-	-	PEG(3m槽)
22770	市	31119	下駄の歯(2点)	木	中世(15C前半)	-	-	PEG(3m槽)
22771	市	31124	草履下駄など	木	中世(18~19C)	-	-	PEG(3m槽)
22772	市	31125	底板	木	近世(18~19C)	-	-	PEG(3m槽)
22773	市	31126	有孔棒材	木	近世	-	-	PEG(3m槽)
22774	市	31132	加工痕のある木片	木	中世(16C)	-	-	PEG(3m槽)
22072	市	31133	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22073	市	31134	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22775	市	31135	下駄片	木	中世(16C)	-	-	PEG(3m槽)
22074	市	31136	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22075	市	31138	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22076	市	31139	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22077	市	31140	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22078	市	31141	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22079	市	31143	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22080	市	31144	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22081	市	31146	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22082	市	31147	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22083	市	31148	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22084	市	31150	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22085	市	31152	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22086	市	31153	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22087	市	31154	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22088	市	31156	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22089	市	31157	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22776	市	31158	板材(点打痕あり)	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22090	市	31160	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22091	市	31161	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22092	市	31163	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22093	市	31165	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22777	市	31168	下駄	木	中世(16C)	-	-	PEG(3m槽)
22094	市	31169	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22095	市	31173	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22096	市	31174	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22097	市	31175	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22098	市	31179	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22099	市	31180	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22100	市	31181	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22101	市	31185	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22102	市	31187	箸	木				



処理番号	区分	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
22313	市	31683	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22889	市	31684	漆塗椀	木漆	近世	-	-	糖アルコール
22314	市	31685	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22812	市	31688	下駄	木	近世(18~19C)	-	-	PEG(3m槽)
22813	市	31689	下駄	木	近世(18~19C)	-	-	PEG(3m槽)
22814	市	31690	下駄	木	近世(18~19C)	-	-	PEG(3m槽)
22815	市	31691	下駄	木	近世(18~19C)	-	-	PEG(3m槽)
22816	市	31692	くさびか	木	近世	-	-	PEG(3m槽)
22817	市	31693	草履下駄	木	近世	-	-	PEG(3m槽)
22818	市	31694	草履下駄	木	近世	-	-	PEG(3m槽)
22819	市	31695	草履下駄	木	近世	-	-	PEG(3m槽)
22820	市	31696	草履下駄	木	近世	-	-	PEG(3m槽)
22821	市	31697	下駄	木	近世	-	-	PEG(3m槽)
22822	市	31698	板状	木	中世(16C)	-	-	PEG(3m槽)
22315	市	31699	箸	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22316	市	31700	折敷	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22317	市	31701	板草履	木	中世(16C)	-	-	乾燥処理
22318	市	31702	下駄	木	中世~近世	-	-	乾燥処理

比恵82次(調査番号:0308 市報832集)

21508	市	133	杯	木	弥生	57-134	15-134	PEG(2m槽)
21509	市	134	椀	木	弥生	58-135	15-135	PEG(2m槽)
21510	市	135	棒状	木	弥生	58-136	15-136	PEG(2m槽)
21511	市	136	把手付容器	木	弥生	58-137	15-137	PEG(2m槽)
21512	市	137	杵	木	弥生	58-138	15-138	PEG(2m槽)

比恵85次(調査番号:0321 市報856集)

22823	市	20001	板材	木	弥生前期後~中期初	-	-	PEG(3m槽)
22824	市	20002	板材	木	弥生前期後~中期初	-	-	PEG(3m槽)
22825	市	20003	板材	木	弥生前期後~中期初	-	-	PEG(3m槽)
22826	市	20004	板材	木	弥生前期後~中期初	-	-	PEG(3m槽)
22827	市	20005	板材	木	弥生前期後~中期初	-	-	PEG(3m槽)
22828	市	20006	板材	木	弥生前期後~中期初	-	-	PEG(3m槽)

那珂93次(調査番号:0348 市報842集)

21513	市	74	木製鎌	木	弥生中期後半	13-74	18-74	PEG(2m槽)
21514	市	75	板材	木	弥生中期後半	14-75	18-75	PEG(2m槽)
21515	市	76	板材	木	弥生中期後半	14-76	18-76	PEG(2m槽)
21516	市	77	板材	木	弥生中期後半	14-77	18-77	PEG(2m槽)
21517	市	20001	板材	木	古代	-	-	PEG(2m槽)

久保園3次(調査番号:0350 市報837集)

21518	市	40001	諸子鎌未製品	木	弥生中期末	55-325	16-325	PEG(2m槽)
-------	---	-------	--------	---	-------	--------	--------	----------

比恵87次(調査番号:0353 市報857集)

21519	市	3001	なにかの縁部?	木	弥生中期後半	14-w1	-	PEG(2m槽)
21520	市	3002	三叉鎌	木	弥生中期末	31-w4	-	PEG(2m槽)
21521	市	3003	容器	木	弥生中期末	30-w3	巻頭4~下	PEG(2m槽)
21522	市	3004	容器	木	弥生中期末	31-w5	-	PEG(2m槽)
21523	市	3005	ラケット状	木	弥生中期末	29-w2	巻頭4~上	PEG(2m槽)
21524	市	3006	木柄	木	古代(奈良~平安初)	38-w6	-	PEG(2m槽)
21525	市	3007	鋤先	木	弥生中期末	43-w7	-	PEG(2m槽)
21526	市	3008	鍬着装柄	木	弥生中期末	43-w8	-	PEG(2m槽)
21527	市	3009	平鎌	木	弥生中期末	43-w9	-	PEG(2m槽)

吉塚祝町2次(調査番号:0362 市報912集)

21528	市	24	柱根	木	古代(10C後~11C前)	11-24	34-24	PEG(2m槽)
21529	市	25	柱根	木	古代(10C後~11C前)	11-25	34-25	PEG(2m槽)
21530	市	26	柱根	木	古代(10C後~11C前)	11-26	34-26	PEG(2m槽)
21531	市	27	柱根	木	古代(10C後~11C前)	11-27	34-27	PEG(2m槽)
21532	市	73	井戸桶	木	近世(18~19C)	13-73	37-73	PEG(2m槽)
21533	市	827	削り屑	木	古代(11C代)	66-827	99-827	PEG(2m槽)
21534	市	836	折敷	木	中世(12C後)	68-836	102-836	PEG(2m槽)
21535	市	972	栓	木	中世(12C代)	70-972	110-972	PEG(2m槽)
21536	市	980	紡織具(かせ)	木	古代~15C前	70-980	110-980	PEG(2m槽)
21537	市	981	角材	木	古代~15C前	70-981	110-981	PEG(2m槽)
21538	市	982	板材	木	古代~15C前	70-982	110-982	PEG(2m槽)
21539	市	1171	紡織具	木	古代末~中世前期	90-1171	117-1171	PEG(2m槽)
21540	市	1172	板材	木	古代末~中世前期	90-1172	117-1172	PEG(2m槽)
21541	市	1173	隅物か	木	中世	90-1173	117-1173	PEG(2m槽)
21542	市	2029	井戸側削り抜き	木	中世(12C前)	101-2029	137-2029	真空凍結乾燥
21543	市	5001	木製品	木	近世(18~19C)	-	-	PEG(2m槽)
21543	市	5002	木製品	木	近世(18~19C)	-	-	PEG(2m槽)
21544	市	5003	木製品	木	古代~15C前	-	-	PEG(2m槽)
21545	市	5004	木製品	木	古代~15C前	-	-	PEG(2m槽)
21546	市	5005	木製品	木	古代~15C前	-	-	PEG(2m槽)
21547	市	5006	木製品	木	古代~15C前	-	-	PEG(2m槽)
21548	市	5007	木製品	木	古代(11C代)	-	-	PEG(2m槽)
21549	市	5008	木製品	木	古代(11C代)	-	-	PEG(2m槽)
21550	市	5009	木製品	木	中世(12C後)	-	-	PEG(2m槽)
21551	市	5010	木製品	木	中世(12C後)	-	-	PEG(2m槽)
21552	市	5011	木製品	木	中世(12C後)	-	-	PEG(2m槽)

比恵91次(調査番号:0401 市報898集)

22829	市	13003	柱根か	木	弥生中期~後期	-	-	PEG(3m槽)
-------	---	-------	-----	---	---------	---	---	----------

山王2次(調査番号:0459 市報878集)

22918	市	90	櫛	木	平安~鎌倉	13-57	P.20-57	糖アルコール
-------	---	----	---	---	-------	-------	---------	--------

那珂106次(調査番号:0476 市報889集)

22830	市	2001	加工材	木	弥生後期	14-w2	-	PEG(3m槽)
22831	市	2002	柱根か	木	弥生中期	14-w1	-	PEG(3m槽)
22832	市	2003	木器	木	弥生中期	-	-	PEG(3m槽)
22833	市	12007	ヒョウタン	木	弥生後期	-	-	PEG(3m槽)

箱崎51次(調査番号:0559 市報952集)

22917	市	144	井戸枠(銭共伴)	木削銅	中世	-	10	糖アルコール
-------	---	-----	----------	-----	----	---	----	--------

博多161次(調査番号:0572 未報告)

22860	市		漆塗椀	木漆	中世~近世			糖アルコール
22861	市		漆塗椀	木漆	中世~近世			糖アルコール
22862	市		漆塗椀	木漆	中世~近世			糖アルコール
22863	市		漆塗椀	漆土壌	中世~近世			バインダー-17
22864	市		漆塗椀	漆土壌	中世~近世			バインダー-17
22865	市		漆塗椀	漆土壌	中世~近世			バインダー-17
22866	市		漆塗椀	漆土壌	中世~近世			バインダー-17
22867	市		漆塗椀	漆土壌	中世~近世			バインダー-17
22868	市		漆塗椀	漆土壌	中世~近世			バインダー-17

[区分の補は国庫補助事業、市は市単費による]

### (3) 金属製品・その他の遺物

今年度、木製品以外で何らかの作業を行った資料は、48遺跡791点である。その内容は別表に示す。金属器類の保存処理は一部例外を除き、概ね以下の工程により行っている。

●事前調査：肉眼による表面観察の他、実体顕微鏡による付着物等の確認、透過X線による内部構造、劣化状況の把握等。

●クリーニング：埋土や余分な腐食層の除去を目的とする。鉄製品はグラインダーやエアブラシを使用。銅、青銅製品の一部や、これを基調とする金銅製品、ガラス製品など、表面層のデリケートな資料は、顕微鏡下でのアルコール洗浄やメス等を用いたクリーニングを行っている。

●安定化：主に銅・青銅製品について、ベンゾ・トリ・アゾールによる塩類の不活性化を図っている。鉄製品については、内部にメタルが残存し全てが錆に置き換わっていない資料について、水酸化リチウムのアルコール溶液に浸漬する方法により脱塩処理を行う場合がある。

●樹脂含浸：いずれもアクリル樹脂を使用しているが、塗膜の厚さ等を考慮し、鉄製品にはパラロイドNAD-10を、銅・青銅製品にはパラロイドB-72を用いている。内部まで樹脂を浸透させる必要がある資料については50cmHg程度の減圧含浸を実施。

●修復：接着については、特に強度を必要としないものはセルロース系、強度を要する場合はエポキシ系の接着剤を使用。欠損の補填を行う場合、接着剤にマイクロバルーンを混ぜて粘度を高めたものや、鉄粉入りのエポキシ樹脂（国際ケミカル：ポップメタル）などを使用している。

処理後の資料については特別収蔵庫にて保管している他、必要に応じて特殊な材質の袋に脱水、脱酸素の機能を持った薬剤と共に資料を封入する方法（三菱ガス化学：RPシステム）での保管も行っている。

今年度作業を行った中で、主要な資料について触れておきたい。

まず弥生時代の資料では、井尻B17次の青銅器及びその鑄造関連資料がある。17次調査は県道建設に伴って行われた。井尻B遺跡内では比較的広い調査面積で、東西に長い調査区は、西から順にA～Eの記号が付与されている。この中で中央付近のB区やC区では、井戸から青銅の鑄造に用いた坩堝と見られる容器が出土している。これらは厚さ2cm程度の素焼きで、概ね径が25cm、高さ15cm程度に復元されると見られる。胎土は淡黄灰色や橙褐色であるが、容器内面にはこれと質感の異なる灰色の付着物が薄く堆積している。この部分の蛍光X線分析では、鉛を中心に錫、銅といった青銅の成分である元素が明瞭に検出されており、鑄造作業に使用されたものであることが分かる。

また、壺と見られる弥生土器の底部に、緑青が比較的厚く付着した資料もある。同じ様な資料は6次調査でも見つかっており、いずれも分析によって青銅であることが確かめられている。ただ、この青銅が、溶解されて流し込まれたのか、あるいは固まったものが土器に入れられたまま腐蝕したのか、また、その目的など、詳細は明らかにできていない。それでも日常生活で起こり得る状況ではなく、やはり何らかの青銅器製作作業に関わる資料と考えられよう。

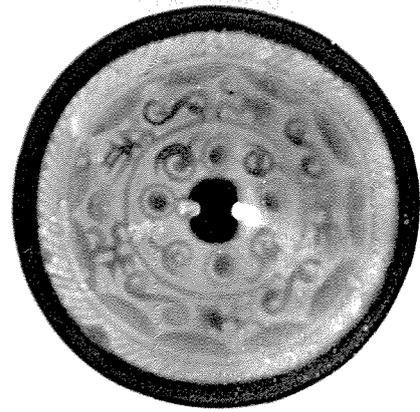
製品としては井戸から小型仿製鏡が出土。内行花文や日光鏡を意識したと見られる文字状の文様帯が巡り、残存状態は良好である。6次調査の鑄型に見られる鏡とは文様構成が異なっており、この鏡が遺跡内で作られたか否かは不明である。

他に、ガラス勾玉の鑄型3点が出土している。この内の一点には、暗紫褐色を呈するガラス状物質が5mm程度の範囲に付着しており、分析の結果、珪素などガラスの主成分の他に、バリウム、鉛といった元素が検出された。他の資料でも微量ながら鉛が検出されており、弥生時代に通有であった鉛バリウムの加工に用いられたものであることが想定される。

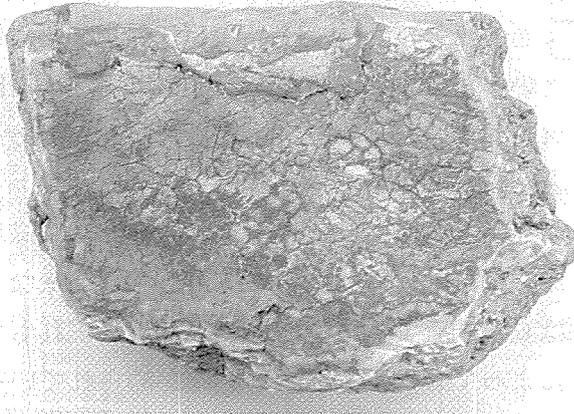
飯倉D1次調査の鉄器類は、1994年の発掘調査



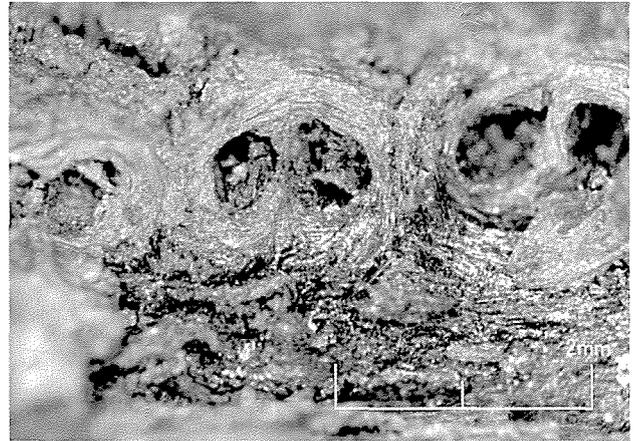
1. 井尻B17次出土小型仿製鏡



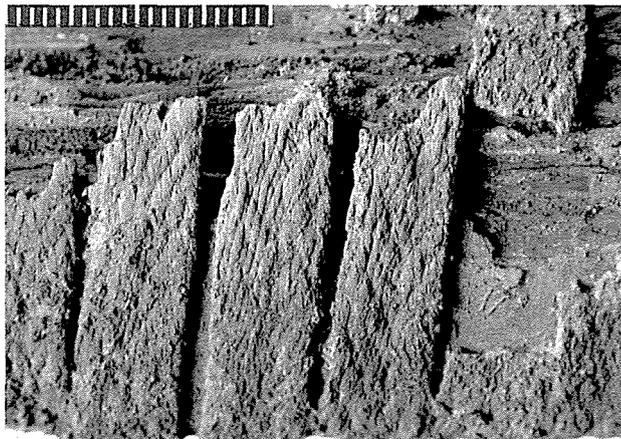
2. 同左透過X線像



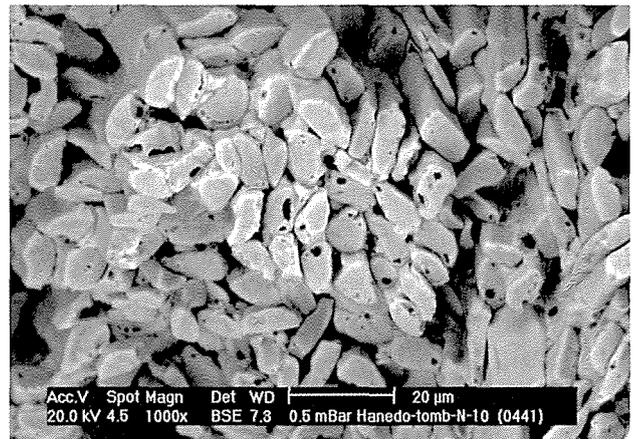
3. 井尻B17次出土土埴塼



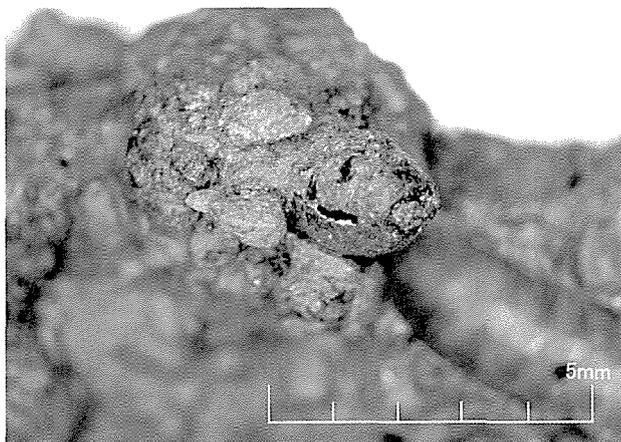
4. 羽根戸N21号墳出土鉄刀柄巻の顕微鏡写真



5. 羽根戸N21号墳出土鉄刀の組紐



6. 同左繊維断面の電子顕微鏡写真  
(断面形状から絹糸であることが分かる)



7. 羽根戸N21号墳出土鍔子に付着した蠅困蛹殻



8. 吉武9次出土八稜鏡

で出土したものであるが、報告書作成時点では保存処理が行われておらず、その後の調査で新たな知見が得られたことから、昨年度本格的な保存処理が行われた。これについては詳細を別途記す。

古墳時代では、5世紀末頃と見られる羽根戸古墳群N21号墳の鉄器が注目される。組成は刀や斧、鎌、刀子、鑷子、鉄鍬など、それほど特異なものではないが、鉄器表面に付着残存する有機物が豊富で、その状況も比較的良好である点が目に付く。特に大刀の鞘に巻かれた組紐は、これほど良好なものは市内初の発見であり、また柄の部分には2本を1まとめにした柄巻きも観察できる。更に、鑷子や刀子には、ハエの蛹（囲蛹殻）も残っている。ハエ囲蛹殻については、一昨年、八女市鶴見山古墳の鏡片に付着した事例を紹介し、田中良之氏の研究から殯との関連性が想定されることを記した。その後、羽根戸古墳群も含め、金属器に付着した例は増加しており、韓国にも広がっている。羽根戸N-21号墳の場合、幾つかの鉄器の中で、刀子と鑷子のみが付着している事から、これら器種が人体に接触していたことが想定され、鑷子の用途を考える上でも大きな手掛かりになることが期待される。

古代～中世では、今年度、鏡の保存処理が比較的多く行われた。箱崎46次、吉武9次では、八稜鏡が出土している。両方とも破損はしているが、吉武9次例は非常に残存状態が良好で白銅色に輝いている。都地泉水1次の鏡は湖州鏡である。湖州鏡そのものは市内でもこれまでに20例ほどの出土例があるが、本例では、本来の鑄出された長方形区画の銘帯と別に、鈕を挟んでこれと対峙するように、非常に細い線彫りで長方形の区画と文字が彫られている。顕微鏡で詳細に観察すると、漢数字で「四五六／六七八九十」と読める。何か呪術的などの意味を持つのか、単なる戯れ書きかは不明である。博多62次の柄鏡は、著しい腐蝕と破損によって当初は不明品として登録されていた。細かい破片をつ

なげていった結果、円形の鏡体に柄の付く鏡に復元された。柄の形状がよく似た鏡は、戸原麦尾遺跡で出土しており、こちらは鏡背に鳳凰などの文様がある高麗鏡である。しかし博多62次例は無紋と見られ、高麗鏡の原型となった柄付きの湖州鏡である可能性も考えられる。

博多153次の青銅製花瓶、盤2枚、鉄壺は、土壙出土の一括資料である。資料そのものは15～16世紀のものと見られるが、遺構は17世紀と考えられ、伝世品との見方が示されている。青銅製品は材質調査を行い、銅、鉛、錫が検出された。また鉄壺を含めた全資料は、九州国立博物館においてX線CT調査を行った。X線CTは、二次元の画像を得る透過X線撮影とは異なり、照射するX線や試料を回転させて、360°の情報をコンピューターで三次元画像に構築する調査法である。人間の医療では早くから導入されているが、文化財の分野では装置が大がかりなこともあって、限定された利用に止まっていた。今年度より本格稼働した九州国立博物館の装置は、ターンテーブルによって資料を回転させる機構で、高さ180cm、直径80cm程度までの資料の測定が可能である。何よりも、ラインスキャンと呼ばれる、1回転ごとの輪切り情報を蓄積する方法と異なり、円錐形に広がって照射されるX線を用いることから、1回転で範囲内の全データを採ることが可能となり、調査時間が著しく短縮された。このため、今回も丸1日の間に、博多153次の4点を含め、10点近い資料のデータを採ることができた。

調査の結果、鉄壺は腐蝕が著しく、思ったほどの情報は得られなかったが、花瓶などは、底板が別構造であることや、それがずれた様子など、目視による実測では明らかにし得なかった情報が数多く得られた。九州国立博物館では、現在、様々な種類の文化財についてのX線CT調査を進めており、その成果も次々に公表されてきている。福岡の地にこの様な装置が導入されたことは、文化財調査にとって大きな利点となろう。



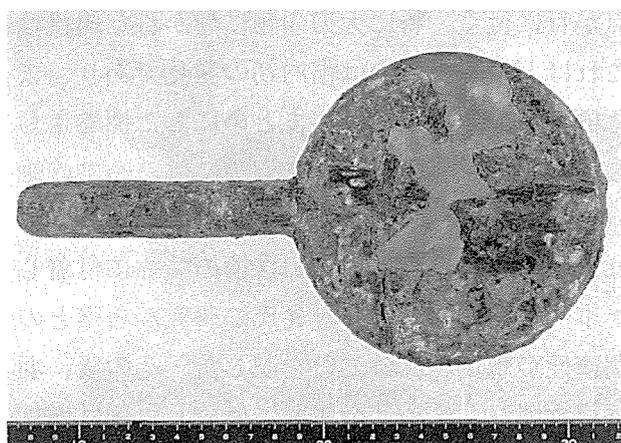
1. 都地泉水1次出土湖州鏡



2. 鏡背面に書かれた線刻



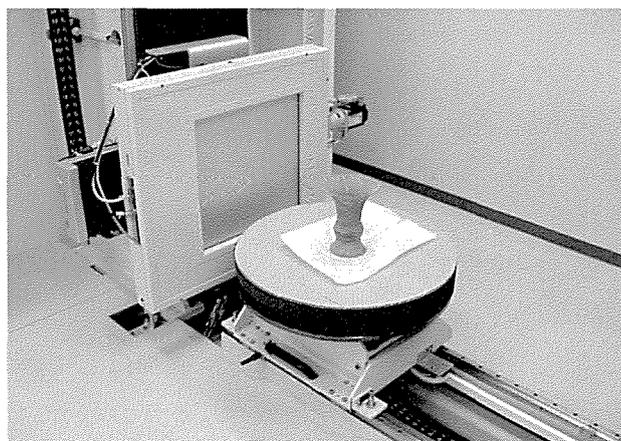
3. 博多62次柄鏡の保存処理前



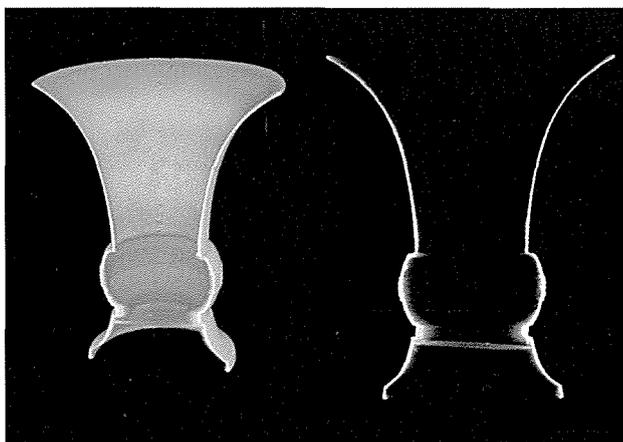
4. 同左処理後



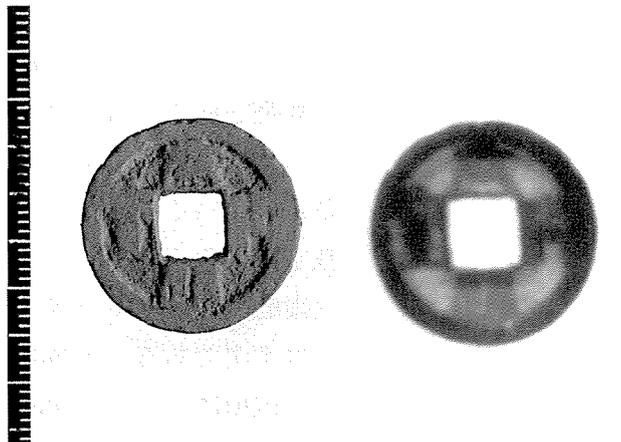
5. 博多153次出土の仏具



6. 九州国立博物館におけるX線CT調査風景



7. X線CTによる断面画像 (九国博提供)



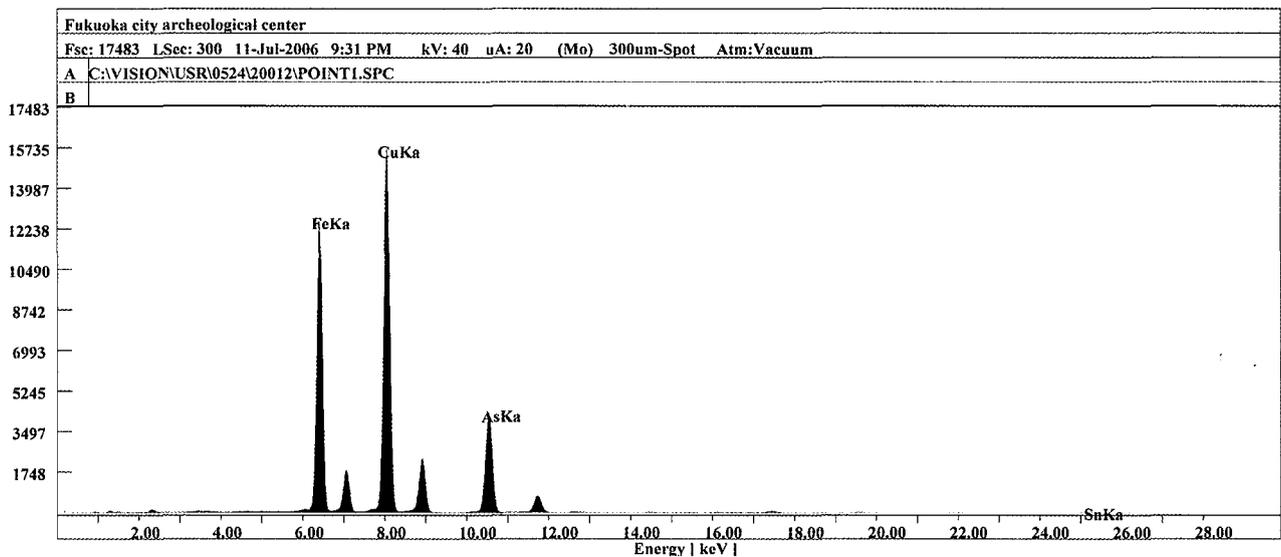
8. 博多153次出土の銅銭 (元祐?通寶)

最後に、同じ博多153次で出土した銭について触れておきたい。この資料は元祐通寶または元符通寶と見られる銭文が見える。いずれにしても宋銭で、博多では特に特に珍しいものではない。ところが本資料の場合、当初は鉄錆に覆われ、クリーニング後は灰銀色の色調を呈している。材質分析では銅の他に強い鉄とヒ素、微弱な錫のピークが得られており、「銅-鉄-ヒ素」合金と考えられる。一般的な中国銭の「銅-錫-鉛」製とは大きく異なり、これまでに見

たことのない組成である。模鑄銭の可能性も含め、詳細な検討は今後に委ねたい。

#### (4) その他の作業について

この他、発掘現場からの保存科学的作業の依頼については例年通り、逐次対応している。また、文化財用事前調査機器類に対する外部からの利用については、平成12年度に策定された利用基準（巻末参照）に基づいた作業を行っている。



博多153次出土元祐通寶の蛍光X線分析結果

表4 平成18(2006)年度保存処理金属器一覽

処理番号	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig
<b>早苗田古墳群1次C群(調査番号:7201 市報24集)</b>					
23009	2002	鉄鍔(方頭)	鉄	古墳後期	14-1
<b>鳥越古墳群1次B群(調査番号:7202 市報24集)</b>					
23010	4062	鉄鍔(方頭)	鉄	古墳後期	29-2
<b>比恵5次(調査番号:8141 未報告)</b>					
23011		鋳造鉄斧	鉄	弥生後期	—
<b>比恵6次(調査番号:8228 市報130集)</b>					
23012-23013	784-785	鉄鍔	鉄	弥生後期~古墳前期	34-23-24
23014	1001	刀子	鉄	弥生後期~古墳前期	未図化
23015	1009	ヤリガンナ	鉄	弥生~古墳	未図化
<b>博多20次(調査番号:8324 市報118集)</b>					
23016	30030	銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	未図化
<b>比恵8次(調査番号:8330 市報116集)</b>					
23017	30004	袋状鉄斧	鉄	弥生?	未図化
<b>博多築港線4次(調査番号:8527 市報205集)</b>					
23018	60059	銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	144-15
<b>吉武9次(調査番号:8535 市報965集)</b>					
23019	440	八稜鏡	銅・青銅	古代(9C)	79-440
23020	441	勾玉	銅・青銅	古代(9C)	79-441
<b>博多築港線5次(調査番号:8653 市報221集)</b>					
23021	60219	銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	69-121
<b>博多40次(調査番号:8833 市報230集)</b>					
23022	35423	銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	未図化
<b>博多46次(調査番号:8902 市報281集)</b>					
23023	1031	銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	未図化
<b>博多62次(調査番号:8963 市報397集)</b>					
23024	20018	銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	447-5
23025	2025	柄鏡	銅・青銅	中世	未図化
23026-23027	21252-20337	銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	未図化
<b>博多66次(調査番号:9022 市報330集)</b>					
23028	3086	銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	40
<b>野方久保4次(調査番号:9232 市報438集)</b>					
23029	20012	鉄鍔	鉄	弥生後期~古墳前期	34-186
<b>博多79次(調査番号:9259 市報447集)</b>					
23030-23031	1708-1709	ガラス容器・同蓋	ガラス	中世	49-1-2
<b>飯倉D1次(調査番号:9360 市報440集)</b>					
23032-23033	347-348	鉄鍔	鉄	弥生終末~古墳前期	59-347-348
23034	349	手鍔	鉄	弥生後期~古墳前期	59-349
23035	350	方形板鋤先	鉄	弥生後期中頃~終末	59-350
23036	351	鉄鍔	鉄	弥生後期中頃~終末	59-351
23037~23040	352~355	不明棒状製品(工具?)	鉄	弥生後期中頃~終末	59-352~356
23041	357	鏃	鉄	弥生後期中頃~終末	59-357
23042	358	鉄片	鉄	弥生後期~古墳前期?	未図化
23043	1350	袋状斧	鉄	弥生後期中頃~終末	図版99-17
23044	1366	鏃	鉄	弥生後期~古墳前期	未図化
23045	1367	鏃	鉄	弥生後期中頃~終末	未図化
23046	1368	鍛造鉄片(三角)	鉄	弥生後期中頃~終末	未図化
23047	1360	鉄片	鉄	古墳前期	未図化
23048	1366	鉄片	鉄	弥生?	未図化
23049-23050	1367-1372	袋状斧	鉄	弥生後期~古墳前期	未図化
23051	1382	農具袋部片	鉄	弥生終末~古墳前期	未図化
23052	1384	鉄片2点	鉄	弥生?	未図化
23053	1387	鉄片	鉄	弥生後期中頃~終末	未図化
23054	1388	鉄鍔?	鉄	弥生?	未図化
<b>博多84次(調査番号:9423 市報521集)</b>					
23055	14	銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	33-8
<b>下月隈B3次(調査番号:9430 市報457集)</b>					
23056	28	鉄鍔(キスリ可能性有り)	鉄	弥生(または近代?)	65-28
<b>志賀島4次(調査番号:9446 市報391集)</b>					
23057~23066	12~21	刀子	鉄	古墳終末期(7C前半)	75-12~21
23067	22	袋状鉄斧	鉄	古墳終末期(7C前半)	75-22
23068	23	環状鉄製品	鉄	古墳終末期(7C前半)	75-23
23069~23077	24~32	耳環	銅・青銅	古墳終末期(7C前半)	75-24~32
<b>西新町10次(調査番号:9533 市報683集)</b>					
23078		不明棒状品	鉄	弥生終末~古墳前期	未図化
<b>井尻B11次(調査番号:9809 市報644集)</b>					
23079	180	銅鍔	銅・青銅	弥生後期?	57-180
<b>博多123次(調査番号:9970 市報670集)</b>					
23080	244	銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	14-207
<b>井尻B17次(調査番号:0027 市報787-834-918集)</b>					
23081	30001	鉄鍔(杏仁形透入)	鉄	古墳前期?	未図化
23082		方形板鋤先	鉄	古墳前期?	未図化
23083		勾玉鏃型	鉄	弥生後期~古墳前期?	未図化
23084	40016	埴輪or取瓶	その他	弥生中期中頃~後半	7-016
23085	40121	勾玉鏃型	その他	弥生終末~古墳初頭	28-121
23086	40257	埴輪or取瓶	その他	弥生後期後半	72-257
23087	6165	勾玉鏃型	その他	弥生後期前半	5-06165
23088	6211	埴輪or取瓶	その他	弥生後期中頃	23208
23089	6212	埴輪or取瓶	その他	弥生後期中頃	60-06212
23090	6251	勾玉鏃型	その他	弥生後期前半	67-06251
23091	36008	小型仿製鏡	銅・青銅	弥生後期前半	67-36008
23092	36009	青銅付着土器	その他	弥生後期前半	65-36009
<b>元岡26次(調査番号:0110 市報963集)</b>					
23093	20013	紡錘車円板	鉄	古墳後期~古代	29-289
<b>下月隈C7次(調査番号:0115 市報881集)</b>					
23094	5801	鏃	鉄	古墳後期~古代	61-M1
23095	5802	短刀?	鉄	弥生中期中頃~後期	161-M1
23096-23097	6801-6802	銅鍔	銅・青銅	弥生後期~古墳前期	77-M2・1
<b>箱崎30次(調査番号:0210 市報948集)</b>					
23098	30001	銅銭	銅・青銅	中世	未図化
23099	30002	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	81-1
23100	30003	銅銭(至道元寶)	銅・青銅	中世	81-2
23101	30004	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	81-3
23102	30005	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	中世	81-4
23103	30006	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23104	30007	銅銭	銅・青銅	中世	未図化
23105	30008	銅銭(治平元寶)	銅・青銅	中世	81-5
23106	30009	キセル?	銅・青銅	中世	未図化
23107	30010	不明	銅・青銅	中世	未図化
23108	30011	十字鏃	銅・青銅	中世	未図化
23109	30012	銅銭(景德元寶)	銅・青銅	中世	81-6
23110	30013	銅銭(元豊通寶)	銅・青銅	中世	81-7
23111	30014	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	81-9
23112	30016	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	81-11
23113	30017	銅銭(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	81-12
23114	30018	銅銭(聖宋元寶)	銅・青銅	中世	81-14
23115	30019	銅銭(天禧通寶)	銅・青銅	中世	81-18
23116	30020	銅銭(元豊通寶)	銅・青銅	中世	81-15
23117	30021	銅銭(元豊通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23118	30022	銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	81-16
23119	30023	銅銭(嘉祐元寶)	銅・青銅	中世	81-17
23120	30024	銅銭(治平元寶)	銅・青銅	中世	81-19
23121	30025	銅銭(元豊通寶)	銅・青銅	中世	81-20
23122	30026	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23123-23125	30027-30029	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化

処理番号	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig
23124	30028	銅銭(元豊通寶・折二)	銅・青銅	中世	81-21
23126	30030	銅銭(祥符元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23127	30031	鈴	銅・青銅	中世	未図化
23128	30032	耳かき状	銅・青銅	中世	未図化
23129	30033	針	銅・青銅	中世	未図化
23130	30034	銅滓	銅・青銅	中世	未図化
23131	30035	不明	銅・青銅	中世	未図化
23132	30036	不明板状(インゴット状)	銅・青銅	中世	未図化
23133	30037	キセル	銅・青銅	中世	未図化
23134	30038	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	81-25
23135	30039	不明金具	銅・青銅	中世	未図化
23136	30040	銅銭(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23137	30041	銅銭(至和元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23138	30042	銅銭	銅・青銅	中世	未図化
23139	30043	銅銭(治平元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23140-23141	30044-30045	銅銭	銅・青銅	中世	未図化
23142	30046	銅銭(熙寧元寶・見札)	銅・青銅	中世	未図化
23143	30047	ボタン状	銅・青銅	中世	未図化
23144	30048	鏃	銅・青銅	中世	未図化
23145	30049	キセル	銅・青銅	中世	未図化
23146	30050	銅銭(宣和通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23147	30051	環状	銅・青銅	中世	未図化
23148	30052	切羽	銅・青銅	中世	未図化
23149	30053	蓋状	銅・青銅	中世	未図化
23150	30054	銅銭(元豊通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23151	30055	銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23152	30056	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23153	30057	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23154~23156	30058-30060	不明	銅・青銅	中世	未図化
23157	30061	板状	銅・青銅	中世	未図化
23158	30062	キセル	銅・青銅	中世	未図化
23159	30063	銅銭(景祐元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23160	30064	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23161	30065	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23162	30066	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23163	30067	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	中世	81-28
23164	30068	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23165	30069	ボタン状	銅・青銅	中世	未図化
23166	30070	銅銭(口元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23167	30071	銅銭(元豊通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23168	30072	銅銭(祥符元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23169	30073	銅製品	銅・青銅	中世	未図化
23170	30074	銅銭(大觀通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23171	30075	銅銭	銅・青銅	中世	未図化
23172	30076	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
<b>箱崎37次(調査番号:0263 市報951集)</b>					
23173	65031	短刀	鉄	中世	未図化
<b>浦江7次(調査番号:0263 市報862集)</b>					
23174	1054	耳環	銅・青銅	古墳後期	25-1
<b>箱崎40次(調査番号:0318 市報949集)</b>					
23175	5001	和鏡	銅・青銅	中世	18-25
23176	5004	鉄刀	鉄	古墳後期	9-3
23177~23181	5005~5009	鉄鍔	鉄	古墳後期	9-5~9
23182	5010	鉄鍔・刀子片	鉄	古墳後期	9-10~13
23183	5011	鏃	鉄	古墳後期	9-4
23184	30001	銅銭(元豊通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23185	30002	銅銭(口元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23186	30003	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23187	30004	銅銭(紹定通寶)	銅・青銅	中世	81-29
23188	30005	銅銭(元豊通寶)	銅・青銅	中世	81-30
23189-23191	30006-30008	銅銭	銅・青銅	中世	未図化
23190	30007	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23192	30009	銅銭(治平元寶)	銅・青銅	中世	81-33
23193	30010	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23194	30011	銅銭(祥符元寶)	銅・青銅	中世	81-34
23195	30012	銅銭(聖宋元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23196	30013	銅銭(祥符元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23197	30014	銅銭(祥符元寶)	銅・青銅	中世	81-35
23198	30015	銅銭(政和通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23199	30016	銅銭(宣和通寶・折二)	銅・青銅	中世	81-32
23200	30017	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23201-23202	30018-30019	銅銭	銅・青銅	中世	未図化
23203	30020	銅銭(淳化元寶)	銅・青銅	中世	



処理番号	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig
23453		銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	14-110
23454		銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	66-783
23455		銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23456・23457		銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23458		銅銭(紹聖通寶)	銅・青銅	中世	66-791
23459		銅銭(至和元寶)	銅・青銅	中世	66-781
23460・23468		銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23461・23462		銅銭(天禧通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23463		銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23464		銅銭(口祐元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23465		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23466		銅銭(祥元元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23467		銅銭(口口元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23469・23470		銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23471		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	66-773
23472		銅銭(××通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23473		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23474		銅銭(口口××)	銅・青銅	中世	未図化
23475		銅銭(政和通寶)	銅・青銅	中世	66-790
23476		銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23477		銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	66-784
23478・23482		銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23479		銅銭(口口元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23480		銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	23-191
23481		銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23483		銅銭(聖元元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23484		銅銭(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23485		銅銭(淨源元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23486・23488		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23487		銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23489		銅銭(口祐元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23490		銅銭(天禧通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23491		銅銭(景元元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23492		銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	11-72
23493・23497		短刀	鉄	中世	未図化
23494		短刀	鉄	中世	48-503
23495		短刀	鉄	中世	21-174
23496		短刀	鉄	中世	63-686
23498		短刀	鉄	中世	27-258
箱崎49次(調査番号:0504 未報告)					
23499	30001	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23500	30002	銅銭(嘉祐元寶)	銅・青銅	中世	未図化
名島城3次(調査番号:0506 市報938集)					
23501		鉄鑿	鉄	中世	18-25
飯氏10次(調査番号:0507 市報922集)					
23502	99	ガラス管玉	ガラス	弥生~古墳初頭	33-99
比惠99次(調査番号:0513 市報955集)					
23503		不明鉄塊	鉄	弥生中期	33-277
箱崎50次(調査番号:0517 未報告)					
23504	20001	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	---
23505	20002	銅銭(治平元寶)	銅・青銅	中世	---
23506	20003	銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	---
23507・23508	20004・20005	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	---
23509	20006	銅銭(口×元寶)	銅・青銅	中世	---
23510	20007	鉄釘	鉄	中世	---
博多153次(調査番号:0524 市報942集)					
23515	20001	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	62-138
23516	20002	銅銭(無文?)	銅・青銅	中世	62-139
23517	20003	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	62-140
23518	20004	銅銭(判説不能)	銅・青銅	中世	62-141
23519	20005	銅銭(××通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23520~23522	20006~20008	銅銭(判説不能)	銅・青銅	中世	未図化
23523	20009	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	中世	62-142
23524	20010	不明銅製品(円板)	銅・青銅	中世	未図化
23525~23526	20011・20012	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	62-143・144
23527	20013	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	62-145
23528	20014	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	中世	62-146
23529・23531	20015・20017	不明銅製品(飾金具?)	銅・青銅	中世	未図化
23530	20016	刀装具(目貫)	銅・青銅	中世	未図化
23532	20018	煙管	銅・青銅	中世	未図化
23533	20019	不明銅製品(棒状)	銅・青銅	中世	未図化
23534	20020	不明銅製品(飾金具?)	銅・青銅	中世	未図化
23535	20021	不明銅製品(釘隠?)	銅・青銅	中世	未図化
23536~23537	20022・20023	煙管	銅・青銅	中世	未図化
23538・23539	20024・20025	鉄釘	鉄	中世	未図化
23540	20026	留め金具	鉄	中世	未図化
23541・23545	20027・20031	鉄釘	鉄	中世	未図化
23542	20028	刀子?	鉄	中世	未図化
23543	20029	錠?	鉄	中世	未図化
23544・23546	20030	不明鉄製品(板状)	鉄	中世	未図化
23547	20033	鉄釘?	鉄	中世	未図化
23548	20034	不明鉄製品(板状)	鉄	中世	未図化
23549・23550	20035・20036	鉄釘?	鉄	中世	未図化
23551	20037	不明鉄製品(角棒状)	鉄	中世	未図化
23552・23553	20038・20039	鉄釘	鉄	中世	未図化
23554	20040	刀子	鉄	中世	未図化
23555・23556	20041・20042	鉄釘	鉄	中世	未図化
23513・23512	20043・20044	鎮壇具(盤)	銅・青銅	中世末~近世	53-67・66
23511	20045	鎮壇具(花瓶)	銅・青銅	中世末~近世	53-65
23514	20046	鎮壇具(鉄壺)	鉄	中世末~近世	53-68
比惠102次(調査番号:0532 市報956集)					
23557	40001	袋状鉄斧	鉄	弥生後期~古墳前期	41-290
博多155次(調査番号:0544 市報944集)					
23558	30001	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	9-30001
23559・23561	30002・30004	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23560	30003	銅銭(天禧通寶)	銅・青銅	中世	9-30003
23562	30005	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23563・23564	30006・30007	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23565	30008	銅銭(口×口寶)	銅・青銅	中世	未図化
23566	30009	銅銭(元豐通寶(縁削り))	銅・青銅	中世	未図化
23567	30010	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23568	30011	銅銭(口×××)	銅・青銅	中世	未図化
23569	30012	銅銭(口口××)	銅・青銅	中世	未図化
23570	30013	銅銭(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23571	30014	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23572	30015	銅銭(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	9-30015
23573	30016	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23574	30017	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	9-30017
23575	30018	銅銭(祥符通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23576	30019	銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23577	30020	銅銭(景元元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23578	30021	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23579	30022	銅銭(正隆元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23580	30023	銅銭(祥符通寶)	銅・青銅	中世	9-30023
23581	30024	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化

処理番号	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig
23582	30025	銅銭(政和通寶)	銅・青銅	中世	9-30025
23583	30026	銅銭(大觀通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23584・23588	30027・30031	銅銭(口口口口(縁削り))	銅・青銅	中世	未図化
23585	30028	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23586	30029	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23587	30030	銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23588	30032	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23589	30033	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23590	30034	銅銭(治平通寶)	銅・青銅	中世	9-30034
23591	30035	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23592		銅銭(8枚鑄ぎ)	銅・青銅	中世	未図化
23593~23600	30036~30043	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23601・23602	30044・30045	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23603	30046	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23604	30047	銅銭(元口通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23605	30048	銅銭(口×元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23606~23608	30049~30051	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23609	30052	銅銭(×符元×)	銅・青銅	中世	未図化
23610	30053	銅銭(口口元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23611	30054	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	9-30054
23612	30055	銅銭(口口口×)	銅・青銅	中世	未図化
23613	30056	銅銭(未通元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23614・23618	30057・30061	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23615	30058	銅銭(至道元寶(縁削り))	銅・青銅	中世	9-30058
23616	30059	銅銭(祥符元寶)	銅・青銅	中世	未図化
23617	30060	銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	9-30060
23619	30062	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23620	30063	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23621	30064	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23622	30065	銅銭(口×元寶(縁削り))	銅・青銅	中世	未図化
23623・23624	30066・30067	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23625	30068	銅銭(口口口×)	銅・青銅	中世	未図化
23626	30069	銅銭(元口通寶)	銅・青銅	中世	未図化
23627・23628	30070・30071	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23629	30072	銭片多数	銅・青銅	中世	未図化
23630	30073	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世	未図化
23631・23633	30074・30076	板状銅製品	銅・青銅	中世	未図化
23632	30075	棒状銅製品	銅・青銅	中世	未図化
23634	30077	鈴	銅・青銅	中世	未図化
23635	30078	キセル	銅・青銅	中世	未図化
23636	30079	不明銅製品	銅・青銅	中世	未図化
23637	30080	板状銅製品	銅・青銅	中世	未図化
23638	30081	銅銭(口×××)	銅・青銅	中世	未図化
23639	30082	銭片多数	銅・青銅	中世	未図化
23640	30083	銅銭(口口口×)	銅・青銅	中世	未図化
博多156次(調査番号:0551 市報945集)					
23641	20001	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	中世	112-129
23642	20002	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	112-130
23643	20003	銅銭(元×通寶)	銅・青銅	中世	112-131
23644	20004	銅銭(和同開珎)	銅・青銅	中世	112-132
23645	20005	帯金具	銅・青銅	中世	未図化
23646	20006	不明銅製品(細環状)	銅・青銅	中世	未図化
23647	20007	飾り金具	銅・青銅	中世	未図化
23648	20008	耳環?	銅・青銅	古墳?	115-206
23649	20009	加工鉄片	鉄	古墳前期	86-93
23650	20010	ヤリガンナ	鉄	古墳前期	89-109
23651	20012	加工鉄片	鉄	古墳前期	89-108
23652	20013	鉄釘	鉄	中世?	未図化
23653	20014	鉄釘?	鉄	中世?	未図化
23654	20015	不明鉄製品	鉄	中世?	未図化
23655~23657	20016~20018	鉄釘	鉄	中世?	未図化
23658	20019	鉄片(鑄造品)	鉄	古墳?	58-61
23659	20020	不明鉄製品(基部分)	鉄	中世?	58-62
23660	20021	短刀片?	鉄	中世?	未図化
23661	20022	鑄造鉄斧片?	鉄	古墳?	58-63
23662	20023	不明鉄製品(工具?)	鉄	中世?	58-64
23663	20024	鉄片(鑄造品)	鉄	中世?	80-86
23664	20025	鉄鏃	鉄	古代(8C)	99-125
23665	20026	鉄釘	鉄	中世	未図化
23666	20027	不明鉄製品(棒状)	鉄	中世?	未図化
23667	20028	長頸鉄鏃状	鉄	古墳?	80-87
23668・23669	20029・20030	鉄釘	鉄	中世?	未図化
23670~23672	20031~20033	不明鉄製品(棒状)	鉄	中世?	未図化
23673	20034	鉄片(切っ先)	鉄	中世?	未図化
23674	20035	加工鉄片?	鉄	古墳?	115-204
23675	20036	加工鉄片?(細板状)	鉄	古墳?	115-203
23676	20037	鉄鏃	鉄	古墳?	115-201
23677	20038	刀装具(鞘口金具)	鉄	古墳?	115-205
23678	20039	刀子	鉄	古墳?	115-207
23679	20040	加工鉄片?	鉄	古墳?	115-202
23680	20041	鉄釘	鉄	中世?	未図化
23681	20042	不明鉄製品(ピン状)	鉄	中世?	未図化
23682	20043	不明鉄製品(環板状)	鉄	中世?	未図化
23683・23684	20044・20045	鉄釘	鉄	中世	未図化
23685	20046	不明鉄製品(板状)	鉄	古墳?	未図化
23686	20047	不明鉄製品(棒状)	鉄	中世?	未図化
23687~23689	20048~20050	鉄釘	鉄	中世	未図化
23690	20051	短刀	鉄	中世	未図化
箱崎51次(調査番号:0559 市報952集)					
23691		不明球状	銅・青銅	古代末(10~11C)	未図化
博多158次(調査番号:0564 未報告)					
23692		不明板状銅製品			

## 飯倉D遺跡 1次調査出土鉄器について

飯倉D遺跡は、城南区七隈3丁目所在する弥生後期～奈良時代の集落遺跡である。1994年の発掘調査で、当該時期の住居や溝、土壌などが検出された。数ある成果の中でも特に注目を集めたのが、弥生後期後半と見られる竪穴住居址から出土した石製の鏡範である。全体の4分の1ほどの残存であるが、石英長石斑岩製の片面に径7cm程度に復元される小型仿製鏡と、反対面には広形矛の袋部が彫り込まれている。また別の遺構（溝）からは鏡面と見られる筈や、他にも複数の鉄器、ガラス小玉なども発見されており、その内容は1995年に刊行された報告書に記されている（中村ほか1995）。

その後、出土遺物及び記録類は所定の手続きを経て、保管と活用を目的として埋蔵文化財センターに収蔵されたが、特に鉄製品は保存処理が行われないままの状態、分厚い錆びに覆われたり腐蝕が進行している状況のものも認められた。しかし、これら資料が搬入された当時は、事前調査の基本的な装置である透過X線撮影装置もなく、当座は脱酸素材を封入したバリア袋内で保管することで凌ぐこととした。幸い、ほぼ同時進行でセンターの増築、改造事業が進行しており、数年後には透過X線を含めた事前調査機器が導入されると共に処理施設も拡充され、格段に作業環境が向上した。これにより改めて飯倉D遺跡出土金属器類の保存処理が本格的に行われたが、その結果、報告書掲載時と大きく資料の様相が変化した他、新たな知見が得られた。ここに保存処理後の姿を紹介し、資料の活用を図るものである。

遺跡の詳細は報告書が刊行されているので、ここでは割愛する。飯倉D遺跡1次調査で出土した鉄器は21点が登録され、発掘調査報告書では、11点が図示されているが、保存処理によるクリーニングや、破片が接合したことで姿が変わったものが幾つかある。また、図化されてい

ないものの中では、当初、登録台帳にて鉄滓として扱われていたが、透過X線調査やクリーニングの結果、製品であることが判明した例も少なくない。これらを出土遺構別に見ていくが、出土遺構は報告書に掲載されたもの以外は、遺物に付されたラベルの記載や遺物の登録台帳が手掛かりとなる。しかしこの中には若干の混乱を来しているものもあるようで、それらは随時、文中で触れていく。

### 1. SC-246：竪穴住居址

3棟の竪穴住居が切り合っており、その中の最も新しい246-3住居床面から小型仿製鏡鏡範片が出土した。床面からは焼土や炭化物が検出されている他、住居内南西側には70×90cmの楕円形状を呈する焼土坑も見つかっている。この住居内で見つかった焼土は、三辻利一氏による蛍光X線分析が行われ、銅が検出されたとの報告が寄せられており、これらの状況から、本住居址は青銅器製作の工房と考えられている。住居から出土する土器は、弥生後期中頃～終末のものとなれ、ガラス小玉5点も出土している。  
鑿（第1図-1：福岡市登録番号〔以下同じ〕936000357）

大型で、鉄器の中で最も目を引く資料である。全長23.7cm、刃部の幅4.1cm、厚さは最大1.5cm（錆を除いた推定値）を計る。刃部は片側は角が張っているが、もう一方は張りが無く減りが大きいように見受けられる。しかし頭部は丸く、特に叩かれたような痕跡は観察できず、刃部の状況と整合性が見られない。中央から上半に若干のねじれが見られるが、これは腐蝕に伴う破損や変形が影響したものかもしれない。

鑿と鑿の峻別は難しい部分もあるが、本資料の形状や寸法、何よりその重厚感は、金工、それも相当大がかりな作業に用いられることを想起させる。同じ様な時期の類例としては、福岡県赤井手遺跡6号土壙（丸山1980）、長崎県原の辻遺跡（福田他2005）、韓国蔚山市下袋44号墓（釜山大学校1997）、韓国金海大成洞古墳群（申ほか2000）、韓国金海良洞里古墳群（東義大学校2000）、広島県西願寺D地点地点2号石室（金

井1974)、広島県梨ヶ谷遺跡(村上他2003)などが挙げられる。この中で前4者は全長が30cm前後と飯倉例よりも長く、やや肉厚な特徴を持つ。また赤井手や下埜、大成洞、良洞里例は、同一遺構よりまとまった数が出土することなどから、これらを鉄素材とする見方もある(武末2004)。

#### 鋤先(第1図-2: 936000350)

横幅11cm、縦幅は長い方が4.5cm、短い方は2.5cmと、刃のラインは著しく斜めになっている。単純に片減りとも見えるが、縦の長さが短い側の袋部は整った形状を保っている。また同じ側の刃部は、袋部のある側に僅かに折れ曲がっている様子が見られる。これも使用に伴う痕跡であろうか。有機物の痕跡は認められない。

#### 鎌(第1図-3: 936000351)

全長14cm、最大幅4cmである。通常の鎌に見られる基部の折り返しと別に、基部に近い側の下端が幅約5cmにわたって折り曲げられている。この様な例は他に見あたらず、目的や用途は不明であるが、柄に差し込む際に厚さを調節したものかもしれない。先端の形状はコの字形を呈する。報告書の図とそれほど大きくは変化無いが、破断面観察の結果、折り返しのある側に刃が付けられていることが判明。結果的に天地が入れ替わっている。

#### 不明工具(第1図-4・5: 936000355・936000352)

4は報告書の355と356が接合して完形品となったものである。余分な錆が比較的きれいに剥がれ、本来の形状が明瞭に観察できる資料となった。幅5mm、厚さ4mm、長さ11.6cmの角棒で、片方の端部は先細りとなり、もう一方には刃が付けられて、彫刻刀のような形状を呈している。こちらは有機質は残存していないが、細かい細工に用いる鑿あるいは鑿といった用途が考えられる。

5は報告書では1片しか描かれていないが、未図化資料と接合した。太さ5mm、長さ8.9cmの角棒である。天地は不明であるが図の上側は折損している。一部に木質と見られる有機物痕跡が残存しており、柄などが取り付けられて工

具として使用された可能性が考えられる。

#### 袋状鉄斧(第1図-6: 936001350)

当初鉄滓として登録されていたが、保存処理の結果、袋状斧であった。全長7.2cm、刃部幅3.1cmで、小型の部類に属する。袋部に折り返しなどはなく、袋部から刃部にかけては、なだらかにつながっていて、段差などは見られないシンプルな形状である。

#### 鉄鏃(第1図-7: 936001387)

無茎凹基式とされる鉄鏃(川越1993)の一部と見られる。現存長3.6cm、同幅2.5cm。矢柄などの有機物や固定用の孔などは認められない。

#### 加工鉄片(第1図-8: 936001358)

現存長3.8cm、最大幅2.2cmで、本来の厚さは2mmに満たない程度と見られる。一カ所の角を欠くものの、整った直角三角形を呈する板状の鉄器である。幅の広い側で若干の反りが認められる。この様な形状の鉄器は通有の生活用具には無く、鉄器製作に伴って生じた切断片に良く似たものが含まれており、本資料も同様の性格が考えられる。

#### 不明鉄器(第1図-9・10: 936000750・936001357)

9は現存長2.8cm、幅1.6cm、厚さ1.5mm程度で、左右は破損している。長辺の片側が刃のように薄くなっており、刀子など刃物といった姿が考えられる。

10は4.8cm×2.1cm、本来の厚さ1mmほどと見られる不定形の鉄板である。一部に木質が残るものの、外周のほとんどが破損しているようで、本来の形状は全く想像できない。

## 2. SC-060: 竪穴住居址

SC-246の北側8m程に位置する。やはり3棟が重複して作られている。出土する土器は弥生時代終末～古墳時代初頭である。報告書では鉄器は1点とされているが、その後、鉄滓とされる資料から2点の鉄器が発見され、合計3点となった。ただし、これら後発の2点のラベルには「SK-60」と書かれている。それでも、遺構一覧の中に該当する遺構が無いこと、SKは通常土坑に対して使われるが、飯倉D1次調査では

土坑はSXで表されていること、遺構の数字は通しで付けられており、同じ遺構番号で性格の異なる遺構がないこと、ラベルに書かれた日付と調査日誌の内容が符合することなどから、SC-060の出土資料と判断した。

#### 鉄鏃(第2図-1 : 936000347)

元々SC-060出土資料として報告書に掲載されていた1点である。無茎凹基式鉄鏃の完形品で、本来の形状を良く止めている。全長3.4cm。幅2.0cm、厚さ1.5mm前後で、矢柄や固定用の孔などは認められない。

#### 袋状鉄斧(第2図-2 : 936001367)

保存処理前に著しい腐蝕によって資料の一部が崩壊していたが、何とか全体像を復元することができた。それでも刃部の先端などは、本来の厚さから大きくかけ離れた状態となっている。長さ6.0cm、刃部幅2.9cmという大きさは、SC-246出土の936001350や、後で述べるSC-074の936001372と近い数値を示していて、肩が張らない形状も共通している。袋部内に、僅かながら木質らしき痕跡が残る。

#### 袋状鉄斧 ? (第2図-3 : 936001382)

錆膨れによる変形が著しいが、湾曲した板状製品である。本来の形状を保った部分は一辺のみで、他は破損している。湾曲の形状や大きさなどから、袋状斧の袋部と考えた。とするならば、この遺跡から出土する他の袋状斧に比べて大型である。折り返しや有機物の付着は見られない。

### 3. SC-074 : 竪穴住居址

SC-060の西に隣接する。2棟の住居が切り合っている。出土する土器から、弥生時代後期前半の時期が想定されている。ここでもガラス小玉が3点出土している。

#### 不明棒状鉄器(第2図-4 : 936000354)

4mm×3mmの矩形断面を有する棒状品で、片側端部は丸く、もう一方は尖っている。長さは7.2cmである。有機物の付着は認められず、SC-246出土の936000355の様に刃部が形成されているものではないが、何らかの工具であると考え

られる。

#### 鉄鏃(第2図-5 : 936000348)

この鏃も無茎凹基式で、先端を少し欠く以外には良好な残存状況を保ち、何よりも矢柄が明瞭に残る。しかしX線観察でも孔は見えない。

#### 袋状鉄斧(第2図-6 : 936001372)

一部に腐蝕による欠損も見られるが、全体像を窺い知るには十分な状態である。長さ6.7cm、刃部幅2.5cm。肩は張らないものの、側面には製作時に叩かれたと見られる痕跡が稜線となって残る。

#### 鉞(第2図-7 : 936001356)

刃部の先端を僅かに欠くが、現存長7.0cm、最大幅1.5cmで、刃部は比較的強い反りと若干の裏すきを有する。身部の断面は浅いU字形を呈し、その5cm程の範囲は特に上面において明瞭な木質の残存が観察される。鉞の型式分類は、小田富士雄氏や野島永氏によるものが知られている(小田1977・野島1993)。本例は小田分類では立岩型に属すると考えられ、より細分化された野島分類で見ると、概ねB類に区分されるが、身部の形状ではB-1類、長さではB-2類と、明確な分類が困難である。その他の鉞の例を見ても(川越1993)、飯倉D例の様に横断面で見た凹みは刃部と身部で逆になっている例はほとんど無く、その部分でもやや特異な形状と言えるのかもしれない。

### 4. その他の遺構

#### 不明棒状鉄器(第3図-1 : 936000353)

SC-001出土。本遺構はSC-246の20mほど東に位置する住居址で、2棟が切り合っている。出土する土器から弥生時代後期に比定される。

先端が細くなった角棒で、一方は欠損している。有機物の付着は認められない。現存長3.1cm、断面は最も太い部分で0.9×0.7cmとなっている。SC-246や074の工具と同様のものであろうか。

#### 手鎌(第3図-2 : 936000349)

SC-708出土。弥生時代後期～古墳時代前期の土器溜まりの他、ガラス玉が2点出土している。資料は半分程度の残存と見られ、片側の袋部

が残る。現存長4.3cm、幅2.6cmである。刃の一部が浅く広く抉れたように見える部分もあり、刃こぼれの可能性も考えられる。

#### 不明板状鉄器(第3図-3: 936001360)

SC-865出土。4棟の住居が切り合っていて、時期の分かるものはいずれも古墳時代前期である。

多角形の鉄片で、厚さが5mm近くあるが、錆膨れの影響も考えられる。その形状からは、鉄器製作時に生じる鉄片などが想定される。

#### 不明板状鉄器(第3図-4: 936001366)

SX-401出土。この遺構から出土した土器で図示されているものは、須恵器甕の破片である。

やや隅丸の崩れた長方形を呈する鉄片。長さ4.3cm、幅2.0cm、厚さは2mm前後。短辺の内片側が、徐々に薄くなって反り返っている。やはり、加工に伴う切断片の可能性が考えられる。

#### 不明板状鉄器(第3図-5・6: 936001384)

SD-217・218出土。この溝は2本が切り合っているが、最初に挙げたSC-246と非常に近い位置関係にある。弥生土器の流れ込みが見られるものの、時期は不明とされている。

同じ番号で2片が登録され、いずれも2mm前後の厚さになると見られる不定形の鉄板で、本来の形状を知る手掛かりはない。1片は、端が一部折り曲げられている。

#### 不明鉄器(第3図-7: 936001388)

ラベルが付されておらず、出土遺構は不明である。現存長3.8cm、最大幅1.8cm、厚さ2mm程度で、中央付近は断面片丸状を呈し、下端の破損部では矩形となる。帰属時期も不明ではあるが、弥生時代のものと仮定すれば、鉄鏃の可能性も考えられよう。

#### 不明板状鉄器(第3図-8: 936000358)

やはり出土遺構が不明の資料である。厚さ2mm程度の板状で、概ね四角形を呈する。しかし4辺の内3辺は破損しており、本来の形状は全く想像できない。時代も用途も不明な資料であるが、一応提示しておく。

保存処理の結果、鉄器は、工具や農具といった生産用具が主体を占めるが、武器として鉄鏃も3点含まれている。これらは着柄の痕跡や刃部の摩耗や変形など、使用痕が残るものも多い。その一方で時期が明確なものは限られるものの、鉄器の製作に伴って生じるような鉄片類も見られる。飯倉D遺跡はこれまで、全国的にも例の少ない鏡範の出土によって、青銅器のイメージに引っ張られてきた感があるが、今回の作業により鉄器製作の面からも再評価すべき要因が認められた。詳細な検討は別稿に譲るが、いずれにせよ、ここに掲げた資料は弥生時代後期の集落における鉄器組成を知る上では、非常に良好かつ重要なものであることは間違いない事実である。本稿が資料の活用促進、ならびに北部九州の弥生文化研究の進展に少しでも寄与することができれば幸いである。

#### 文献

福田一志・中尾篤史(2005)『原の辻遺跡総集編Ⅰ—平成16年度までの調査成果—』原の辻遺跡調査事務所調査報告書第30集 長崎県教育委員会

金井亀喜(1974)『西願寺遺跡群 広島市高陽町矢口所在遺跡群の調査概報』広島県教育委員会

川越哲志(1993)『弥生時代の鉄器文化』雄山閣

丸山康晴(1980)『赤井手遺跡 福岡県春日市大字小倉所在遺跡の調査』春日市文化財調査報告書第6集 春日市教育委員会

村上恭通・千賀久(2003)『考古資料大観7』弥生・古墳時代、鉄・金銅製品 小学館

中村浩・池田榮史(1995)『飯倉D遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第440集 福岡市教育委員会

野島永(1993)「弥生時代鉄器の地域性」『考古論集—潮見浩先生退官記念論文集—』潮見浩先生退官記念事業会

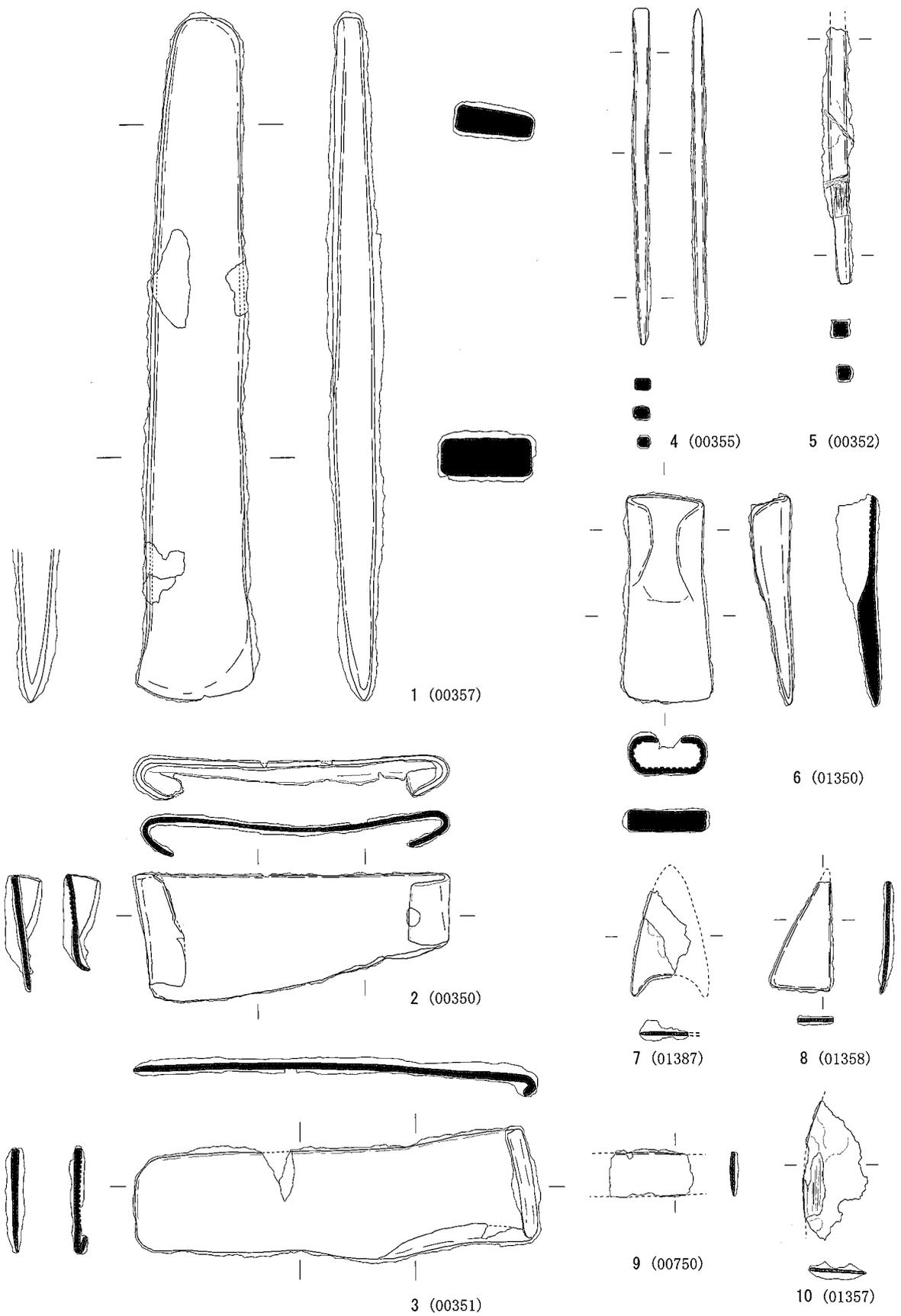
小田富士雄(1977)「4. 鉄器」『立岩遺跡』河出書房新社

申敬澈・金宰佑(2000)『金海大成洞古墳群Ⅰ』慶星大学校博物館研究叢書第4輯 慶星大学校博物館

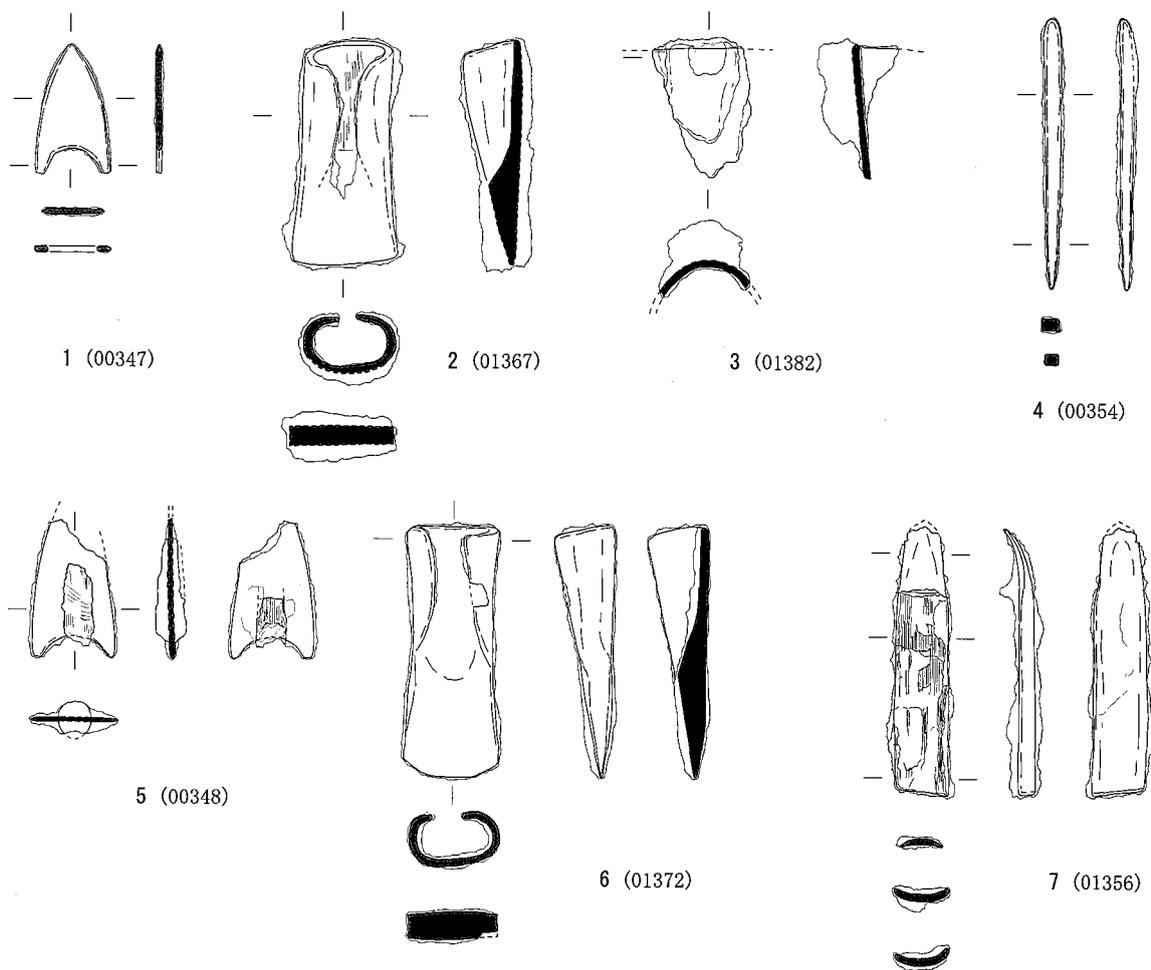
武末純一(2004)「楽浪系土器、三韓系土器、三国

資料登録番号	ラベルまたは台帳の記載内容	資料名	本稿の挿図番号	報告書挿図番号	備考
00347	8区SC-060西側	鏃	第2図-1	59-347	
00348	9区SC-074No.70	鏃	第2図-5	59-348	
00349	21区SC-708-4	手鎌	第3図-2	59-349	
00350	8区SC-246-1南	鋤先	第1図-2	59-350	
00351	8区SC-246木の下	鎌	第1図-3	59-351	
00352	8区SC-246床下	不明棒状製品(工具?)	第1図-5	59-352	01359:8区SC-246A床下を接合吸収
00353	7区SC-001	不明棒状製品(工具?)	第3図-1	59-353	
00354	9区SC-074No.24	不明棒状製品(工具?)	第2図-4	59-354	
00355	8区SC-246-1	不明棒状製品(工具?)	第1図-4	59-355/356	00356:8区SC-246を接合吸収
00357	8区SC-246-1	鏝	第1図-1	59-357	
00358	不明(ラベル無し)	不明板状製品	第3図-8	未図化	
00750	8区SC-246-3	不明板状製品	第1図-9	未図化	
01350	8区SC-246-A西側土壇No.8	袋状斧	第1図-6	図版99-17	
01356	9区SC-074No.68	鈍	第2図-7	未図化	
01357	8区SC-246-A床下焼土坑	鏃?	第1図-10	未図化	
01358	8区SC-246-A床下	加工鉄片(三角板状)	第1図-8	未図化	
01360	SC-865P-1B棟	不明板状製品	第3図-3	未図化	
01366	SX-401	加工鉄片?(矩形板状)	第3図-4	未図化	
01367	SK-60No.45	袋状斧	第2図-2	未図化	SKはSCの誤記か
01372	9区SC-74No.22	袋状斧	第2図-6	未図化	
01382	SK-60P-3	不明製品(袋状斧袋部?)	第2図-3	未図化	SKはSCの誤記か
01384	SD-217・218No.11	不明板状製品	第3図-5	未図化	2片有り
01387	8区SC-246A床下	不明板状製品	第1図-7	未図化	01358より分離抽出
01388	不明(ラベル無し)	鉄鏃?	第3図-7	未図化	01386鉄滓群より分離抽出

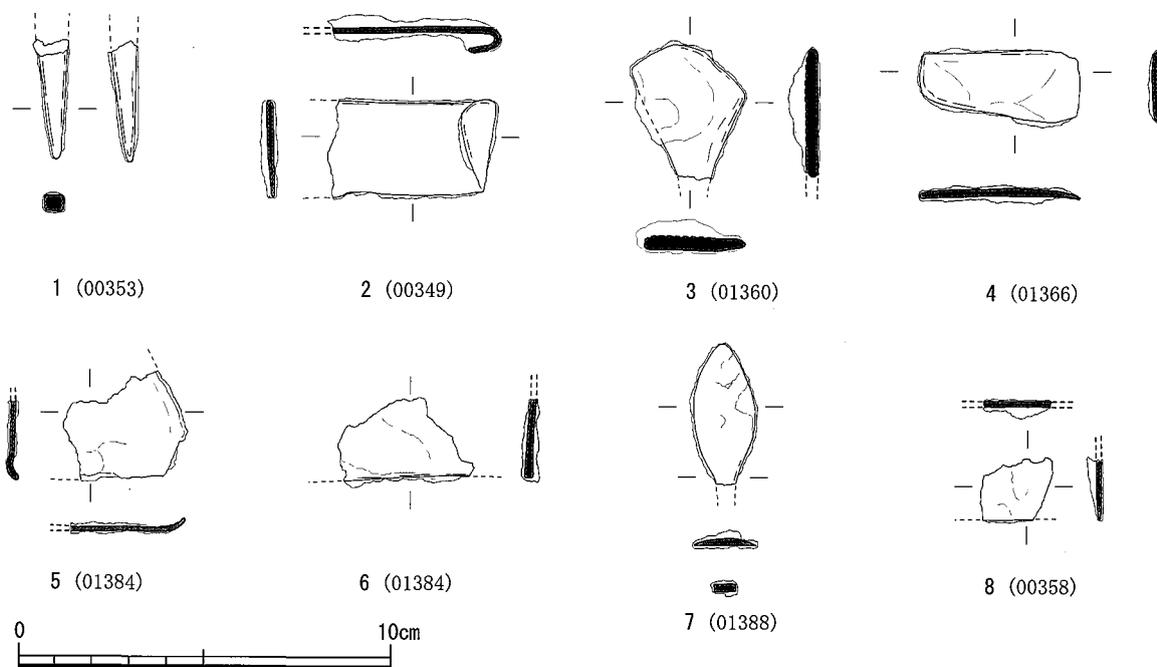
表5 飯倉D遺跡1次調査出土鉄器一覧



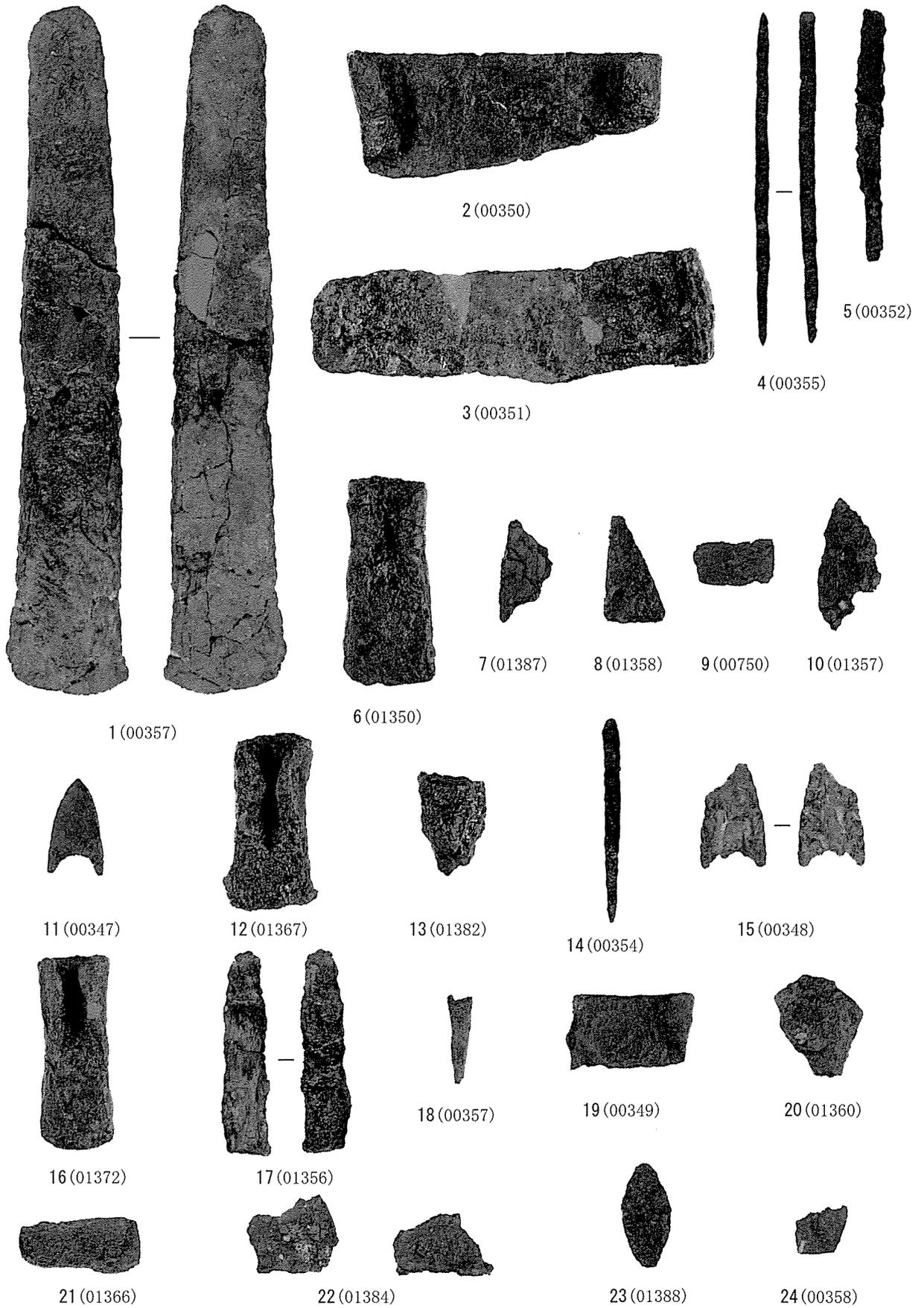
第1圖 SC-246出土鉄器実測圖 (S=1/2)



第2図 SC-060 (1~3)・074 (4~7) 出土鉄器実測図 (S=1/2)



第3図 その他の遺構出土鉄器実測図 (S=1/2)



飯倉D1次調査出土の鉄器

### 3. 教育・普及活動

#### (1) 教育活動

##### 1) 出前授業

福岡市の教育方針では、「学ぶことに興味を持ち、未知のものを知る感動を味わい、自由な発想をもって様々なことを構想するなど、知的探求心を高めることや郷土福岡を誇りとする気持ちを育むこと」が重視されている。

このため平成17年度から当センターでは、上記の趣旨を生かし、併せて義務教育学校における郷

土の歴史学習の充実と拡大を図るための具体的施策として、依頼のあった学校へ当センターの学芸員（考古学専門職）を派遣し、出土品に直接触れて歴史を身近に感じると共に古代の生活体験をとおして歴史認識を深めることを授業の骨格とする出前授業要項を策定、決定して本格的に事業を開始した。

#### 【平成18年度授業プログラム】

##### A. 小学校・特別支援学校小学部

No.	授業名	時間	単位	構成	授業概要
1	大昔のくらし① 「石と鉄のナイフ」	45分	学級	班	黒曜石製と鉄製のそれぞれのナイフで切り比べ体験。道具の発達を体験をとおして学習。
2	大昔のくらし② 「火起こし」	45分	学級	班	火起こし道具を用いて発火を体験。火がもたらす生活への影響と変遷を学習。
3	大昔のくらし③ 「祈りとまじない」	45分	学級	班	祈りに用いた品々をとおして大昔の人々の生活と想いを学習。祈りが現在に繋がっていることも学ぶ。
4	大陸との交わり① 「シルクロードと鴻臚館」	45分	学級	班	木簡を製作して奈良時代の役人の生活を体験。当時の生活と遠く西アジアとのつながりも学習。
5	大陸との交わり② 「博多とアジア」	45分	学級	班	博多遺跡出土品に触れ、中世における東南アジアとのつながりを学習。

##### B. 中学校・特別支援学校中学部（理科）

No.	授業名	時間	単位	構成	授業概要
11	酸化と還元	50分	学級	班	酸化（錆の発生）と還元（金属の生産方法）を出土品の金属器を用いて具体的に学習。
12	摩擦と熱	50分	学級	班	摩擦と摩擦熱を出土品や複製した発火道具等を用いて具体的に学習。

##### C. 中学校・特別支援学校中学部（社会）

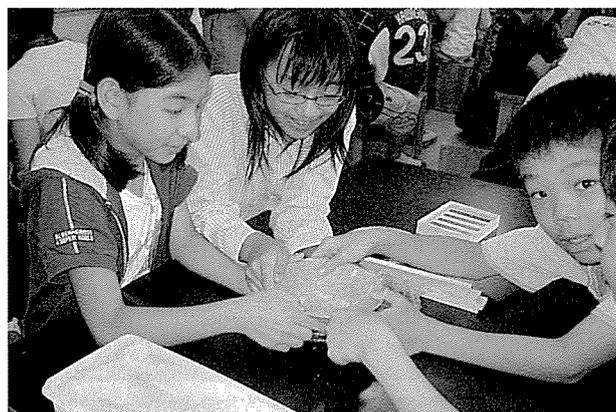
No.	授業名	時間	単位	構成	授業概要
21	金属器の出現と役割	50分	学級	班	黒曜石製と鉄製の各ナイフで切り比べ体験。金属製品が歴史的に果たした役割を学習。
22	焼き物の変遷	50分	学級	班	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・磁器の違いをとおして生産技術の発達を学習。

##### D. 中学校・特別支援学校中学部（数学）

No.	授業名	時間	単位	構成	授業概要
33	回転体と文様	50分	学級	班	縄文土器の施文原体を製作体験。縄文土器の文様が回転体によることを学習。



野多目小学校授業風景（シルクロードと鴻臚館）



野多目小学校授業風景（シルクロードと鴻臚館）

※（ ）内は学習プログラム名



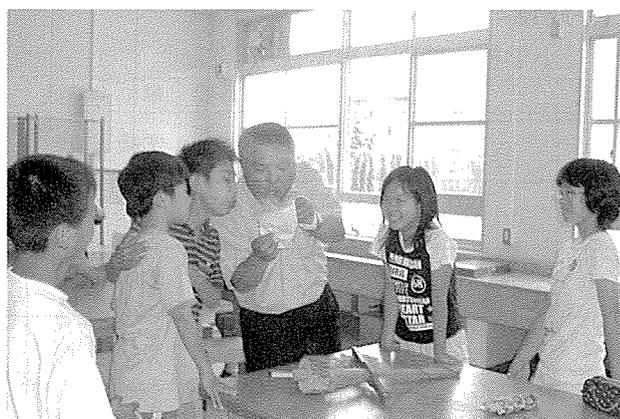
筥松小学校授業風景（石のナイフと鉄のナイフ）



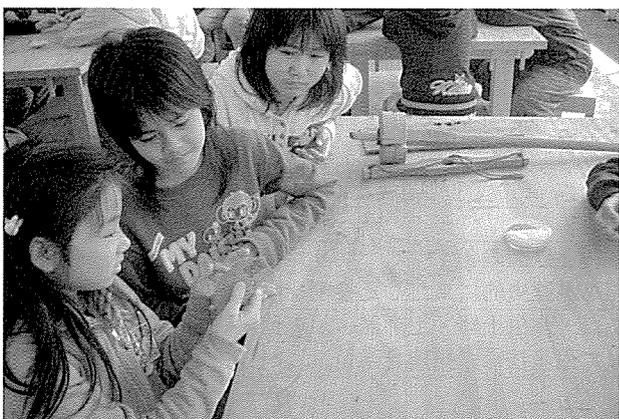
弥永小学校授業風景（石のナイフと鉄のナイフ）



臼佐小学校授業風景（火起こし）



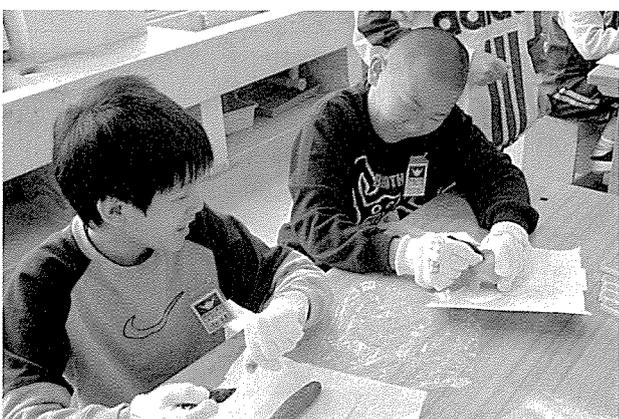
臼佐小学校授業風景（火起こし）



野芥小学校授業風景（火起こし）



野芥小学校授業風景（火起こし）



舞鶴小学校授業風景（石のナイフと鉄のナイフ）



東箱崎小学校授業風景（石のナイフと鉄のナイフ）

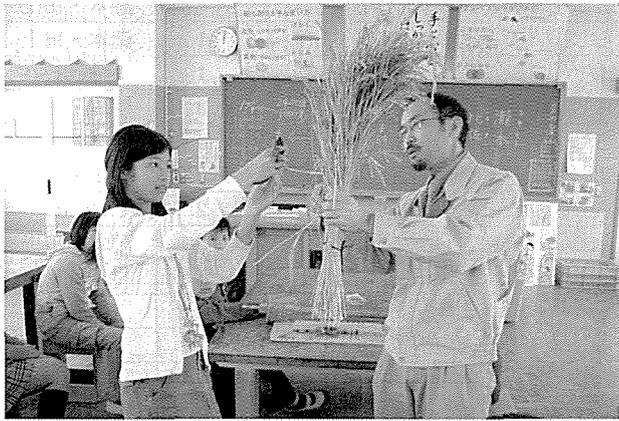
※（ ）内は学習プログラム名



那珂小学校授業風景（火起こし）



鳥飼小小学校授業風景（石のナイフと鉄のナイフ）



長尾小学校授業風景（火起こし）



西長住小学校授業風景（折りとまじない）



西戸崎小学校授業風景（シルクロードと鴻臚館）



屋形原特別支援学校授業風景（勾玉作り）



今津特別支援学校授業風景（火起こし）



板付中学校授業風景（焼きもの変遷）

※（ ）内は学習プログラム名

【2006年度出前授業実施状況】

授業実施日	学校名	受講生徒数	授業プログラム	授業回数	派遣職員
2006年4月12日(水)	北崎小学校	14	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	1	柳田
2006年4月13日(木)	香椎下原小学校	104	大昔のくらし②「火起こし」	3	瀧本・柳田
2006年4月14日(金)	那珂南小学校	98	大昔のくらし②「火起こし」	3	瀧本
2006年4月14日(金)	内野小学校	66	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	2	柳田
2006年4月18日(火)	那珂小学校	152	大昔のくらし②「火起こし」	4	瀧本・常松
2006年4月18日(火)	弥生小学校	54	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	2	柳田
2006年4月19日(水)	西長住小学校	56	大昔のくらし③「祈りとまじない」	2	瀧本・比佐
2006年4月19日(水)	若久小学校	107	大昔のくらし②「火起こし」	3	柳田
2006年4月20日(木)	東吉塚小学校	73	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	2	柳田
2006年4月20日(木)	野芥小学校	77	大昔のくらし②「火起こし」	2	瀧本
2006年4月21日(金)	長丘小学校	155	大昔のくらし③「祈りとまじない」	4	柳田・比佐
2006年4月21日(金)	馬出小学校	44	大昔のくらし②「火起こし」	2	瀧本
2006年4月25日(火)	舞松原小学校	107	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	3	瀧本・田上
2006年4月26日(水)	舞鶴小学校	40	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	1	瀧本・田上
2006年4月26日(水)	住吉小学校	17	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	1	柳田
2006年4月27日(木)	鳥飼小学校	95	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	3	柳田・田上
2006年4月27日(木)	長尾小学校	137	大昔のくらし②「火起こし」	4	瀧本・比佐
2006年4月28日(金)	石丸小学校	120	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	3	柳田・比佐
2006年4月28日(金)	東箱崎小学校	78	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	2	田上
2006年5月2日(火)	小田部小学校	146	大昔のくらし②「火起こし」	4	瀧本・田上
2006年5月2日(火)	早良小学校	30	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	1	柳田
2006年5月9日(火)	西戸崎小学校	45	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2006年5月9日(火)	弥永小学校	80	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	2	瀧本
2006年5月10日(水)	原小学校	102	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	3	瀧本
2006年5月10日(水)	塩原小学校	70	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2006年5月11日(木)	金武小学校	47	大昔のくらし②「火起こし」	2	柳田
2006年5月11日(木)	名島小学校	127	大昔のくらし③「祈りとまじない」	4	瀧本・田上
2006年5月12日(金)	月隈小学校	88	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	3	柳田・常松
2006年5月16日(火)	三筑小学校	121	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	4	柳田・田上
2006年5月16日(火)	勝馬小学校	10	大昔のくらし②「火起こし」	1	瀧本
2006年5月17日(水)	堤丘小学校	48	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2006年6月1日(水)	壱岐南小学校	63	大昔のくらし③「祈りとまじない」	2	柳田・常松
2006年6月1日(水)	若宮小学校	123	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	4	瀧本・田上
2006年6月8日(木)	笹松小学校	93	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	3	瀧本・比佐
2006年6月13日(火)	日佐小学校	67	大昔のくらし②「火起こし」	2	瀧本・柳田
2006年6月14日(水)	東光小学校	43	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2006年6月15日(木)	野多目小学校	139	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	4	柳田・田上
2006年7月5日(水)	玄洋中学校	18	元寇防塁	1	柳田
2006年7月6日(木)	東光中学校	63	金属器の出現と役割	2	瀧本
2006年7月12日(水)	元岡小学校	108	大昔のくらし③「祈りとまじない」	3	瀧本
2006年10月17日(火)	多々良中学校	106	金属器の出現と役割	4	柳田・田上
2006年10月18日(水)	多々良中学校	106	金属器の出現と役割	4	瀧本・柳田
2006年11月1日(水)	飯原小学校	76	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2006年11月2日(木)	北崎小学校	14	地域の歴史	1	柳田
2006年11月15日(水)	板付中学校	70	摩擦と熱	2	比佐・田上
2006年11月16日(木)	板付中学校	35	摩擦と熱	1	比佐・田上
2006年11月17日(金)	板付中学校	69	摩擦と熱	2	比佐・田上
2006年11月22日(水)	屋形原特別支援学校	7	大昔のくらし「装いと勾玉作り」	2	瀧本
2006年11月28日(火)	板付中学校	104	土器文様と回転体	3	瀧本
2006年11月29日(水)	板付中学校	35	土器文様と回転体	1	瀧本
2006年12月1日(金)	板付中学校	35	土器文様と回転体	1	瀧本
2007年1月23日(火)	飯倉小学校	74	大陸との交わり②「博多とアジア」	2	柳田
2007年2月2日(金)	今津特別支援学校	6	大昔のくらし「勾玉作りと火起こし」	2	瀧本
2007年2月20日(火)	今津小学校	62	地域の歴史	2	柳田
合 計		4,024		129	

## 2) 職場体験（インターンシップ）

本センターでは、中学生に将来の職業や進路に対する関心や理解を深めてもらうことを目的とし

て、センター業務を体験する職場体験を受け入れている。

	実 習 概 要
実習期間	平成18年9月6日(水)～9月7日(木)
実習生学校名	福岡市立三筑中学校
人 数	2名
実習内容	オリエンテーション (0.2日), 施設見学 (0.3日), 出土品修復作業 (1.3日), 体験発表会 (0.2日)

## 3) 博物館実習

毎年、市内外の大学からの博物館学芸員(補)資格取得を目的とした博物館実習の依頼に博物館相当施設である本センターは応じている。2006年度も実習生を受け入れて下記のように実施した。

本センターの実習における特徴として、博多駅地下通路に設置されている2箇所の展示施設（Fギャラリー）を実際に用いることにある。実習生

は二つのグループに分かれ、学芸員の助言を受けながらグループごとに展示計画を立案、検討して、作業を進めていく。実習の最終日前日には、前年度の実習生が展示した作品を撤去した後に、実習生たちだけで展示を行う。展示された作品は、今後一年間、地下通路を通る人たちの目を楽ませるものとなった。

	実 習 概 要
実習期間	平成18年8月22日(火)～9月2日(土)
実習内容	オリエンテーション (0.5日), 施設見学 (0.5日), 資料収蔵管理実習 (0.5日), 教育普及実習 (0.5日), 遺物保存処理実習 (2日), 図書資料管理実習 (1日), 展示実習 (5日)
実習生	9名 (西南学院大学英文学科・同商学科・同国際経済学科・同国際関係法学科, 筑紫女学園大学日本語日本文学科・同アジア文化学科, 福岡大学歴史学科, 福岡女子短期大学文化コミュニケーション学科)

実 習 日	実習内容	担 当
8月22日(火)	オリエンテーション 施設説明・見学	常松 比佐
8月23日(水)	収蔵資料の活用と表現 展示計画Ⅰ	常松
8月24日(木)	遺物の保存と活用Ⅰ 木製品保存処理実習	比佐 田上
8月25日(金)	遺物の保存と活用Ⅱ	比佐 田上
8月26日(土)	展示撤収実習 展示計画Ⅱ	常松

実 習 日	実習内容	担 当
8月29日(火)	図書資料整理実習	常松
8月30日(水)	展示計画Ⅲ	常松
8月31日(木)	展示計画Ⅳ	常松
9月1日(金)	展示準備 「Fギャラリー」展示	常松 比佐
9月2日(土)	実習成果発表会	全職員



2006年度実習生展示「博多の食」  
(博多駅地下「Fギャラリー」)



2006年度実習生展示「博多今昔顔物語」  
(博多駅地下「Fギャラリー」)

## (2) 普及活動

### 1) 展 示

#### ①常設展示

当センターでは「埋蔵文化財の保存・保護」と、本市の都市像のひとつである「海と歴史を抱いた文化都市」に則した「弥生以来の海外交易の拠点都市」を展示の主テーマとしている。

第1展示室では、埋蔵文化財の発掘調査から遺物・記録類が収蔵、管理・活用されるまでの一連の流れと、木器・金属器等の科学的保存処理の成果を「埋蔵文化財とは何か」、「埋蔵文化財の保存処理」、「埋蔵文化財の修復」、「発掘現場での保存科学的作業」、「埋蔵文化財の収蔵管理と活用」、「埋蔵文化財と考古学」、「旧石器・縄文時代の福岡」の項目で展示している。木器・金属器等の科学的



第1展示室

保存処理の成果を展示している。

第2展示室では、江戸時代に鎖国されるまで日本の玄関口であり続けた本市の特徴をとりあげ、最も脚光を浴びた「奴国の時代」の弥生時代と国内最大の国際貿易港であった「中世都市博多」の時代に焦点をあて、それぞれ「奴国の拠点集落那珂・比恵遺跡」、「奴国以前」、「大型建物」、「環濠・大溝・条溝」、「墳丘墓」、「争う」、「交流と交易」、「祭る」、「装う」、「まかなう」、「つくる」と「日本の玄関・博多」、「鴻臚館の時代」、「匠」、「海外との交易」、「国内の交易」、「中世博多の情景」、「たしなむ・あそぶ」、「戦乱」の項目でテーマ展示を行っている。



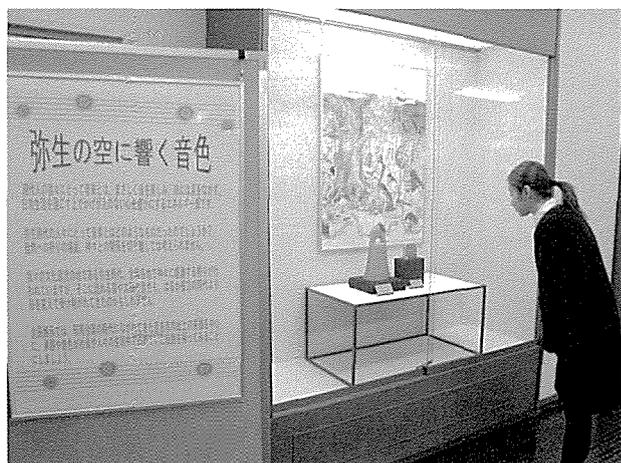
第2展示室

第3展示室は、部門展示室として短期展示を行っており、考古学講座に合わせた企画展、発掘調査

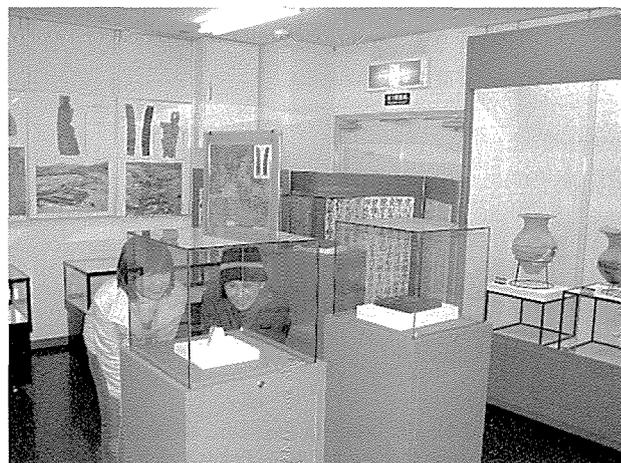
速報展・特別展などを実施している。2006年度は下表のとおり7回の展示会を実施した。

#### 【第3展示室展示会開催一覧】

種 別	名 称	期 間
企画室	「邪馬台国への道」前期展	2006年 4月22日～2006年 8月20日
	「邪馬台国への道」後期展	2006年11月12日～2007年 4月 8日
特別展	「甦る出土遺物—平成17年度保存処理成果—」展	2006年 9月 2日～2006年11月 5日
	「平成18年度市指定文化財資料」展	2007年 3月17日～2007年 4月 1日
速報展	今宿五郎江遺跡発掘調査速報展	2007年 2月27日～2007年 3月 4日



「邪馬台国への道」後期展



「今宿五郎江遺跡発掘調査速報」展

## ②館外展示

本センターでは、出土品の活用の一環として、地域・学校・家庭の中に出土品と接する機会を積極的に設け、市民の文化財保護に対する理解が自然と深まるように努めている。

### A ま～ると博物館

市役所・区役所庁内の各フロアや地下鉄駅構内に市内遺跡出土品を展示して市民や内外の来訪者が容易に本市の歴史と接する機会を設けたもの。将来的には各建物全体に展示テーマに即した資料を配置して、施設を一巡することで歴史を身近に感じられるようにするものである。

#### 【設置場所】

市長応接室／市議会議長・副議長室／教育長室／  
教育委員会理事・総務部長室／国際センター／  
地下鉄藤崎駅／博多駅地下通路

### B オラガマチ博物館

公民館や小学校に小型展示ケースを設置して遺跡から出土した考古資料を展示するもの。特に展示品は各校区内の遺跡から出土したものに限定することにより、生徒や利用者が校区の歴史と容易に接することを可能とした。さらに人々が歴史を身近に感じるにより、ふるさとを誇りに思える環境のひとつを提供するものである。

#### 【設置場所】

三苦小学校／名島小学校／東箱崎小学校／馬出小学校／板付北小学校／野多目小学校／賀茂小学校／四箇田公民館／横浜地区自治会館

### C 出前博物館

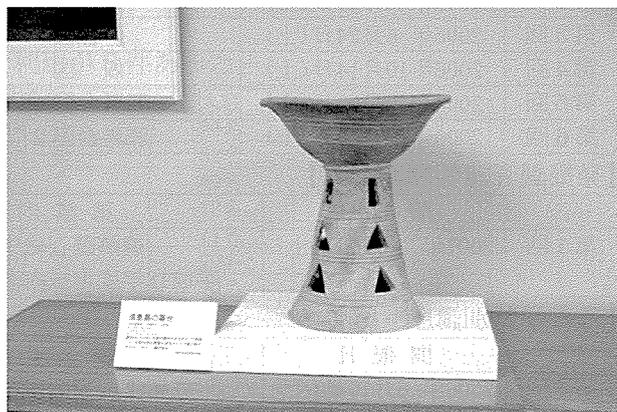
地域商店街や自治会、さらには市内で開かれる各種フェスタ・学会等の主催者と連携して福岡市の歴史理解を深めてもらうことを目的とし、依頼に基づいたテーマに沿った地域短期型の展示会を開催するもの。本センターが企画から展示まで担当し、依頼者はテーマと展示会場の確保だけを担うものである。

#### 【開催者】

高取焼開窯400周年記念実行委員会・高取商店街、丸隈山古墳保存会



地下鉄藤崎駅構内



市議会議長室



賀茂小学校



丸隈山古墳保存会



高取商店街

## 2) 公開講座

### ①考古学講座

考古学講座は、2006年度のテーマを歴史において一般の人たちから最も関心が高い邪馬台国にスポットを当てた「邪馬台国への道」とした。奴国を取り巻く北部九州の国々の状況から、当時の様相を明らかにすると共に邪馬台国の存在地を明らかにしようと試みるものである。このため、最近の発掘調査成果による研究成果をもとに掘り下げるべく、それぞれの研究分野の第一人者を招いて6回の講座を開催した。

#### 【考古学講座一覧】

	開催日	講演内容	講師	受講者数
第1回	2006年 4月22日(土)	対馬国・一支国	長崎県教育庁 林 隆広 氏	215名
第2回	2006年 5月27日(土)	末盧国	佐賀県教育庁 小松 譲 氏	224名
第3回	2006年 6月24日(土)	伊都国	前原市教育委員会 角 浩行 氏	260名
第4回	2006年10月14日(土)	奴 国	福岡大学 武末純一 氏	214名
第5回	2006年11月18日(土)	邪馬台国 1	佐賀女子短期大学 高島忠平 氏	240名
第6回	2006年12月16日(土)	邪馬台国 2	岡山大学 松木武彦 氏	240名

#### 【発掘調査速報講座一覧】

	開催日	講演内容	講師	受講者数
第1回	2007年 3月17日(土)	遺跡調査総まとめ -平成18年度市内遺跡調査から-	福岡市教育委員会 池崎讓二	96名

#### 【考古学特別講座一覧】

	開催日	講演内容	講師	受講者数
第1回	2006年 6月10日(土)	平成18年度福岡市・釜山広域市 文化財担当者交流事業報告	福岡市教育委員会 上角智希 福岡市教育委員会 阿部泰之	70名
第2回	2006年 7月15日(土)	日本の石器・福岡の石器	福岡県教育委員会 杉原敏之氏 福岡市教育委員会 田上勇一朗	74名
第3回	2006年 9月 2日(土)	甕る出土遺物 -平成17年度保存処理成果について-	福岡市教育委員会 比佐陽一郎	70名
第4回	2006年 9月16日(土)	日本の古墳・福岡の古墳	東京国立博物館 松浦宥一郎氏 福岡市教育委員会 蔵富士 寛	150名
第5回	2007年 1月27日(土)	日本の山城・福岡の山城	奈良大学 千田嘉博 氏 福岡市教育委員会 阿部泰之	146名



『考古学講座.1』風景 (林先生)



『考古学講座.3』風景 (角先生)



『考古学講座.5』風景 (高島先生)



『考古学講座.6』風景 (松木先生)



『発掘調査速報講座』風景 (池崎)



『特別講座.5』風景 (千田先生)

### 3) 資料提供

市民・小中学校・各種博物館・大学などの研究機関・出版社・報道関係などの利用希望に対して、考古資料や記録資料を提供している。資料利用は大きく館内利用と館外利用（貸出）に分けられる。館内利用件数は172件で、その内訳は考古資料の閲覧・実測・撮影などが163件15,929点、写真・図面等の記録類資料の閲覧が9件59点である。こ

の数年において考古資料利用の点数が高水準で推移しているのは、福岡市の市史編纂に伴う骨類の調査が要因である。

館外利用（貸出）件数は168件である。利用の内訳は考古資料3,520点、記録類等511点となっている。1年以上の長期貸出は39件、博物館などの展示のための短期貸出は129件を数える。

#### 【館内利用】

利用種類	件数	点数
考古資料	163	15,929
写真・記録類	9	59
図書	194	1,169
計	366	17,157

#### 【館外利用】

貸出種類	件数	点数		
		考古資料	写真他	合計
長期貸出	39	2,918	24	2,942
短期貸出	129	602	487	1,089
計	168	3,520	511	4,031

### 4) 施設の利用

部内および対外の考古学研究会等において当館施設利用が8件あった。

利用日	団体名	利用内容	人数	利用施設
2006年6月4日(日)	東アジア考古学会	例会	20名	研修室
2006年7月1日(土)	九州古代種子研究会	例会	52名	研修室
2006年7月2日(日)	九州古代種子研究会	例会	49名	研修室
2006年8月19日(土)	東アジア考古学会	例会	12名	研修室
2006年9月30日(土)	中村学園大学	見学	11名	研修室
2006年10月15日(土)	東アジア考古学会	例会	20名	研修室
2006年10月29日(日)	バンテン遺跡研究会	調査報告会	10名	会議室
2006年12月22日(金)	鴻臚館跡調査研究指導委員会	指導委員会	25名	研修室

### 5) 図書の収蔵と閲覧

#### ①2006年度図書受入状況

購入147冊(一般13・雑誌134)・受贈4,145冊(一般3,692・雑誌453) 計4,292冊(一般3,705・雑誌587)

#### ②2006年度末蔵書数 58,202冊(購入8,778・受贈49,424)

#### ③図書の閲覧

1階図書コーナーには一般から小学生向けの歴史・考古学関係の図書約500冊を揃えており、入館者が自由に閲覧できるようになっている。2階図書室では市内及び全国の発掘調査報告書と歴史・考古学専門書を主に図書約58,000冊を揃えており、194件の利用があった。

### 6) 刊行物

- 『福岡市埋蔵文化財センター年報』第25号 平成17(2005)年度 A4版36ページ。2006年9月28日発行。文化財関係機関・図書館などに配布。
- 『見学のしおり』(展示案内パンフレット) B4版3つ折り6ページ。入館者に無料配布。
- 『マイコレ』(児童向け収蔵品紹介) 変形A4版3つ折り6ページ。児童に無料配布。
- 『2008年度講座案内』(チラシ) A4版2ページ。文化財関係機関・図書館などや入館者に無料配布。

### 7) 団体見学状況

見学日	団体名	人数
2006年4月13日	福岡市立月隈小学校	47名
2006年4月14日	福岡市立三宅小学校	135名
2006年5月2日	福岡市立西花畑小学校	121名
2006年5月10日	福岡市立柏原小学校	102名
2006年5月10日	福岡市立赤坂小学校	54名
2006年5月16日	岡山県岡山市立京山中学校	7名
2006年5月18日	福岡市立堤小学校	115名
2006年5月18日	山口県周南市立遠石小学校	97名
2006年5月21日	筑紫郷土懇話会	12名
2006年5月24日	福岡市立三筑小学校	125名
2006年5月26日	福岡市立吉塚小学校	61名
2006年5月26日	山口県周南市立和田小学校	20名
2006年6月3日	岡垣サンリーアイ	16名
2006年6月4日	別府大学	27名
2006年6月23日	小笹の社	8名
2006年6月28日	福岡市立板付小学校	120名
2006年8月22日	青州会クリニック	11名
2006年9月8日	縄文の会	26名
2006年9月19日	デイサービスセンターらいふ	8名
2006年9月29日	鶴田公民館	46名

見学日	団体名	人数
2006年10月4日	福岡市立板付小学校	10名
2006年10月11日	福岡大学	15名
2006年10月11日	福岡市立板付小学校	10名
2006年10月29日	別府大学	10名
2006年10月31日	常陸大宮市(現さいたま市)議会	8名
2006年11月9日	佐世保教職員退職互助組合	18名
2006年11月19日	東アジアの古代文化を考える会	29名
2006年11月30日	老クラブ延寿会	21名
2006年12月9日	出水市役所	11名
2006年12月17日	りょこうはかせ	13名
2007年1月16日	金関怒先生と行くツアー	45名
2007年2月2日	福岡大学法学部福井ゼミ	8名
2007年2月20日	福岡大学文学部 武末ゼミ	15名
2007年3月1日	南山大学	8名
2007年3月4日	大阪府老人大学歴史考古学科	39名
2007年3月10日	うきたむ考古の会	15名
2007年3月20日	筑紫野市歴史博物館考古学講座	22名
2007年3月24日	筑紫野市歴史博物館	19名
2007年3月27日	大阪府南部老人大学	44名

平成18(2006)年度資料貸出等一覧

件数	区分	申請者	資料名	点数				貸出日	備考
				遺物	写真	他	計		
1	A	福岡市博物館	城ノ原遺跡他	2006			2006	常設展示	
2	A	国立歴史民俗博物館	板付・有田・三筑遺跡出土遺物	25			25	常設展示	
3	A	大阪府立弥生文化博物館	今山・藤崎・有田遺跡出土遺物他	24			24	常設展示	
4	A	広島県立歴史博物館	博多遺跡出土陶磁器	6			6	常設展示	
5	A	焼津市歴史民俗資料館	藤崎遺跡58号壺棺	2			2	常設展示	
6	A	新宮町教育委員会	石丸古川・飯氏ソウサ遺跡出土土器	3			3	町立歴史資料館内常設展示	
7	A	リコーテクノシステムズ(株)九州支社	比恵遺跡25次調査出土土器	3			3	ロビー常設展示	
8	A・D	グラントホームサンケア和白	唐原遺跡出土土器・展示台	6	4		10	ロビー常設展示	
9	A	粕屋町教育委員会	戸原麦尾遺跡出土土花鏡・陶磁器	44			44	町立歴史資料館内常設展示	
10	A	菊池市教育委員会	博多遺跡出土土器・陶磁器他	150			150	菊池神社歴史館内常設展示	
11	A	東京国立博物館	鴻臚館跡出土陶磁器	23			23	平成館考古展示室常設展示	
12	A	市立筑茂小学校	鐘町遺跡出土土器・石器	36			36	校内常設展示	
13	A	市立馬出小学校	箱崎・馬出遺跡出土土器	6			6	校内常設展示	
14	A・D	市立三苫小学校	三苫遺跡出土土器・石器他	69	2		71	校内常設展示	
15	A	市立野多目小学校	野多目遺跡出土土器	47			47	校内常設展示	
16	A	市立名島小学校	蒲田・海の中道遺跡出土土器他	28			28	校内常設展示	
17	A	市立東箱崎小学校	箱崎・板付遺跡出土資料他	7			7	校内常設展示	
18	A・D	博多区総務部振興課	博多土器・陶磁器他	25	2		27	まちかど文化ひろば「えふぎギャラリー」展示	
19	A	福岡市交通局	藤崎3次壺棺	4			4	藤崎駅常設展示	
20	A	文化財管理課(鴻臚館展示館)	鴻臚館跡出土陶磁器など	113			113	鴻臚館展示館	
21	A	文化財管理課(金隈展示館)	金隈遺跡出土土器	61			61	金隈遺跡展示館	
22	A	文化財管理課(野方遺跡展示館)	野方遺跡出土遺物	42			42	野方遺跡展示館	
23	A	文化財管理課(板付弥生ムラ)	板付遺跡出土遺物	71			71	板付遺跡展示館	
24	A	群馬県立歴史博物館	藤崎50号壺棺	2			2	館内常設展示	
25	A	神戸市教育委員会	有田64次壺棺	3			3	埋蔵文化財センター内常設展示	
26	A	高口宿屋ビル	博多126次白磁他	7			7	エントランス常設展示	
27	A	市立板付北小学校	板付土器	10			10	校内常設展示	
28	A	市立市川考古博物館	西新町2次12号壺棺	2			2	館内常設展示	
29	A	今宿横浜地区すみよい町づくりの会	今山石斧・土器	18			18	自治会館内常設展示	
30	A・D	古賀市教育委員会	藤崎2次40号壺棺他	2	1		3	古賀市歴史資料館常設展示	
31	A	東北歴史博物館	有田7次弥生壺	1			1	館内常設展示	
32	A	西南学院大学	羽根戸原C須恵器	20			20	博物館実習教材	
33	A	福岡市博物館	藤崎・徳永他土器	10			10	博物館体験学習	
34	A	福岡市四箇田公民館	四箇田第2次精製土器・十字型石器など	8			8	館内に展示	
35	A	福岡市市長室秘書課	比恵82次壺・クエゾノ遺跡有蓋高坏セット	3			3	市長室	
36	A	議会事務局 総務課	鴻臚館出土品	2			2	市議会議長・副議長室に展示	
37	A	福岡市教育委員会総務課	比恵84次壺・クエゾノ遺跡有蓋高坏セット	4			4	教育長室	
38	A	(財)福岡コンベンションセンター	雀居12次壺	1			1	国際センター内に展示	
39	A	茨城県立歴史館	吉武高木遺跡・藤崎遺跡出土壺棺	4			4	館内常設展示	
40	A	(株)ロム・インターナショナル	板付遺跡出土土器	1			1	「教科書に載せたい日本史(仮)」	
41	A	(有)ケー・エヌ・プランニング	金隈遺跡壺棺出土状況	1			1	社会歴史図鑑 第1巻「建物」	
42	A	(株)山川出版	博多遺跡「周網」墨書磁器ほか	3			3	「日本史リブレット 境界をまたぐ人びと」	
43	A	埋蔵文化財センター	比恵遺跡6次	11			11	大学の授業	
44	A	市立志賀島小学校	雀居遺跡出土土器・石器	13			13	6年生 社会科学習	
45	A	埋蔵文化財センター	井尻B遺跡2次出土土器	7			7	大学の授業	
46	A	埋蔵文化財センター	井尻B2次	16			16	大学の授業	
47	A	埋蔵文化財センター	野多目6次・C4次	16			16	大学の授業	
48	D	(有)鉾原社	野方久保遺跡出土土器					「海を渡った日本文化」	
49	A	埋蔵文化財センター	板付ほか	22			22	大学の授業	
50	A	埋蔵文化財センター	ビデオ「日本人はるかなる旅」		1		1	大学の授業	
51	D	(株)ベネッセコーポレーション	金隈遺跡壺棺墓					「大学受験講座センター実践演習PACK8月号(日本史)」	
52	D	(株)ジャパン通信情報センター	雑餉隈遺跡出土石剣					「文化財発掘出土情報」増刊号	
53	D	博物館市史編さん室	高畑遺跡人面土器ほか					「市史だより Fukuoka」第3号	
54	A	群馬県立歴史博物館	井尻B遺跡6次鋳型写真ほか	5			5	第80回企画展「射る！一弓矢の文化史ー」	
55	A	群馬県立歴史博物館	井尻B遺跡6次鋳型ほか	5			5	第80回企画展「射る！一弓矢の文化史ー」	
56	D	福岡大学人文学部歴史学科	博多遺跡人骨出土状況ほか					「歴史はおもしろい」「博多から日本史を見直そう」	
57	A	埋蔵文化財センター	銅崎古墳ほか	15			15	大学の授業	
58	A	埋蔵文化財センター	ビデオ「鏡造実験ほか」		2		2	大学の授業	
59	A	(株)新人物往來社	博多遺跡145次ほか	2			2	「中世都市研究12号 中世のなかの「京都」」	
60	D	(株)学習研究社	板付遺跡出土石包丁3点					「CD+カードで楽しく学ぶ歴史の鉄人」	
61	A	専修大学	博多遺跡4次・35次ほか		5		5	研究調査	
62	A	埋蔵文化財第2課	有田遺跡114次図面ファイル3冊		3		3	報告書作成のため	
63	A	山梨県立考古博物館	藤崎遺跡3次三角縁障鏡		1		1	第24回特別展「甲府盆地から見たヤマトー甲斐・美濃・信濃の背景ー」	
64	A	埋蔵文化財センター	席田青木1次	20			20	大学の授業	
65	A	埋蔵文化財センター	ビデオカメラ		1		1	大学の授業	
66	D	青谷上寺地遺跡展示館	吉武高木遺跡出土壺棺					「弥生人の描いた絵」展	
67	A	直方市教育委員会	博多遺跡	6			6	特別展「高取焼展ー出土品が語る越前陶器のはじまりー」	
68	D	(株)モーションイメージ	宝満尾遺跡出土ガラス玉					早稲田大学オンデマンド授業「日本考古学」	
69	A	大韓民国 国立海洋遺物展示館	博多遺跡・箱崎遺跡ほか	10			10	「新安船発掘30周年記念特別展」	
70	A	大韓民国 国立海洋遺物展示館	博多遺跡・箱崎遺跡ほか	10			10	「新安船発掘30周年記念特別展」	
71	A	図書出版 のび工房	博多遺跡111次メダイ・十字架鋳型	1			1	「唐津街道 豊前筑前福岡路」	
72	A	小郡市教育委員会	弥永原遺跡5 南半全景写真	1			1	福岡女学院大学の授業	
73	A	前原市教育委員会	飯氏遺跡3次銅鏡ほか	5			5	特別展「大鏡が写した世界」	
74	A	前原市教育委員会	飯氏遺跡3次銅鏡ほか	6			6	特別展「大鏡が写した世界」	
75	A	大阪府立狭山池博物館	元岡・桑原遺跡15次木箱	1			1	特別展「水にうつる顔い」	
76	A	九州国立博物館	海の中道遺跡1次鉄製釣針ほか	57			57	特別展「海の神々」	
77	A	日本考古学協会	博多遺跡出土遺物	9			9	日本考古学協会公式サイト	
78	A	日本考古学協会	雑餉隈遺跡出土副葬品ほか	4			4	日本考古学協会公式サイト	
79	A	福岡市博物館	比恵遺跡25次木製ハケ目原体ほか	37			37	部門別展	
80	A	福岡市博物館	蒲江谷遺跡1次壺棺	1			1	部門別展	

注) A: 遺物貸出、B: 写真貸出、C: その他の貸出、D: 図面・写真等の使用、E: 遺物撮影

件数	区分	申請者	資料名	点数				貸出日	備考
				遺物	写真	他	計		
81	D	春日市役所	博多遺跡142次埋輪					-	「九州考古学」第81号
82	D	博物館市史編さん室	志賀島鳥居写真					-	第2回福岡市史講演会の広報用チラシ
83	A	福岡市博物館	青磁蓮弁文碗ほか	12			12	20060818	常設展示追加
84	A	鳥根県立古代出雲歴史博物館	上月隈遺跡ST007出土銅剣ほか	2			2	20060811	複製品作成のため
85	A	下関市立考古博物館	桑原石ヶ元古墳群出土土環ほか	19			19	20060920	企画展「甌の古の輝き-古墳時代の金・金銅製装身具-」
86	A	下関市立考古博物館	桑原石ヶ元古墳群出土土環ほか	19			19	20060815	企画展「甌の古の輝き-古墳時代の金・金銅製装身具-」
87	D	(株)学習研究社	弥生土器					-	「満点学習まんが 社会 日本の歴史」
88	A	広島県立五日市高校	三葉環頭・三葉環頭ほか				0	20060809	研究の深化
89	D	(財)日本原子力文化振興財団	炭素14年代測定法「土器」					-	「中学生のための放射線教室」
90	A	ベネッセグループ(株)ラーズ	板付遺跡出土土器壺					20061025	「岡山県社会対策プリント直前回」
91	A	福岡市博物館	今山遺跡石斧製作工程資料	17			17	20060907	部門展示室3
92	A	福岡市博物館	今山遺跡第8次調査写真		2		2	20060907	部門展示室3
93	A	杵築市教育委員会	鶴先古墳第1次円筒埴輪	1			1	20061010	特別展「小瓶山古墳とその時代」
94	D	(株)アルパ	板付遺跡全景ほか					-	「総合百科事典がブレイク」
95	A	茨城県立歴史館	藤崎遺跡第32次発掘		2		2	20060822	特別展「縄文のムラ 弥生の村」
96	A	春日市奴国の丘歴史資料館	那珂遺跡第22次軒丸瓦ほか	12			12	20061003	企画展「瓦と古代寺院～まぼろしの白水庵寺を探す～」
97	A	春日市奴国の丘歴史資料館	那珂遺跡第22次軒丸瓦ほか	12			12	20060919	企画展「瓦と古代寺院～まぼろしの白水庵寺を探す～」
98	A	東京法令出版(株)	板付I式土器ほか	2			2	20060912	「NEW COM-PASSノート日本史」(仮称)
99	A	宮崎県西都原考古博物館	板付遺跡彩文壺形土器ほか	48			48	20061011	交流展「稲の来た道(仮題)」
100	D	専修大学	博多遺跡群第6次ほか					-	「東アジアの古代文化」129号
101	A	木簡学会九州特別研究会	鴻臚館跡出土木簡ほか				34	20060914	木簡学会九州特別研究会
102	D	富山大学 芸術文化学部	井尻B遺跡石製鏡范ほか					-	学位論文「東アジアの青銅鑄造技法の地域的特徴と変遷に関する研究」
103	A	東京法令出版(株)	雄納限遺跡第15次石剣集合写真		1		1	20060927	歴史副教材「グラフィックワイド歴史」
104	A	九州国立博物館	海の中道遺跡出土鉄製釣針ほか	56			56	20060926	「海の神々-捧げられた宝物-」
105	A	多賀城市教育委員会	鴻臚館跡出土イスラム陶器ほか	23			23	20061019	企画展「大宰府と多賀城-西と東の古代都市-」
106	A	多賀城市教育委員会	鴻臚館跡遺跡遺物ほか	5			5	20060927	企画展「大宰府と多賀城-西と東の古代都市-」
107	A	小郡市教育委員会	雄納限遺跡ほか	2			2	20060929	季刊考古学
108	A	埋蔵文化財センター	四箇遺跡	38			38	20060929	大学の授業
109	A	(株)雄山閣	橘渡古墳鳥居全景	1			1	20061025	「前方後円墳と帆立貝古墳」
110	D	専修大学	博多遺跡第6次・80次出土青磁水注片					-	「東アジアの古代文化」第129号
111	A	埋蔵文化財センター	比恵遺跡第8次ほか	46			46	20061110	大学の授業
112	D	(財)放送大学教育振興会	博多遺跡陶器壺蓋磁器					-	「日本の中世」
113	D	(株)雄山閣	比恵遺跡出土鉄斧					-	「復元七支刀」
114	A	埋蔵文化財センター	ビデオカメラ			1	1	20061122	鴻臚館跡の撮影
115	D	富山大学 芸術文化学部	井尻遺跡B・飯倉遺跡D石製鏡范ほか				0	-	博士論文「東アジアの青銅鑄造技法の地域的特徴と変遷に関する研究」
116	A	埋蔵文化財センター	鴻臚館跡出土木簡ほか				8	20061126	大学の授業
117	A	九州国立博物館	博多遺跡備前鏡ほか	24			24	20061206	文化交流展示「海の道、アジアの路」
118	A	埋蔵文化財センター	板付遺跡関係		24		24	20061013	大学の授業
119	D	(株)東京堂出版	博多遺跡出土陶磁器					-	「歴史考古学を知る辞典」
120	A	埋蔵文化財センター	吉武高木大石橋渡遺跡	45			45	20061020	大学の授業
121	D	(財)日本原子力文化振興財団	雀居遺跡出土土器					-	全国中学生対象放射線利用の壁新聞制作
122	A	埋蔵文化財センター	鶴崎古墳ほか	51			51	20061027	大学の授業
123	D	(株)NHKエデュケーショナル	博多遺跡出土中国陶磁器					-	「日本の中世(07)」・「東アジア中世海道」
124	B	鴻臚館	福岡城跡	6			6	20061206	図面作成
125	D	鳥根県教育委員会	博多遺跡群第124次調査出土遺物					-	「石見銀山展HP」
126	A	博物館	博多遺跡出土青銅製菩薩形立像他	41			41	20070109	部門別展示室2「埋もれた私たち展」
127	B	(株)岩波書店	板付遺跡環濠遺物ほか	4			4	20061214	「カラー版 福岡-アジアにひらかれたまちガイド」
128	B	(株)淡交社	博多遺跡第40次出土皿	1			1	20061220	「淡交」平成19年度2月号
129	D	(株)淡交社	博多遺跡第39次出土天目碗他					-	「淡交」平成19年度2月号
130	D	(株)岩波書店	那珂八幡古墳出土三角縁神獸鏡ほか					-	「カラー版 福岡 アジアにひらかれた交易のまちガイド」
131	A	埋蔵文化財第2課	カメラほか			3	3	20061215	報告書作成のため
132	A	福岡市立城原小学校	拾六町ツジ遺跡出土品ほか	6			6	20061212	総合的な学習での教材として
133	D	(財)日本原子力文化振興財団	雀居遺跡出土土器					-	「放射線ってなんだろう?」
134	A	九州国立博物館	京ノ隈経線1号主体部出土品ほか	7				20073月中旬	特別展「未来への贈りもの」における展示
135	A	福岡市博物館	板付遺跡第15次出土土器ほか	26			26	20070117	企画展「弥生時代はいかに始まったか」
136	A	福岡市博物館	博多遺跡群出土青磁碗ほか	19			19	20070117	企画展「旧石器の世界-2000年前の福岡事件簿」
137	A	大阪府立弥生文化博物館	上月隈遺跡第3次出土中細形銅剣ほか	18			18	20070410	春季特別展「弥生の武器(仮称)」
138	B	博物館市史編さん室	博多遺跡銅銭出土状況写真ほか	4			4	-	「市史研究 ふくおか」第2号
139	D	大手前大学史学研究所	那珂遺跡出土鉄剣ほか					-	「考古学雑誌 第90巻第4号」
140	A	博物館市史編さん室	博多遺跡群第35次	32			32	200702	福岡市史編纂事業における資料調査
141	B	市原市教育委員会	板付遺跡出土壺ほか	1			1	20070130	「発掘いちばらの遺跡」創刊号
142	B	埋蔵文化財第2課	吉武遺跡第9次調査	27			27	20070125	報告書作成のため
143	D	(株)至文堂	下月隈C遺跡4次調査ほか					-	日本の美術490号「出土建築部材が解く古代建築」
144	A	滋賀県立安土城考古博物館	宝満尾1次遺跡出土品ほか	44			44	200703中旬	特別展「縄文から弥生へ-農耕社会の形成と実年代-」
145	B	滋賀県立安土城考古博物館	宝満尾1次調査出土品ほか	7			7	20070113	特別展「縄文から弥生へ-農耕社会の形成と実年代-」
146	B	小原流	板付遺跡出土壺	1			1	20070131	「小原流 挿花」2007年4号
147	A	京都国立博物館	鴻臚館跡出土青磁花文碗	11			11	20070410	「金峰山埋蔵一千年記念 藤原道長-極めた栄華・願った浄土」
148	D	国立歴史民俗博物館	板付遺跡出土壺					-	「歴史カレンダー-英語版」
149	D	国立歴史民俗博物館	雀居遺跡出土品ほか					-	研究調査および啓蒙普及
150	A	大阪府立近つ飛鳥博物館	那珂遺跡第13次調査出土軒丸瓦ほか	8			8	20070403	春季特別展「河内古代巡礼」
151	B	埋蔵文化財第2課	原深町遺跡遺物ほか	18			18	20070214	遺跡説明板
152	B	(株)ロム・インターナショナル	雀居遺跡出土土器	1			1	20070217	「古代史の「謎」と「真実」」
153	D	西日本新聞社	鴻臚館関係					-	「博学博多」
154	B	(株)東京堂出版	博多築港線第2次遺構全景写真	1			1	20070308	「東アジア考古学事典」
155	B	(株)雄山閣	老司古墳第3次石室	1			1	20070314	「季刊考古学」第99号
156	D	読売新聞西部本社	比恵遺跡遺構写真					-	「大王の赤いひつぎ」
157	D	(株)東京堂出版	博多遺跡出土青磁碗					-	「東アジア考古学事典」
158	A	博物館	雀居遺跡第4次調査出土土壺ほか	19			19	20070412	企画展「弥生土器の時代」
159	D	日本放送協会	博多遺跡出土銅銭および白磁					-	番組「知るを楽しむ/歴史に好奇心 日中2千年漢字のおつきあい」
160	B	神戸市埋蔵文化財センター	有田遺跡第64次調査	1			1	20070401	常設展示のパネル
161	B	(株)スポア-オープンブダー	元岡・桑原遺跡1次12号墳	1			1	20070401	番組「ふくはく見聞録 現代の鍛冶師」

註) A:遺物貸出、B:写真貸出、C:その他の貸出、D:図面・写真等の使用、E:遺物撮影

## 4. 入館者数

### (1) 入館者総数

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)	
(日)		26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	24	27	306		
個 人	一 般	207	176	328	196	241	248	205	167	205	159	173	222	2,527	62.8%	
	男	80	47	83	105	89	45	51	83	99	41	74	112	909	22.6%	
	女	287	223	411	301	330	293	256	250	304	200	247	334	3,436	85.5%	
	学 生	15	23	20	17	30	2	6	14	4	7	2	18	158	3.9%	
	小学生	2	5	4	3	6	2	0	1	1	1	0	3	28	0.7%	
	中学生	1	3	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	8	0.2%	
	高校生	7	19	12	28	97	43	21	34	12	6	16	23	318	7.9%	
	大学生	15	15	24	3	12	2	0	0	0	1	0	1	73	1.8%	
	その他	40	65	60	51	145	49	27	51	17	17	18	45	585	14.5%	
	小計	327	288	471	352	475	342	283	301	321	217	265	379	4,021	100.0%	
合 計(a)																
団 体	一 般	215	226	331	205	23	311	252	308	264	191	0	216	2,542	70.0%	
	(団体数)	1	2	6	4	2	6	4	4	3	2		5	39		
	小学生	182	695	120	0	0	0	20	0	0	0	0	19	1,036	28.5%	
	(団体数)	2	8	1				2					1	14		
	中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	(団体数)													0		
	高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	(団体数)														0	
	大学生	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	23	8	56	1.5%	
	(団体数)							2				2	1	5		
合 計(b)	397	921	451	205	23	311	297	308	264	191	23	243	3,634	100.0%		
(団体数計)	3	10	7	4	2	6	8	4	3	2	2	7	58			
総 計(a+b)	724	1,209	922	557	498	653	580	609	585	408	288	622	7,655			
出前授業	1594	914	528	189	0	0	212	414	0	74	41	0	3,966			
(学校数)	21	12	6	3	0	0	2	12	0	1	2	0	59			

### (2) 個人入館者年齢区分

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
0～19才	20	37	28	28	61	16	20	21	6	14	2	24	277	6.9%
20～29才	37	43	57	65	125	62	57	42	33	17	33	37	608	15.1%
30～39才	73	59	72	67	73	77	54	47	52	41	40	39	694	17.3%
40～49才	95	71	94	75	101	80	62	76	62	56	69	99	940	23.4%
50～59才	57	48	102	82	70	61	40	75	108	59	85	112	899	22.4%
60～69才	26	21	92	25	34	38	38	33	57	22	33	47	466	11.6%
70～79才	15	8	25	8	11	7	11	6	2	8	2	17	120	3.0%
80才以上	4	1	1	2	0	1	1	1	1	0	1	4	17	0.4%
計	327	288	471	352	475	342	283	301	321	217	265	379	4,021	100.0%

### (3) 個人入館者住所区分

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
福 岡 市	213	183	324	223	304	170	175	161	189	131	160	225	2,458	61.1%
福 岡 県 内	59	66	91	64	77	90	60	77	95	55	61	103	898	22.3%
県 外	51	39	56	65	94	81	47	61	35	31	44	48	652	16.2%
国 外	4	0	0	0	0	1	1	2	2	0	0	3	13	0.3%
計	327	288	471	352	475	342	283	301	321	217	265	379	4,021	100.0%

### (4) 年度別入場者の推移

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	半期計	合計
平成16年度	548	698	784	921	431	471	388	770	445	328	615	814	3,853	7,213
平成17年度	605	850	612	380	592	385	481	547	223	265	416	748	3,424	6,104
平成18年度	724	1,209	922	557	498	653	580	609	585	408	288	622	4,563	7,655
開館日数 (日)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	24	27		
各月一日平均(人)	27.8	46.5	35.5	21.4	18.4	25.1	22.3	23.4	25.4	17.7	12.0	23.0		
H18年度累計(人)	724	1,933	2,855	3,412	3,910	4,563	5,143	5,752	6,337	6,745	7,033	7,655		
開館以降累計(人)	307,091	308,300	309,222	309,779	310,277	310,930	311,510	312,119	312,704	313,112	313,400	314,022		

## 5. 平成18年度当初予算

### (1) 歳入

7,048千円(国補助金6,573千円、使用料及び手数料132千円、諸収入409千円)

### (2) 歳出

82,862千円(管理運営費56,977千円、事業費25,885千円)

## Ⅱ 埋蔵文化財センターの概要

### 1. 組織と職員

#### (1) 福岡市文化財行政の組織

教育委員会－教育長－教育次長－文化財部長

文化財管理課	管理係	部の総括、予算・決算、庶務・経理、文化施設の管理及び整備
	主査	やきもの歴史館・文化財資料室開設準備担当
文化財整備課	整備第1係	文化財の指定・保存・整備・活用
	整備第2係	福岡城跡及び鴻臚館跡の調査・整備
	主査	文化財調査等担当
	主任学芸主事	
埋蔵文化財第1課	調査係	第1・2課の予算・決算、課の庶務、東部地区に係る埋蔵文化財の発掘調査及び保存
	事前審査係	公共及び民間開発事業の埋蔵文化財に係る事前審査
埋蔵文化財第2課	調査第1係	国庫補助事業総括、課の庶務、西部地区に係る埋蔵文化財の発掘調査及び保存
	調査第2係	九大移転地及び周辺部に係る埋蔵文化財の発掘調査
埋蔵文化財センター	運営係	施設の管理運営、考古学的資料の収集・保存・展示

#### (2) 埋蔵文化財センターの職員（平成18年度）

所長 二宮 忠司	運営係長 内田 寿生	文化財主事 瀧本 正志	嘱託 片多 雅樹 (保存処理指導員) 柳田 純孝 (専門調査員)
		文化財主事 比佐陽一郎	
	主任文化財主事 常松 幹雄	文化財主事 田上勇一郎	

### 2. 施設

#### (1) 施設の概要

当センターは敷地面積4,000㎡、鉄筋コンクリート造3階建（建設面積1,015㎡、延床面積1,992㎡）の規模で昭和57年2月開館した。その後、昭和61年3月に収蔵庫を主とした増築（建設面積1,000㎡、延床面積1,994㎡）を行った。さらに平成9年度から大規模な増築・改造を実施し、平成11年4月にリニューアルオープンの運びとなった。



消防訓練（消防設備の説明）

#### (2) 施設の保全

##### 消防訓練

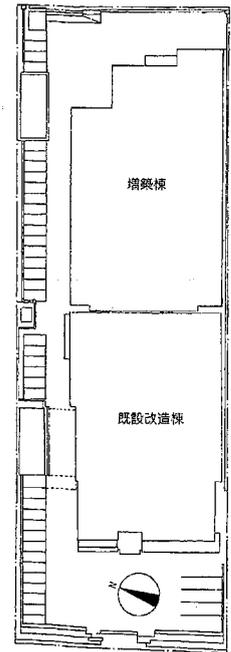
万一の火災に備えて年1回の割合で消防訓練を実施している。

平成18年度は11月15日に職員、臨時職員、ならびに受付の担当者を含めて訓練を行なった。

(2) 主な施設

施設区分	室名	床面積(m <sup>2</sup> )
教育普及	第1展示室	167.00
	第2展示室	127.00
	第3展示室	61.00
	研修室	140.00
	図書室・図書コーナ	181.00
	貸出準備室	85.00
	資料閲覧室	58.00
収 蔵	収蔵庫	5,601.00
	特別収蔵庫	547.00
	記録類収蔵庫	192.00
	荷解・搬入室	65.00
	消毒室	23.00

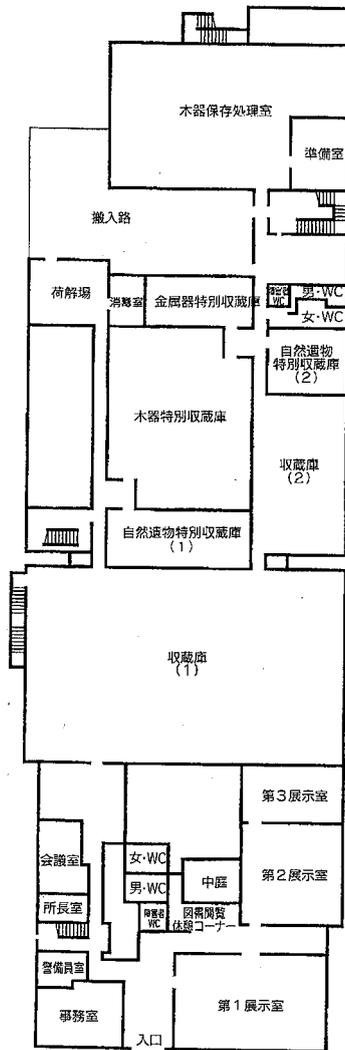
施設区分	室名	床面積(m <sup>2</sup> )
保存処理	木器保存処理室	426.00
	金属器処理室	156.00
	分析室	154.00
資料整理	洗浄室	37.00
	資料整理室	235.00
	写場・暗室	63.00
管 理	倉庫	58.00
	事務・会議室等	140.00
	警備・機械室等	258.00
	通路・エレベーター等	1,434.00
その他	庇・トラックヤード等	505.00
	計	10,713.00



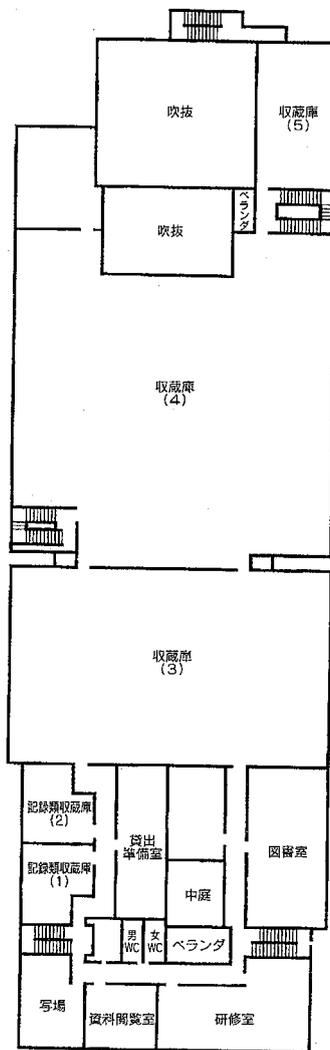
建物配置図 ▶

正面入口

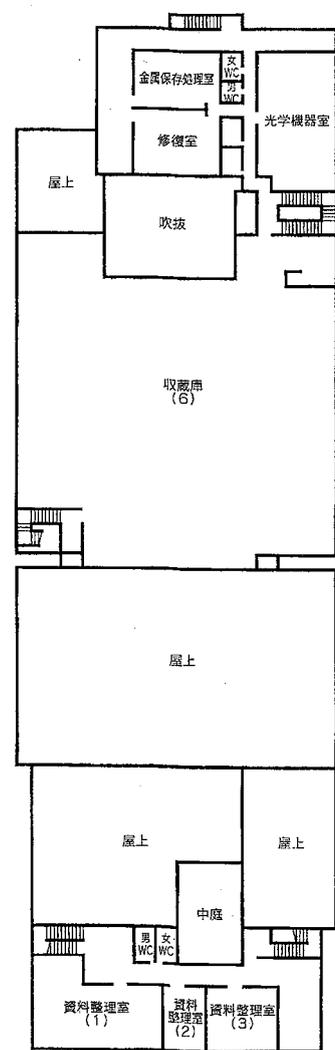
▼ 施設平面図



〔1階〕



〔2階〕



〔3階〕

付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等

福岡市埋蔵文化財センター条例

(昭和56年12月21日)  
条例第66条

(設置)

第1条 発掘調査等で出土した考古学的資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、福岡市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)を福岡市博多区井相田二丁目に設置する。

(事業)

第2条 センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 資料を展示し、公開すること。
- (3) 資料の専門的調査研究を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの設置の目的達成に必要なこと。

(職員)

第3条 センターに所長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号いずれかに該当する者に対し、入館を拒み、又は退去を命ずることができる。

- (1) センターの管理上必要な指示又は指導に従わない者

- (2) センターの管理上支障があると認められる者(資料の貸出し)

第5条 教育、学術若しくは文化に関する機関若しくは団体又は学術研究のため特に資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けて資料の貸出しを受けることができる。

- 2 前項の貸出しは、資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行うものとする。

(損害賠償)

第6条 資料の観覧者又は貸出しを受けた者が、その責めに帰すべき理由によりセンターの建物若しくは施設又は資料を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これらを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公付の日から起算して3月を越えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

(昭和57年教規則第3号により  
昭和57年2月22日から施行)

福岡市埋蔵文化財センター条例施行規則

(昭和57年1月25日)  
教育委員会規則第4号

改正 昭和61年一教規則2、平成3年一教規則7、  
平成4年一教規則3、平成11年一教規則1

(趣旨)

第1条 この規則は、福岡市埋蔵文化財センター条例(昭和56年福岡市条例第66号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 福岡市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)の事務を行うため、センターに運営係を置く。

(職員)

第3条 センターに所長、係長、吏員その他の職員を置く。

- 2 前項の職員のほか、特定事務を担当させるため、センターに主任文化財主事及び文化財主事を置くことができる。
- 3 所長、係長、主任文化財主事及び文化財主事は、吏員のうちから命ずる。
- 4 係長又は主任文化財主事のうちから総括係長を命ずることがある。
- 5 所長及び係長は、上司の命を受けてセンター又は係の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- 6 主任文化財主事及び文化財主事は、上司の命を受けて担当事務を処理する。
- 7 吏員その他の職員は、上司の命を受けて分担する

事務を処理する。

(職務権限の代行)

第4条 所長に事故がある場合又は所長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、係長がその係に属する事務について所長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務については、文化財部長の指揮を受けなければならない。

- 2 前項の規定により所長の職務権限を代理して行う者がいないときは、文化財部長が行う。

(開館時間)

第5条 センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長は、必要があると認める場合には、これを変更することができる。

(休館日)

第6条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長は必要と認める場合には、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

- (1) 毎週月曜日
- (2) 12月28日から翌年1月4日まで

(入館者の心得)

第7条 センターに入館する者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 所定の場所以外の場所で飲食し、喫煙し、又は

- 火気を使用しないこと。
  - (2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
  - (3) 危険物又は動物を持ち込まないこと。
  - (4) 所定の場所以外に立ち入らないこと。
  - (5) 職員が行う管理上必要な指示又は指導に従うこと。
- (貸出し)

第8条 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しを受けようとする者は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可申請書(様式第1号)を教育長に提出しなければならない。

2 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しの許可は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可書(様式第2号)を交付して行う。

(寄贈等)

第9条 センターに資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、教育委員会に申し出なければならない。

2 寄託を受けた資料の貸出しは、寄託者の承諾を得て行うものとする。

(委任)

第10条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和57年2月22日から施行する。

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

## 保存処理設備機器の外部使用許可基準

### 1. 基本的使用許可基準

外部に対する保存処理設備機器の使用許可に際しては、下記要件を満たすものであることを原則とする。

- (1) 本市の保存処理業務に支障をきたすおそれがないこと。
- (2) 文化財保護の観点から重要性があり、本市の文化財保護行政に寄与するものであること。

### 2. その他の許可基準

- (1) 使用は、センター職員の指導・助言のもと、原則として外部担当職員が行うものとする。
- (2) 使用に際して必要となる原材料・作業員等は使用者側(外部)の負担とする。
- (3) 一括委託等請負的な処理は許可しないこととする。
- (4) 民間業者等営利を目的とする団体からの依頼については許可しないこととする。
- (5) 緊急性のある場合や特殊なものを除いて、通常の保存処理については受け付けないものとする。
- (6) 使用に際しては、事前にセンター職員と協議のうえ申請書を提出し、許可を得ることを必要とする。
- (7) 使用にあたってはセンター職員の指示に従うこと。また指示以外の行為により機器を破損した場合

合は、使用者側の責任において原状回復すること。

### 3. 対象機器一覧

本基準を適用する保存処理機器は、別紙一覧表の通りとする。

### 4. 許可基準の理由(略)

本基準は平成12(2000)年3月1日より施行する。

(別紙) \*主な保存処理機器の品名のみを列記

大型PEG含浸槽、一体型PEG含浸槽、真空凍結乾燥機、小型真空凍結乾燥機、有機遺物処理装置、減圧含浸装置、工業用電子天秤、偏光顕微鏡、実体顕微鏡、ビデオマイクロスコープ、赤外線カメラ、画像ファイリング装置、分析用電子天秤、赤外線分水計、大型滑走式マイクロトーム、蛍光X線分析装置、微小部蛍光X線分析装置、X線回折装置、走査電子顕微鏡、顕微赤外分光光度計、透過X線撮影装置、分析用試料作成装置、マグネチックスターラー、ドラフトチャンバー、精密噴射加工機(エアブラシ)、精密グラインダー、送風定温乾燥機、大型送風定温乾燥機、真空乾燥機、卓上電気炉、純水製造装置、超音波洗浄機、真空デシケーター、攪拌機、真空脱泡用デシケーター、シーラー、バキュームシーラー、ホットエアガン

## 埋蔵文化財センターにおける有料複写サービス取り扱い要項

(目的)

第1 この要領は、教育委員会文化財部埋蔵文化財センターにおいて、埋蔵文化財センター図書室所蔵発掘調査報告書等行政資料のサービスを行う際の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(複写サービスの申し込み)

第2 複写サービスの申し込みは、口頭で受けるものとする。

(複写手数料)

第3 複写サービスについては、福岡市手数料条例(昭和35年条例第11号)第2条第2項に基づき実費を徴収するものとし、その複写サービス料金は次の通りとする。なお、手数料については利用者が見

やすいところに掲示するものとする。

(1) 用紙の規格は日本工業規格B列5番からA列3番までとし、1枚につき10円とする。

(複写手数料の納入等)

第4 行政資料複写の申し込みがあった場合は、申込者に対して複写手数料の金額を告知し、現金による納入を受けた後、金銭登録機で打出した領収票又は現金領収帳による領収書を交付するものとする。

付 則

この要項は平成12年4月5日から施行する。

この要項は平成14年8月1日から施行する。

この要項は平成15年1月7日から施行する。

付2 平成18年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書

- 873集 那珂君休遺跡Ⅷ ～那珂君休遺跡群第9次調査報告～(調査番号0487)  
897集 麦野C遺跡～第10次調査報告～(調査番号0509)  
913集 徳永古墳群4～徳永古墳群H群第5次調査報告～(調査番号0352)  
914集 箱崎26-箱崎遺跡第30次調査報告(1)～箱崎土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告Ⅳ～(調査番号0210)  
915集 羽根戸古墳群6～羽根戸古墳群N群第9・10次調査報告～(調査番号0440)  
916集 藤崎遺跡17～藤崎遺跡群第35次調査報告～(調査番号0488)  
917集 原遺跡12～原遺跡第19次調査報告～(調査番号9626)  
918集 井尻B遺跡15～井尻B遺跡第17次調査(C・D区)の調査・市道御供所井尻線建設に伴う発掘調査報告書Ⅳ～(調査番号0027)  
919集 有田・小田部43～有田遺跡群第216次調査報告～(調査番号0484)  
920集 有田・小田部44～有田遺跡群第218・219・222・224・225次調査報告～(調査番号0515・0519・0557・0616・0638)  
921集 飯倉A遺跡2～第2次調査報告～(調査番号0561)  
922集 飯氏遺跡群4～第10次調査報告～(調査番号0507)  
923集 井尻B遺跡16～第22次調査報告～(調査番号0133)  
924集 今宿五郎江6～今宿五郎江遺跡第9次調査報告(2)～(調査番号0255)  
925集 入部Ⅱ～重留遺跡第1次調査報告～(調査番号8748)  
926集 香椎地区遺跡確認調査報告(調査番号0546)  
927集 金武4城田遺跡第2次調査3・都地泉水遺跡第1次調査～金武地区農村振興総合整備統合補助事業関係調査報告4～(調査番号0329・0458)  
928集 上広瀬遺跡2 -上広瀬遺跡第2次調査～石釜地区基盤整備促進事業関係調査報告3～(調査番号0485)  
929集 警弥郷B遺跡3～第5次調査報告～(調査番号0521)  
930集 コノリ遺跡群3～第5次調査報告～(調査番号0518)  
931集 山王遺跡3～第4次調査報告～(調査番号0571)  
932集 下月隈C遺跡Ⅶ 本文編～福岡空港周辺整備事業に伴う下月隈C遺跡第8次・第9次調査報告～(調査番号0219・0327)  
932集 下月隈C遺跡Ⅶ 図版編～福岡空港周辺整備事業に伴う下月隈C遺跡第8次・第9次調査報告～(調査番号0219・0327)  
933集 席田青木遺跡6～第6次調査報告～(調査番号0527)  
934集 高畑遺跡～第16次調査報告～(調査番号9774)  
935集 那珂45～那珂遺跡群第100・108次調査報告～(調査番号0425・0490)  
936集 那珂46～那珂遺跡群第105次調査報告～(調査番号0457)  
937集 那珂47～那珂遺跡群第109次調査報告～(調査番号0541)  
938集 名島城跡2～第2次・3次調査報告～(調査番号0433・0506)  
939集 西新町遺跡9～第18次調査報告～(調査番号0543)  
940集 博多110～博多遺跡群第149次調査報告～(調査番号0475)  
941集 博多111～博多遺跡群第152次調査～(調査番号0509)  
942集 博多112～博多遺跡群第153次調査報告～(調査番号0524)  
943集 博多113～博多遺跡群第154次調査報告～(調査番号0540)  
944集 博多114～博多遺跡群第155次調査報告～(調査番号0544)  
945集 博多115～博多遺跡群第156次調査～(調査番号0551)  
946集 博多116～博多遺跡群第159次調査報告～(調査番号0566)  
947集 博多117～博多遺跡群第162次調査報告～(調査番号0612)  
948集 箱崎27～箱崎土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告Ⅶ-箱崎遺跡第30(2)・40(1)・46次調査報告-(調査番号0210・0318・0434)  
949集 箱崎28～箱崎土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告Ⅵ-箱崎遺跡第40・49次調査報告～(調査番号0318・0434・0544)  
950集 箱崎29～箱崎遺跡第12次調査報告～(調査番号9735)  
951集 箱崎30～箱崎遺跡第37次・第45次調査報告～(調査番号0253・0269)  
952集 箱崎31～箱崎遺跡第51次調査報告～(調査番号0559)  
953集 原東遺跡2～第1次調査報告～(調査番号7953)  
954集 比恵45～比恵遺跡群第98次調査報告～(調査番号0501)  
955集 比恵46～比恵遺跡群第99次調査報告～(調査番号0513)  
956集 比恵47～比恵遺跡群第100次・第102次調査報告～(調査番号0532・0522)  
957集 比恵48～比恵遺跡群第101次調査報告～(調査番号0526)  
958集 比恵49～比恵遺跡群第104次調査報告～(調査番号0570)  
959集 東那珂遺跡5～第6次調査報告～(調査番号0539)  
960集 福岡城跡～第53次調査報告～(調査番号0503)  
961集 福重稲木遺跡～第3次調査報告～(調査番号0345)  
962集 元岡・桑原遺跡群8～九州大学統合移転用地内埋蔵文化財調査報告-第20次調査報告～(調査番号0001)  
963集 元岡・桑原遺跡群9～九州大学統合移転用地内埋蔵文化財調査報告-第26次調査報告～(調査番号0110)  
964集 元岡・桑原遺跡群10～第46次調査報告～(調査番号0538)  
965集 吉武遺跡群Ⅸ～飯盛・吉武圃場整備事業関係調査報告13-古代～近世編-Ⅰ～(調査番号8335・8416・8535)  
966集 吉塚9～吉塚遺跡群第11次調査報告～(調査番号0545)  
967集 吉塚10～吉塚遺跡群第12次調査報告～(調査番号0555)  
968集 鴻臚館跡17～平成16・17年度発掘調査概要報告～(調査番号0415・0502)  
969集 福岡城跡～潮見櫓・時櫓整備に伴う確認調査報告～(調査番号9363・9146・9671)

福岡市埋蔵文化財年報 Vol. 20 -平成17(2005)年度版-有田遺跡群217次(0508)、有田遺跡群220次(0542)、飯倉古墳群2次(0552)、飯氏遺跡群11次(0569)、井相田C遺跡群6次(0525)、上月隈B遺跡2次(0536)、三筑遺跡5次(0530)、那珂遺跡群111次(0558)、野芥遺跡群13次(0505)、野芥遺跡群14次(0568)、比恵遺跡群103次(0548)、福岡城跡54次(肥前堀)(0514)、南八幡遺跡群14次(0520)、麦野A遺跡群15次(0516)、麦野A遺跡群16次(0529)

福岡市埋蔵文化財センター年報 第26号

2008年1月31日

発行 福岡市教育委員会  
福岡市博多区井相田2-1-94

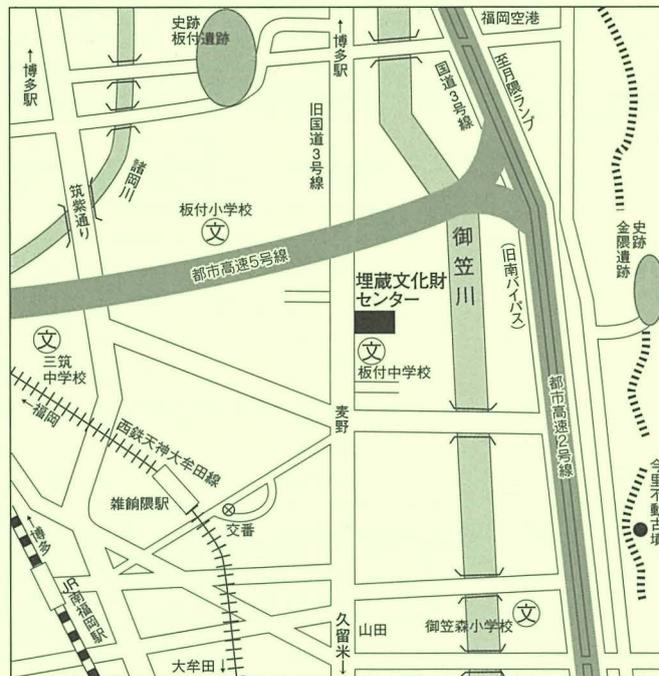
印刷 九州チュウエツ株式会社  
福岡市博多区東比恵2-9-1

# FUKUOKA CITY ARCHAEOLOGY CENTER

## Annual Report

No. 26

2007



### 福岡市埋蔵文化財センター

- 所在地 福岡市博多区井相田2丁目1-94 (〒812-0881)
- 電話 (092) 571-2921 Fax. (092) 571-2825
- 開館時間 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日・年末年始 (12月28日～1月4日)
- 入館料 無料 (ただし団体見学の案内は事前に連絡が必要です)
- 交通手段
- 西鉄天神大牟田線 雑餉隈駅ざっしよのくまから徒歩15分
  - JR鹿児島本線 南福岡駅から徒歩25分
  - 西鉄バス 博多駅交通センターから41番雑餉隈営業所行ざっしよのくまに乗車約30分  
板付中学校前いたづけ (埋蔵文化財センター前) 下車すぐ

<http://www.city.fukuoka.jp/maibun/>

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/> (平成20年4月1日以降)